

AH Formatter V6 サンプル集

最終更新日：2019 年 9 月 2 日

ページの領域と構造のサンプル

ページ内の各領域の紹介	6
本文領域への領域作成、組み合わせ	7
fo:region-start、end の文字方向	8
ページごとにレイアウトを自動変更	9
文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを指定	10
見開きページマスタ	12
ページに背景色を指定	16
ページに背景画像を指定	17
ページの背景画像の拡大、縮小	18
背景画像のサイズ	19
ページの各領域と境界線	20
入れ子と空の fo:page-sequence	21
段組	25
段間罫	27
脚注	28
脚注の配置方法	29
脚注番号の作成と初期値	31
同じページに同じ脚注の表示抑止	33
脚注を複数ページに渡って配置	35
段組のときの脚注	37
傍注	39
改訂バー	44
任意の文字を改訂バーとして出力	45

ページ番号、目次と索引のサンプル

ページ番号	46
ページ番号の形式と初期ページ番号	48
相対ページ番号	50
ページ番号の逆順振り、通しノンブル	52
目次	58
「ツメ」の組版	60
索引	62
カウンタスタイル	64

ブロックの配置と表示のサンプル

ブロック内、テキスト周りのアキ	66
ブロック間のアキ	67
境界線の種類や太さ	68
ボーダーの拡張、丸め罫	70
ボーダーによる対角罫	71
二重の枠線と太さ	72
波枠線と形状	73
ボーダーの接合部の形状	74
ボックスシャドウ	76
隣り合うブロックを同じページに配置	77
同じブロックを同じページに配置	80
keep-together を適用する高さの上限を指定	83
ブロックコンテナを絶対位置で配置	87
ブロックコンテナの位置と大きさ	88
ブロックコンテナの段組、段間の罫線	90
縦方向の文字配置の調整	92
オーバーフロー	93
オーバーフローを代替文字、文字サイズで調整	94
オーバーフローした内容末尾の表示を指定	95
ブロックの変形	96
行グリッド	97
簡条書き	98
表の配置と表示のサンプル	
表の配置	99
表のボーダーとパディング	101
表のカラム幅	102
カラムスパンとロースパン	103
表のヘッダ、フッタの繰り返し	104
段組の表のヘッダ、フッタを省略	106
表の行途中でのページ分割抑止	108
セル内の文字の位置	110
セル内の指定文字による揃えと配置調整	111
表のページ分割した箇所へ文字列を指定	112
ページ分割されたセルの表示内容を指定	113
表の回転	115
表の本文セルと表の見出しセルの関連付け	116
ボーダーの優先度	119

セルの高さを揃える	121
表の機能を組み合わせた例	122
フロートのサンプル	
サイドフロート	123
ページフロート	124
段抜きフロート	125
カラムフロート	126
段組内フロートの自動配置	127
行の配置と表示のサンプル	
行の高さ	128
行送り	129
リーダーの位置揃え	130
ブロック内の文字配置	131
文字の間隔	133
欧文約物前後、約物と数字間の空白量の調整	134
欧文ペアカーニング	135
欧文の合字	136
和欧文間のアキ	137
行末での追い込み	138
行頭での突き出し、行末でのぶら下げ	140
行頭禁則和字の扱い	141
全角約物の詰め処理	142
全角約物と全角文字の詰め間隔	144
ハイフン付き単語のハイフネーション処理	145
ハイフネーションする文字数と範囲	146
ハイフネーション情報の追加	147
略語とみなす最大文字数と行分割制御	148
行番号	149
表の段へ独立した行番号を表示	150
常に表示される行番号を指定	151
行番号の向き、回転	152
行継続マーク	153
タブ	154
文字の表示と修飾のサンプル	
フォントサイズ	155
フォントストレッチ	156
文字修飾	159

日本語の字体指定	160
axf.font-face で追加のフォントを指定	161
テキストシャドウ	163
文字の輪郭	164
ホワイトスペースの保持	165
テキストの大文字と小文字の調整	166
文字列の置換	167
グリフの方位	168
ルビと圈点のサンプル	
ルビ	170
縦書き文書におけるルビ	171
ルビの配置	172
ルビの文字への掛け方	173
圈点とルビ	174
多言語組版のサンプル	
多言語組版	175
縦書き	179
PDF 作成機能のサンプル	
文書情報の埋め込み	181
PDF にしおりを付ける	182
PDF の内部リンクと外部リンク	184
宛先形式を指定したリンク	186
PDF へ注釈を付ける	188
埋め込んだ PDF の注釈を保持	189
PDF 出力におけるレイヤ	191
マルチメディアの埋め込み	193
マルチメディアの参照	194
リッチメディア注釈	195
フォームフィールド	197
フォームフィールドの名前にページ番号を付加	199
フォームイベント	201
トンボの描画	202
内トンボ、センタートンボ、西洋トンボ	203
オーバープリント	205
グラフィクス表示のサンプル	
グラフィクスの表示	206

描画領域へグラフィクスを自動調整	207
画像のスケーリング値を段階的に指定	209
XSL-FO に直接グラフィクスを埋め込む	211
グラフィクス SVG の表示	212
グラフィクス CGM の表示	213
グラフィクス EPS の表示	215
MathML による数式描画	216
MathML の menclose の楕円、擬似スクリプト	221
SVG を使用した「すかし」	222
グラデーション	224
バーコードのサンプル	
バーコード	227
バーコードの色とサイズ	230
カラスペースのサンプル	
rgb-icc によるグレイスケールの描画	231
rgb-icc による CMYK の描画	232
rgb-icc で PANTONE® スポットカラーを指定	233
XSL-FO & AH Formatter 使いこなし技	
keep-together.within-*= "always" による fo:table-row のオーバーフローを回避	234
表の泣き別れを float で回避	240
段落最後の文字列を右寄せにする	247

上

ページ内の各領域の紹介

XSL-FO ではページの中に大きく五つの領域を確保します。

(1) region-start 左端の「左」と書かれた縦長の部分です。紙の左端から region-start の左端までの長さはページの margin-left プロパティで指定します。幅は region-start の extent プロパティで指定します。

(2) region-end 右端の「右」と書かれた縦長の部分です。紙の右端から region-end の右端までの長さはページの margin-right プロパティで指定します。幅は region-end の extent プロパティで指定します。

(3) region-before 上端の「上」と書かれた横長の部分です。紙の上端から region-before の上端までの長さはページの margin-top プロパティで指定します。高さは region-before の extent プロパティで指定します。ページのヘッダ領域として使用します。

(4) region-after 下端の「Antenna House, Inc.」と書かれた横長の部分です。紙の下端から region-after の下端までの長さはページの margin-bottom プロパティで指定します。高さは region-after の extent プロパティで指定します。ページのフッタ領域として使用します。

(5) region-body このテキストが置かれている中央の大きな部分です。ページの各マージンに region-body の各マージンをそれぞれ加えたものが、紙の四辺から region-body の各四辺までの長さになります。

Antenna House, Inc.

A. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

B. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

C. これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。これは前方フロートの内容。

本文と前方フロートの分離領域

本文領域への領域作成、組み合わせ

本文領域にはテキスト、内容に合わせてさまざまな領域を作成できます。このサンプルは段組、フロート領域、脚注領域を組み合わせで作成しました。

1. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している⁽¹⁾。

2. ここに A。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開 3. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

4. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

5. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義

するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開 6. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

7. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

8. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している⁽²⁾。

9. ここに B。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

10. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供して

いる。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

11. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している⁽³⁾。

12. ここに C。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

これは開 13. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

14. Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。Unicode は文字集合を定義するのみでなく、他の仕様も提供している。

本文と脚注の分離領域

⁽¹⁾脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

⁽²⁾脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

⁽³⁾脚注：例えば、双方向アルゴリズム。

Antenna House, Inc.

これは region-start 領域です。

fo:region-start、end の文字方向

fo:region-start、end 領域の文字表記の方向を指定できます。writing-mode="tb-rl" で縦書き、reference-orientation で領域を 90°単位で回転します。writing-mode や reference-orientation の指定を有効にするには、fo:page-sequence へ writing-mode="from-page-master-region()"、reference-orientation="from-page-master-region()" の指定が必要です。

このページは、fo:region-start と fo:region-end を writing-mode="tb-rl" 指定で縦書きにしています。

Antenna House, Inc.

これは region-end 領域です。

これは region-start 領域です。

2 ページ目は reference-orientation で region-start と region-end を回転しています。fo:region-start に reference-orientation="90" を指定、fo:region-end に reference-orientation="270" を指定しています。

Antenna House, Inc.

これは region-end 領域です。

Antenna House, Inc.

ページごとにレイアウトを自動変更

ページごとに異なるレイアウトを自動的に割り当てる設定ができます。ここでは、ヘッダの文字を左ページでは左寄せ、右ページでは右寄せにしています。同様にフッタでもページ番号や文字の位置を左右に振り、文字の内容も切り替えています。各ページの左右の余白は左ページは右側を大きく、右ページは左側を大きくとってあります。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

-1- XSL-FO sample

Antenna House, Inc.

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

XSL-FO sample (2)

文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを指定

odd-or-even へ odd-document、even-document を指定することで文書先頭から奇数、偶数ページのページマスタを選択できます。指定の値 odd-document は文書先頭から奇数ページ、even-document は文書先頭から偶数ページを表します。各指定は <fo:page-number> など生成されるページ番号ではなく、文書先頭からの物理的な奇数、偶数ページに適用されます。詳しくはオンラインマニュアル「[odd-or-even](#)」をご参照ください。この機能は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

このサンプルでは2ページ目以降で、先頭から奇数ページは odd-document で背景色が "beige" のページマスタを選択、先頭から偶数ページは even-document で背景色が "pink" のページマスタを選択するように設定しています。また、2ページ目以降は <fo:page-number> で生成されるページ番号が1から開始されるよう initial-page-number="1" を組み合わせた指定と物理的なページ番号を生成する axf:physical-page-number を指定しています。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 1

axf:physical-page-number - 2

<fo:page-number> のページ番号は1で奇数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は2で偶数のため even-document で指定した背景色が "pink" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 2

axf:physical-page-number - 3

<fo:page-number> のページ番号は 2 で偶数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は 3 で奇数のため odd-document で指定した背景色が "beige" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.

fo:page-number - 3

axf:physical-page-number - 4

<fo:page-number> のページ番号は 3 で奇数ですが、物理的なページ番号 axf:physical-page-number は 4 で偶数のため even-document で指定した背景色が "pink" のページマスタが選択されます。

Antenna House, Inc.

見開きページマスタ

axf:spread-page-master、axf:spread-region の指定により 2 ページにまたがる見開き領域を定義できます。指定は axf:spread-page-master により見開きを定義し、axf:spread-region で見開きページの領域を指定します。axf:spread-region がいずれかのページマスタによって fo:region-body と重なる場合は fo:region-body はリサイズ、または見開きページから外されます。詳細はオンラインマニュアルの「[見開きページマスタ拡張](#)」をご参照ください。見開きページマスタの設定は AH Formatter V6.3 からご利用いただけます。

サンプルは、見開きでない領域 fo:simple-page-master "PageMaster" と見開きの定義 axf:spread-page-master "Spread-PageMaster-1"、2 ページにま

axf:spread-page-master で定義した領域

見開きタイトル

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada vel consectetur.

Antenna House, Inc.

たがるタイトル、テキストで組版される見開き領域 `axf:spread-region`
"spread"の指定で構成されています。

ル (サンプル)

aretra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor
elit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius

Antenna House, Inc.

3、4 ページのサンプルでは見開きの定義 `axf:spread-page-master` "Spread-PageMaster-2" へ `background-image` を指定して 2 ページに背景画像がまたがるよう構成されています。

Antenna House, Inc.



Antenna House, Inc.

ページに背景色を指定

fo:simple-page-master に background-color により背景全体に色を付ける指定ができます。

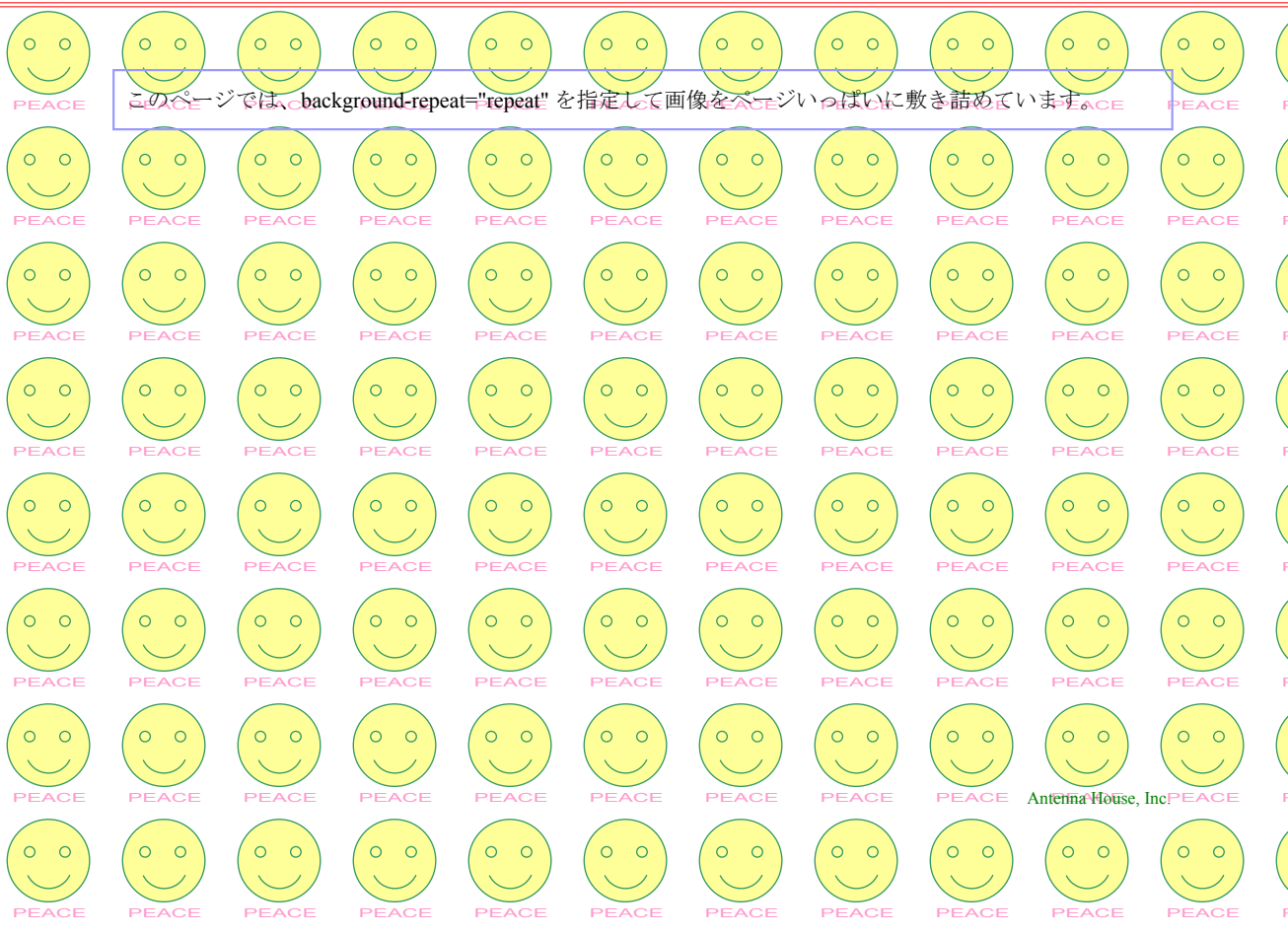
Antenna House, Inc.

ページに背景画像を指定

fo:simple-page-master に `background-image` を指定して背景画像を設定できます。1 ページ目は、`background-position-horizontal="center"`、`background-position-vertical="center"`、`background-repeat="no-repeat"` を指定しています。背景画像はページの中央にひとつだけ配置されます。



Antenna House, Inc.



Antenna House, Inc.

ページの背景画像の拡大、縮小

fo:simple-page-master に background-image で指定して背景画像を拡大、縮小できます。調整は、axf:background-content-height、axf:background-content-width で指定できます。このページの例では、axf:background-content-height="200pt" として拡大しています。AH Formatter V6.6 以降では、[axf:background-size](#) を使用してください。



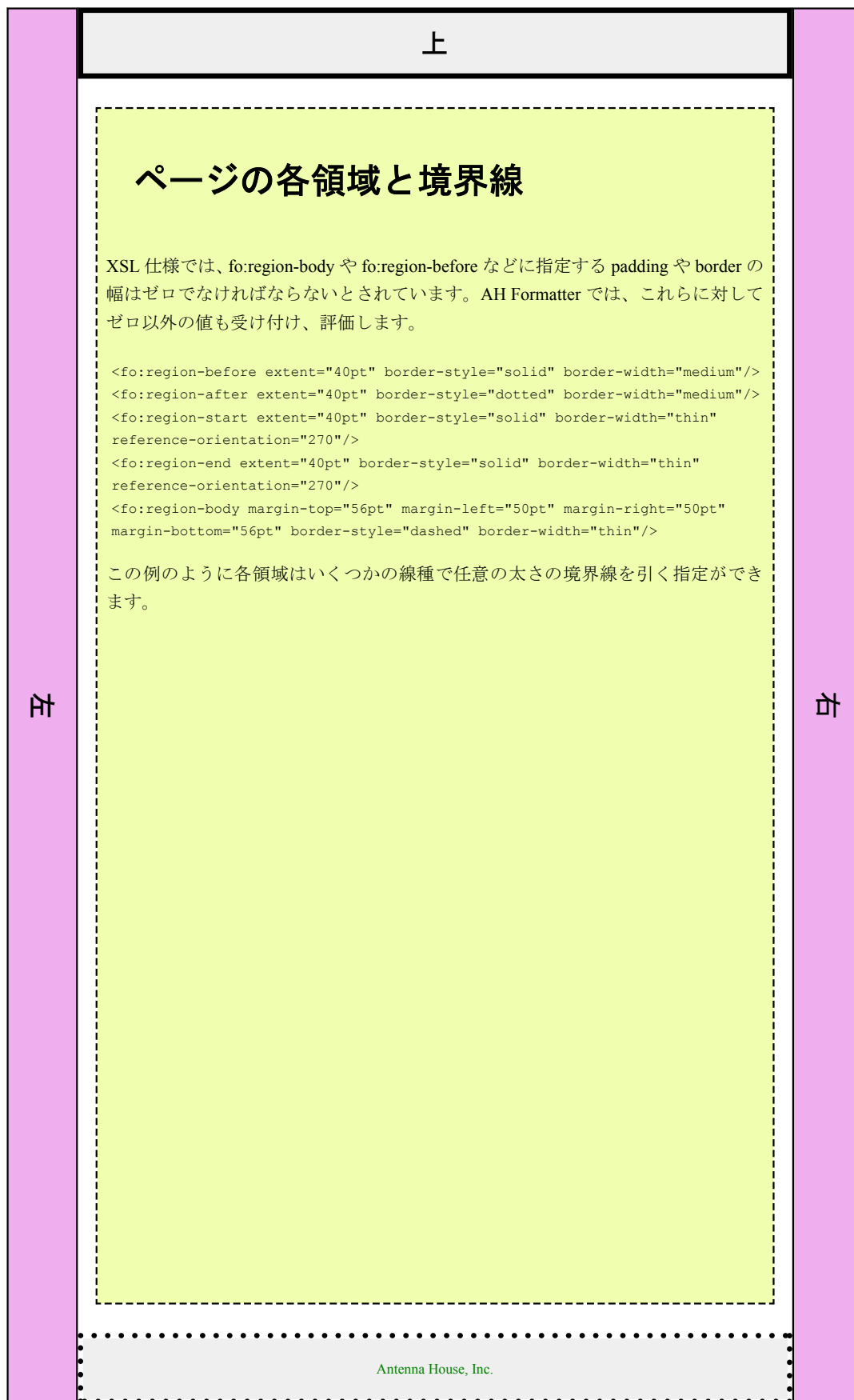
Antenna House, Inc.

背景画像のサイズ

[axf:background-size](#) で背景画像のサイズを指定できます。水平方向と垂直方向の一方または両方のサイズを明示的に指定するか、**contain** または **cover** のキーワード値を指定して画像を自動的に拡大縮小できます。この機能は AH Formatter V6.6 から利用いただけます。

contain は縦横比率を保ったまま、画像が背景の配置領域内に収まる最大サイズに拡大または縮小します。**cover** は縦横比率を保ったまま、配置領域に余白がなくなるように画像を拡大縮小します。拡大縮小によりオーバーフローする部分は切り取られます。指定がひとつないしふたつの数値、パーセンテージの場合は 1 番目の値が幅を、2 番目の値が高さを表します。欠けている値は **auto** として扱われます。**auto** の値は、画像の縦横比率と組み合わせて指定される値により決まります。指定が **auto** のみでは縦横比率を保ったまま元の画像サイズで表示されます。値をひとつだけ指定した場合は、もう一方の値は **auto** として扱われ比率が自動調整されます。画像に固有の幅も高さもない場合は、**contain** が指定された場合と同じように表示されます。





入れ子と空の fo:page-sequence

AH Formatter では fo:flow 直下に fo:page-sequence を記述して入れ子にできるように拡張されています。全体のページサイズを A4 で統一させるけれど、途中で別のページサイズの図面やページを入れたい、特定のページのみ段組にするなど fo:page-sequence の入れ子の記述により容易に実現できます。また、fo:page-sequence から fo:flow を省略、空の fo:page-sequence が許容されるようにも拡張されています。これは、任意の位置でブランクページを用いてページ数の調整を可能にします。これら fo:page-sequence の拡張設定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

fo:page-sequence を入れ子で記述するサンプル

<pre><fo:page-sequence A> <elements B> <fo:flow F> <elements C> <fo:page-sequence P> ... </fo:page-sequence> <elements D> </fo:flow> </fo:page-sequence></pre> という構造は右の段のように処理されます。	<pre><fo:page-sequence A> <elements B> <fo:flow F> <elements C> </fo:flow> </fo:page-sequence> <fo:page-sequence P> ... </fo:page-sequence> <fo:page-sequence A-cloned> <elements B-cloned> <fo:flow F-cloned> <elements D> </fo:flow> </fo:page-sequence></pre>
--	--

入れ子の記述において上記のソースでは、elements D が存在しないとき、fo:page-sequence A-cloned は生成されませんが、elements C が存在しなくても fo:page-sequence A は生成されるなど注意点がございます。詳しくはオンラインマニュアル「[入れ子の <fo:page-sequence>](#)」をご参照ください。

fo:page-sequence を空で記述する例

```
<fo:page-sequence
  master-reference="blank"
  force-page-count="odd-document"
/>
```

例えば、上記の fo:page-sequence を文書の最後に指定することで文書全体が奇数ページになるようブランクページが挿入されます（偶数ページにするには even-document など）。

このサンプルではページサイズ A4 を基準としますが、2 ページ目はページサイズ A5 の横向き、3 ページ目はページサイズ A5 の横向きの三段組になるよう fo:page-sequence を入れ子で指定しています。加えて、文書全体が奇数ページになるよう空の fo:page-sequence が文書の最後に指定されているため最後のページにブランクページが挿入されます。

fo:page-sequence の入れ子によるページ、A5（210×148）横向き指定です。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id.

fo:page-sequence の入れ子によるページ、A5（210×148）横向きで三段組の指定です。

Lorem ipsum dolor sit amet,
consectetur adipiscing elit. Aliquam
bibendum tincidunt pharetra. Aenean
ultricies molestie ante, sit amet
ultricies nunc mollis id.

Lorem ipsum dolor sit amet,
consectetur adipiscing elit. Aliquam
bibendum tincidunt pharetra. Aenean
ultricies molestie ante, sit amet
ultricies nunc mollis id.

Lorem ipsum dolor sit amet,
consectetur adipiscing elit. Aliquam
bibendum tincidunt pharetra. Aenean
ultricies molestie ante, sit amet
ultricies nunc mollis id.

fo:page-sequence の入れ子の後続くページ、ページサイズは基準の A4 になります。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id.



段組

段組はページ本文領域 `fo:region-body` に `column-count` で指定します。ページ単位の設定となり、2 ページ目が二段組、3 ページ目が三段組です。ブロックに `<fo:block span="all">` を指定すると段抜きができます。

Antenna House, Inc.

二段組：段抜き見出し

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大

きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさに配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

Antenna House, Inc.

三段組：段抜き見出し

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんといい文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものであ

る。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

Antenna House, Inc.

段間罫

`axf:column-rule` を指定して段間に罫線を引けます。線種や線幅、色や長さなどを設定できます。1 ページ目は `axf:column-rule-style="solid"`、`axf:column-rule-width="thick"`、`axf:column-rule-color="#BBFFBB"` として、段間罫を指定しました。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

Antenna House, Inc.

このページでは、線種を `axf:column-rule-style="groove"` と指定しています。また、`axf:column-rule-display="all"` を指定して段のない場所へも段間罫を引いています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

Antenna House, Inc.

脚注

`fo:footnote` により文章に脚注を作成できます。ページ下部に脚注が挿入されています。脚注領域は `fo:region-after` の内部ではなく `fo:region-body` の内部に下から確保されます。脚注と本文領域の間には `<fo:static-content flow-name="xsl-footnote-separator">`により分離領域を設定できます。サンプルでは罫線を指定しています。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

脚注の配置方法

[axf:footnote-stacking](#) で脚注の配置方法を指定できます。既定値は `block` です。`axf:footnote-stacking="block"` 指定で `block` 方向に脚注を並べて配置されます。`inline` 指定にすると `inline` 方向に並べて配置されます。1 ページ目は `axf:footnote-stacking="block"` 指定で `block` 方向に脚注を並べています。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾ XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

このページでは、`axf:footnote-stacking="inline"` 指定で脚注を `inline` 方向に並べて配置しています。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

脚注番号の作成と初期値

[axf:footnote-number](#) と [axf:footnote-number-citation](#) を使用して、脚注番号を組版時に作成、引用できます。一般的には、脚注番号はあらかじめスタイルシートで値を計算し、XSL-FO には確定した値を出力しますが、この方法では組版時に値が決定されます。また、[fo:page-sequence](#) に [axf:footnote-number-format](#) を指定して脚注の書式を、[axf:footnote-number-initial](#) を指定して初期値を変更できます。

AH Formatter は^(a)、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える^(b)、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており^(c)、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

^(a) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

^(b) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

^(c) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

このページでは、新たな `fo:page-sequence` に `axf:footnote-number-format="*1"`、`axf:footnote-number-initial="10"` を指定して 1 ページ目と脚注番号の初期値と表示形式を変更しています。

AH Formatter は^{*10}、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える^{*11}、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており^{*12}、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

^{*10} 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

^{*11} XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

^{*12} 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

同じページに同じ脚注の表示抑止

[axf:suppress-duplicate-footnote](#) を指定して、同一ページ内の複数の場所に同一の脚注を割り当てたとき、同一脚注領域にそれらが重複して表示されるのを抑止できます。このページは `axf:suppress-duplicate-footnote="true"` で重複表示を抑止しています。

あいうえお⁽¹⁾

かきくけこ⁽²⁾

AH Formatter は⁽³⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽⁴⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽⁵⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

あいうえお⁽¹⁾

かきくけこ⁽²⁾

⁽¹⁾ 脚注サンプル 1

⁽²⁾ 脚注サンプル 2

⁽³⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

⁽⁴⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません

⁽⁵⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ目では axf:suppress-duplicate-footnote の指定がないため、脚注領域に同一脚注が重複表示されます。

あいうえお⁽¹⁾

かきくけこ⁽²⁾

AH Formatter is a most powerful formatting and printing software⁽³⁾ using XSL-FO and XML/HTML with CSS⁽⁴⁾.

This software conforms to XSL 1.1⁽⁵⁾, which is a specification for displaying / printing XML documents in a fine manner. Also it supports the page formatting with the layout setting by the CSS Level 3 specification which is currently under formulation in the CSS Working Group.

あいうえお⁽¹⁾

かきくけこ⁽²⁾

(1) 脚注サンプル 1

(2) 脚注サンプル 2

(3) Depending on the formatting capability, AH Formatter (formatting using XSL-FO and CSS) and AH CSS Formatter (formatting using CSS) are available.

(4) XSL-FO and CSS cannot be mixed.

(5) See also [XSL-FO Conformance] in the online manual.

(1) 脚注サンプル 1

(2) 脚注サンプル 2

Antenna House, Inc.

脚注を複数ページに渡って配置

[axf:footnote-max-height](#) を使用して、脚注領域の高さを設定できます。既定値は `auto` です。`axf:footnote-max-height="auto"` のときの動作は、オプション設定ファイルの `auto-break-footnote` の値に依存します。`axf:footnote-max-height="auto"` で `auto-break-footnote` が `false` のときは脚注がページ分割しません。大きな脚注の場合はオーバフローが起きます。`axf:footnote-max-height="auto"` で `auto-break-footnote` が `true` のときは `axf:footnote-max-height` にページ高さが指定されたとみなされ、`footnote-body` 内でページ分割します。`axf:footnote-max-height` へ `length`、`percentage` も指定できます。値は、正の値でなければなりません。このとき、`auto-break-footnote` は参照されません。値の指定では、`footnote-body` 内でページ分割が起こることがあります。脚注は、アンカー位置以降に入るだけ入り、入らなかった分が分割されて次のページに送られます。

axf:footnote-max-height="15%" を設定した例

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

あいうえお(3)

(1) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

[illegible]

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽⁴⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote. footnote.

⁽⁴⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

Antenna House, Inc.

段組のときの脚注

本文が段組されているときの脚注の例です。ページ下部に挿入されている脚注を段ごとに配置するのか、あるいは段抜きで配置するのかなど [axf:footnote-position](#) により配置場所を指定できます。1 ページ目では指定を行っていません。この場合は、段抜きで脚注が配置されます。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル

(1) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ目は `axf:footnote-position="column"` を指定して段ごとに脚注を配置した例です。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル

AH Formatter は⁽⁴⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽⁵⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽⁶⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプ
ル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注サンプル 脚注
サンプル

(1) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

(4) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(5) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(6) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

傍注

[axf:footnote-position](#) を指定して、傍注を作成できます。1 ページ目は `axf:footnote-position` を指定しない通常
の脚注の例です。2 ページ目以降に `axf:footnote-position` を指定しています。

AH Formatter は⁽¹⁾、XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウ
ェアです。

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業
中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter
(CSS を使った組版) が用意されています。

⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

2 ページ以降は `axf:footnote-position="outside"` を指定した標準的な傍注の例です。偶数ページの傍注は左側、奇数ページの傍注は右側配置になります。また、本文が一段組の場合は傍注の配置を `axf:footnote-align` で指定できます。通常はアンカー位置に揃えて配置されます。4、5 ページでは、傍注を `before`、`after` 側に寄せて配置しています。

(1) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

(2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

(3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

AH Formatter は⁽¹⁾、
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.
XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.
XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

AH Formatter は⁽¹⁾、

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

- (1) 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。
- (2) XSL-FO と CSS を混在させることはできません。
- (3) 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

axf:footnote-align 指定により傍注が偶数ページでは before 側、奇数ページでは after 側へ配置させています。

AH Formatter は⁽¹⁾、
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

AH Formatter は⁽¹⁾、

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XSL-FO を使った組版や CSS を使った XML/HTML が使える⁽²⁾、組版・印刷ソフトウェアです。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.
sample.

XML 文書をきれいに表示・印刷するための仕様である XSL 1.1 に対応しており⁽³⁾、また W3C で策定作業中の CSS Level 3 のページ媒体向け仕様によるレイアウト指定のページ組版にも対応しています。

⁽¹⁾ 組版できる能力に応じて、AH Formatter (XSL-FO、CSS を使った組版)、AH XSL Formatter (XSL-FO を使った組版)、AH CSS Formatter (CSS を使った組版) が用意されています。

⁽²⁾ XSL-FO と CSS を混在させることはできません。

⁽³⁾ 詳細はオンラインマニュアルの「XSL 仕様の実装状況」を参照してください。

改訂バー

改訂バーを表示する例です。改訂バーの開始位置は `fo:change-bar-begin` で、終了位置は `fo:change-bar-end` で指定します。`change-bar-class` で改訂バーの開始と終了オブジェクトに同じ名前をつけて対応関係を表します。改訂バーのオブジェクトは `fo:flow` の下位ならどこにあってもかまいません。`change-bar-placement` で改訂バーを段に対して左右・内側・外側など配置を指定します。`change-bar-color`、`change-bar-offset`、`change-bar-style`、`change-bar-width` は、`fo:change-bar-begin` に指定するプロパティで、改訂バーのカラー、本文からのオフセット、スタイルを示します。

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies

■ molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

Antenna House, Inc.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies

■ molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.
■ Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit.

■ A change bar starts at an `fo:change-bar-begin`, and ends at an `fo:change-bar-end`.
■ In order to make "end" match with "begin", class names are specified on `fo:change-bar-begin` and `fo:change-bar-end` using `change-bar-class`.

Antenna House, Inc.

任意の文字を改訂バーとして出力

AH Formatter では、fo:change-bar-begin の子要素に fo:float を記述できるように拡張されています。これにより任意の文字を改訂バーとして出力することができます。

```
<fo:change-bar-begin change-bar-class="abc">
<fo:float float="start">
<fo:block-container width="2em" background-
color="lightpink">
<fo:block font-size="0.8em">※改</fo:block>
</fo:block-container>
</fo:float>
</fo:change-bar-begin>
```

※改

This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes. There is a change bar with a note. This text has changes.

This text has no changes. There is no change bar. This text has no changes. There is no change bar. This text has no changes.

This text has changes. There is a change bar without a note. This text has changes. There is a change bar without a note. This text has changes. There is a change bar without a note.

Antenna House, Inc.

ページ番号

fo:page-number は組版した結果として決まるページ番号に置き換わります。

この例では、次のページから、フッタの fo:static-content の中に、 - <fo:page-number/> - を配置しています。組版が終わると、2 ページ目から - 2 -、3 - とページ番号を表示します。

Antenna House, Inc.

項目 1 あいうえお

項目 1-1 アイウエオ

項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容

項目 1-1-2

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

項目 1-2 カキクケコ

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

ページ番号の形式と初期ページ番号

format プロパティで fo:page-number で作成するページ番号の形式を指定できます。また、initial-page-number で fo:page-sequence 毎に初期ページ番号を指定できます。

- ・ 2 ページの目次では、ページ番号の形式を「i」（ローマ数字）にしています。初期のページ番号を 1 に設定します。
`<fo:page-sequence initial-page-number="1" format="i" ...>`
- ・ 本文のページ番号の形式を「1」「2」（アラビア数字）にしています。ページ番号も再び 1 から開始します。
`<fo:page-sequence initial-page-number="1" format="1" ...>`

Antenna House, Inc.

目次例

項目 1 あいうえお.....	1
項目 1-1 アイウエオ.....	1
項目 1-1-1.....	1
項目 1-1-2.....	2
項目 1-2 カキクケコ.....	2

項目 1 あいうえお

項目 1-1 アイウエオ

項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容

- 1 -

項目 1-1-2

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

項目 1-2 カキクケコ

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

- 2 -

相対ページ番号

[axf:origin-id](#) を用いてページ番号の基点を指定するサンプルです。fo:page-number、fo:page-number-citation、fo:page-number-citation-last は、通常 fo:page-sequence で生成されるページ内でページ番号が付けられます。axf:origin-id は FO 要素の ID 参照を含み、fo:page-number などと共に用いることで axf:origin-id が参照する ID を持つ FO 要素が生成される最初のページを基点に相対するページ番号を生成します。出力されるページ番号は、次のように決まります。

[ref-id のページ] - [origin-id のページ] + 1

ref-id プロパティを持たない fo:page-number では、ref-id は fo:page-number 自身の位置とみなされます。

- 1 -

Antenna House, Inc.

次の複数ページに跨る表で、fo:table-footer は表部分の現在のページを表しています。fo:page-number を使ってページ番号を生成し、fo:page-number-citation-last (fo:table の ID を参照する ref-id) を使って、表の全体のページ数を生成します。fo:page-number、fo:page-number-citation-last は共に fo:table の ID を参照する axf:origin-id をページ番号の基点とする指定がされています。よって、fo:table-footer に表示されるページ番号は表の最初のページに相対となるように生成されます。

fo:table-header はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-body
fo:table-footer はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。1/3

- 2 -

Antenna House, Inc.

fo:table-header	はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-footer	はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。 2/3

- 3 -

Antenna House, Inc.

fo:table-header	はすべてのページ上に繰り返し出現します。
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-body	
fo:table-footer	はすべてのページ上に繰り返し出現します。ここでは、"表部分のページ番号 / 表部分のページ総数"で表現します。3/3

- 4 -

Antenna House, Inc.

ページ番号の逆順振り、通しノンブル

axf:reverse-page-number="true" により指定した fo:page-sequence 内のページ番号参照を最後のページから降順に数えたものにできます。axf:reverse-page="true" と組み合わせて、PDF 出力時に縦書き組中の横書き部分へ通しノンブル（ページ番号）を付けられます。このサンプルではページ番号 4、5 となる索引の部分へ axf:reverse-page、axf:reverse-page-number を指定しています。[axf:reverse-page-number](#) の指定は AH Formatter V6.3 より利用いただけます。

縦書きサンプルページ壺

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちり
ぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆ
めみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねなら
む。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。

縦書きサンプルページ式

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちり
ぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆ
めみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねなら
む。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。

縦書きサンプルページ参

いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちり
ぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆ
めみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねなら
む。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。
いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、
けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わ
かよたれそ、つねならむ。うゐのおくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑ
ひもせす。いろはにほへと、ちりぬるを。わかよたれそ、つねならむ。うゐの
おくやま、けふこえて。あさきゆめみし、ゑひもせす。

Blank page

索引

縦書きサンプル壱.....	1
縦書きサンプル弐.....	2
縦書きサンプル参.....	3

参考文献

- Sample-01
- Sample-02
- Sample-03
- Sample-04
- Sample-05

目次

fo:page-number-citation を使って目次ページを作成した例です。fo:page-number-citation の ref-id プロパティに参照先オブジェクトの id の値を指定します。組版した結果として参照先オブジェクトのページ番号が決まると、fo:page-number-citation はそのページ番号に置き換わります。

目次例

項目 1 あいうえお.....	2
項目 1-1 アイウエオ.....	2
項目 1-1-1.....	2
項目 1-1-2.....	3
項目 1-2 カキクケコ.....	3

Antenna House, Inc.

項目 1 あいうえお

項目 1-1 アイウエオ

項目 1-1-1

項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容
項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容、項目 1-1-1 の内容

項目 1-1-2

項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容
項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容、項目 1-1-2 の内容

項目 1-2 カキクケコ

項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容
項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容、項目 1-2 の内容

「ツメ」の組版

fo:retrieve-marker と fo:marker の機能を使用して、ページの右側に「ツメ」を印刷します。各ページにどの「ツメ」を印字するかは組版時に自動的に決定されます。

A ■
B ■
C ■
D ■
E ■

A

a-1 sample
a-2 sample
a-3 sample

B

b-1 sample
b-2 sample
b-3 sample
b-4 sample

C

c-1 sample
c-2 sample
c-3 sample
c-4 sample
c-5 sample
c-6 sample

D

d-1 sample
d-2 sample
d-3 sample
d-4 sample
d-5 sample
d-6 sample
d-7 sample

E

e-1 sample
e-2 sample
e-3 sample

F

f-1 sample

f-2 sample

G

g-1 sample

g-2 sample

F
G

索引

本文中のオブジェクト（索引語項目）に `index-key` プロパティで索引語（キー）を指定します。索引一覧部分は、索引語項目を表示し、次いで `fo:index-page-citation-list` を置きます。`fo:index-page-citation-list` の子要素として `fo:index-key-reference` を列挙します。`fo:index-key-reference` には `ref-index-key` プロパティで索引語（キー）を指定します。組版終了時には、`fo:index-key-reference` は索引語（キー）のページ番号になります。参照ページをハイパーリンクとするか否かを `page-number-treatment` プロパティで指定できます。

本サンプルでは文書内のアンダーラインの付いた青字の部分に `index-key` プロパティを指定しています。

TITLE 1.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus. Amus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris com-

modo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque.

TITLE 2.

Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus. [Vivamus](#) nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. [Ut blandit](#) tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. [Lorem ipsum](#) dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae.

索引

page-number-treatment 指定なし	page-number-treatment="link" 指定
Lorem ipsum..... 1, 2	Lorem ipsum..... 1, 2
TITLE 1..... 1	TITLE 1..... 1
TITLE 2..... 2	TITLE 2..... 2
Ut blandit..... 1, 2	Ut blandit..... 1, 2
Vivamus..... 2	Vivamus..... 2

Antenna House, Inc.

カウンタスタイル

axf:counter-style により独自のカウンタスタイルを定義できます。name でカウンタスタイルの名前、system でカウンタシステムの種類、symbols でカウンタシンボルを指定します。name で指定した名前は list-style-type や axf:number-transform などを利用可能です。axf:counter-style 拡張要素は、fo:declarations の直下に配置できます。また、[Predefined Counter Styles](#) および [7. Complex Predefined Counter Styles](#) で定義されているスタイルを利用できます。詳細はオンラインマニュアルの「[axf:counter-style](#)」をご参照ください。カウンタスタイルの設定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

このサンプルでは、一部を除き "One:1, Two:2, Three:3, Four:4, Five:5, Six:6" の文字列中の数字が変換されるように axf:number-transform の指定と axf:counter-style で定義した name を設定します。変換される数字は赤字にしています。また、ページ番号 fo:page-number の形式が、(1)、(2) ... になるよう fo:page-sequence の format へも axf:counter-style で定義した name を設定しています。

system="cyclic" symbols="a b c"

文字列内の数字列が a, b, c, a, b, c ... と繰り返すよう変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:a, Five:b, Six:c

system="numeric" symbols="a b c"

最初のシンボル a を 0 とみなすため、b から始まります。

One:b, Two:c, Three:ba, Four:bb, Five:bc, Six:ca

system="alphabetic" symbols="a b c"

文字列内の数字列が a, b, c, aa, ab, ac, ba, bb, bc, ... の順で変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:aa, Five:ab, Six:ac

system="symbolic" symbols="a b c"

文字列内の数字列が a, b, c, aa, bb, cc, aaa, bbb, ccc, ... の順で変換されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:aa, Five:bb, Six:cc

system="additive" additive-symbols="5 v,1 i"

文字列内の数字列が 1 を i、5 を v として変換されます。

One:i, Two:ii, Three:iii, Four:iiii, Five:v, Six:vi

system="fixed" symbols="a b c"

文字列内の数字列を a, b, c まで変換、以後は数字列のまま表示します。

One:a, Two:b, Three:c, Four:4, Five:5, Six:6

system="extends decimal" pad="2 '0'"

pad で短い桁に対するパディングを指定します。2 桁まで 01, 02, 03, ... の順で表示します。

One:01, Two:02, Three:03, Four:04, Five:05, Six:06

system="fixed" symbols="a b c" range="1 3" fallback="cjk-decimal"

range でスタイル適用範囲を指定、fallback で適用範囲外のフォールバックスタイルを指定します。1〜3の間は a, b, c のスタイルが適用されます。以降は Predefined Counter Styles 定義の cjk-decimal が適用され表示されます。

One:a, Two:b, Three:c, Four:四, Five:五, Six:六

system="extends decimal" negative="[" "]"

negative で負の値に対する前置後置文字列を指定します。負の値に前置'[、後置'] が適用され表示されます。

Negative two:[2], Negative one:[1], Zero:0, One:1, Two:2, Three:3

Predefined Counter Styles および 7. Complex Predefined Counter Styles

定義済み Predefined Counter Styles および 7. Complex Predefined Counter Styles のスタイルを指定した例です。

circled-decimal

One:①, Two:②, Three:③, Four:④, Five:⑤, Six:⑥

filled-circled-decimal

One:❶, Two:❷, Three:❸, Four:❹, Five:❺, Six:❻

fullwidth-upper-alpha

One:A, Two:B, Three:C, Four:D, Five:E, Six:F

lower-greek

One:α, Two:β, Three:γ, Four:δ, Five:ε, Six:ζ

japanese-informal

One:一, Two:二, Three:三, Four:四, Five:五, Six:六

japanese-formal

One:壹, Two:貳, Three:参, Four:四, Five:伍, Six:六

ブロック内、テキスト周りのアキ

ブロック内のテキストの周囲に任意のアキを確保できます。点線で示すブロックの内側のブロックに、マージン、インデント、ボーダー、パディングを指定しています。マージンは指定したブロックのボーダーの外側に取られます。インデントは内容領域の左右に取られます（インデント＝マージン＋ボーダー＋パディング）。

`margin-left="20mm" margin-right="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="20mm" end-indent="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="0mm" end-indent="20mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="20mm" margin-right="0mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`start-indent="20mm" end-indent="0mm" border-style="solid" border-width="5mm" border-color="#FFDDDD"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="0mm" padding="0mm"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

`margin-left="0mm" margin-right="0mm" padding="2mm" border-style="none"`

PDF が普及した要因のひとつは、PDF の仕様書が「PDF Reference」として PDF 誕生当初から公開されてきたことである。

ブロック間のアキ

space-after、space-before でブロック間のアキを任意に設定できます。下記は space-after で質問文と回答文のブロックの間を 2mm、回答文と次の質問文の間を 10mm 空けた例です。

質問 1. これは質問文のブロック

これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。 これは質問 1. の回答文のブロック。

質問 2. これは質問文のブロック

これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。 これは質問 2. の回答文のブロック。

質問 3. これは質問文のブロック

これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。 これは質問 3. の回答文のブロック。

質問 4. これは質問文のブロック

これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。 これは質問 4. の回答文のブロック。

境界線の種類や太さ

fo:block や fo:table-body などの周囲に境界線を引けます。ここでは境界線の種類や太さのサンプルを紹介します。また、境界線の色は border-color で指定できます。

border-after-style="solid"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="ridge"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="dotted"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="inset"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="dashed"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="outset"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="double"⁽¹⁾

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

border-after-style="groove"

border-after-width="thin"
border-after-width="medium"
border-after-width="thick"
border-after-width="0.5pt"
border-after-width="1mm"

⁽¹⁾ 拡張プロパティ [axf:border-double-thickness](#) により、線の幅と間隔を指定できます。

AH Formatter では、dot-dash、dot-dot-dash、wave が境界線として指定できるよう拡張されています。詳しくはオンラインマニュアルの [<border-style>](#) をご参照ください。

border-after-style="dot-dash"

border-after-width="thin"

 border-after-width="medium"
 - - - - -
 border-after-width="thick"
 ■ ■ ■ ■ ■
 border-after-width="0.5pt"

 border-after-width="1mm"
 - - - - -

border-after-style="wave"⁽²⁾

border-after-width="thin"
 ~~~~~  
 border-after-width="medium"  
 ~~~~~  
 border-after-width="thick"
 ~~~~~  
 border-after-width="0.5pt"  
 ~~~~~  
 border-after-width="1mm"
 ~~~~~

#### **border-after-style="dot-dot-dash"**

border-after-width="thin"  
 .....  
 border-after-width="medium"  
 - - - - -  
 border-after-width="thick"  
 ■ ■ ■ ■ ■  
 border-after-width="0.5pt"  
 .....  
 border-after-width="1mm"  
 - - - - -

<sup>(2)</sup> 拡張プロパティ [axf:border-wave-form](#) により、波形の長さと線の太さを指定できます。

## ボーダーの拡張、丸め罫

[axf:border-radius](#) でボーダーの種類として「丸め罫」を引けます。`axf:border-radius="15pt 10pt"` のように指定し最初の値は、水平方向の径（`writing-mode` が `vertical` のときは垂直方向）となります。二番目の値は、もう一方の径となります。省略されたときは最初の値と同じとみなされ、どちらかの径がゼロ以下のときは丸められません。

指定を行わない例です。

`fo:block` に `axf:border-radius="15pt 10pt"` を指定した例です。

`axf:border-radius="25pt 25pt"` を指定した例です。

`axf:border-radius="50% 50%"` を指定した例です。

# ボーダーによる対角罫

表のセルなど、ボーダーを指定できる領域に斜めに対角罫を引けます。[axf:diagonal-border-\\*](#) による対角罫は、領域の before-start 側頂点と after-end 側頂点を結ぶ線、[axf:reverse-diagonal-border-\\*](#) による対角罫（逆対角罫）は、領域の before-end 側頂点と after-start 側頂点を結ぶ線となります。

## fo:table での対角罫の使用

表の 1 行 1 列目のセルへ、`axf:diagonal-border-color="black"`, `axf:diagonal-border-style="solid"`, `axf:diagonal-border-width="1pt"` を指定した例

| <div>売上月</div> <div>グループ</div> | 1 月   | 2 月   | 3 月   |
|--------------------------------|-------|-------|-------|
| A グループ                         | 58.4% | 68.2% | 92.0% |
| B グループ                         | 67.0% | 70.7% | 88.2% |
| C グループ                         | 87.0% | 72.3% | 95.2% |

## 逆対角罫

`fo:block-container` へ `axf:reverse-diagonal-border-style="solid"`, `axf:reverse-diagonal-border-width="4pt"`, `axf:reverse-diagonal-border-color="#2222FF"` を指定して逆対角罫を引いた例

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla sed malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, et elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.

## 二重の枠線と太さ

[axf:border-double-thickness](#) により二重の枠線 `border-style="double"` の太さを指定できます。指定は `axf:border-double-thickness="1pt 1pt 1pt"` のように行い、値は順に 外側の線幅、間隔、内側の線幅 となります。値が省略されたときは、直前の値と等しい値とみなされます。負値は指定できません。二重の枠線と太さの指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

`border-style="double"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt 3pt 3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="3pt 1pt 1pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1pt 1pt 3pt"`

`border-style="double" axf:border-double-thickness="1pt 3pt 1pt"`

## 波枠線と形状

`border-style="wave"` により波形状の枠線を指定できます。指定は `axf:border-wave-form="10 3pt"` のように行い、ひとつ、またはふたつの値を指定できます。値は順に 波長、線幅 となります。値は、`number` または `length` または `auto` を指定できます。`number` は、枠線の幅に対する比率となります。値が省略されたときまたは `auto` のときは、それぞれ 6、0.125 とみなされます。負値は指定できません。波枠線と形状の指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

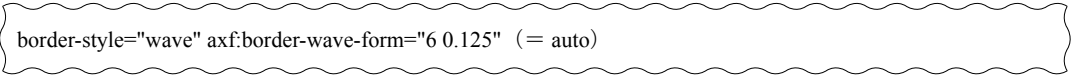
`border-style="wave"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="auto"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="6 0.125" (= auto)`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="2"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="5"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="10"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="10 3pt"`



`border-style="wave" axf:border-wave-form="10 5pt"`

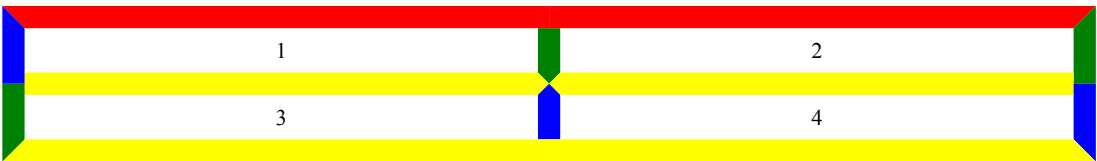


# ボーダーの接合部の形状

[axf:border-connection-form](#) によってボーダーの接合部の形状を指定します。この機能は AH Formatter V6.6 から利用いただけます。

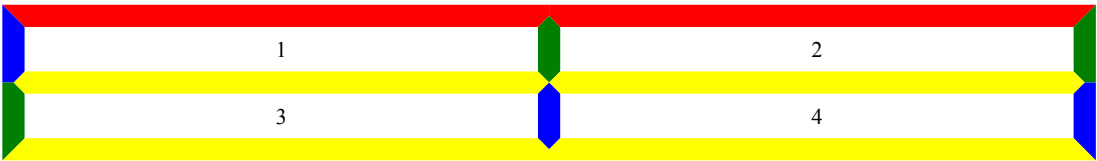
## axf:border-connection-form="mixed"

axf:border-connection-form の値が mixed では同じ太さで丁字に交差するとき矩形にします。他は楔型になります。



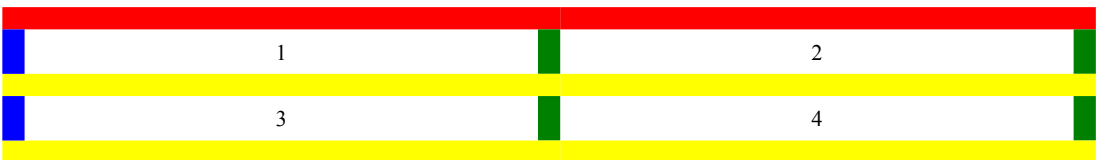
## axf:border-connection-form="wedge"

axf:border-connection-form の値が wedge では楔型に接合します。十字に交差する部分では X 型に、丁字に交差する部分では Y 型になります。



## axf:border-connection-form="precedence"

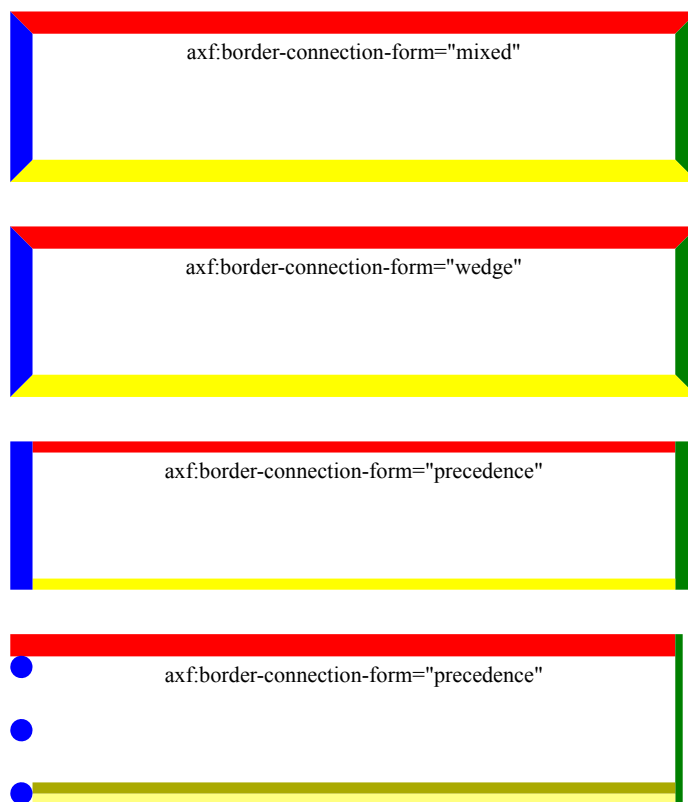
axf:border-connection-form の値が precedence では太いボーダーを端まで描きます。同じ太さのときは、ボーダーの優先順位によって強いボーダーを端まで描きます。<sup>(1)</sup>



<sup>(1)</sup> 優先度については [17.6.2.1 Border conflict resolution](#) をご参照ください。また、「[表の配置と表示のサンプル](#)」の「ボーダーの優先度」もご参照ください。



fo:block や fo:block-container のボーダーでは mixed や wedge の接合部は楔形ですが、precedence ではボーダーの優先順位によって形状が変化します。



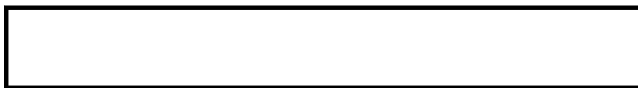
## ボックスシャドウ

[axf:box-shadow](#) の指定でボックスシャドウを指定できます。axf:box-shadow="10px 10px 5px 10px darkgray" のように設定し、値は順に、水平方向の影のオフセット、垂直方向の影のオフセット、ぼかし半径、影の広さ、影の色の指定となります。inset 指定を加えて影を内側にも作成できます。

**axf:box-shadow="10px 10px 0px 0px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px 5px 0px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px 0px 8px darkgray"**



**axf:box-shadow="inset 10px 10px 0px 0px darkgray"**



影のオフセットが負の値のとき、正の値と逆側の領域が影となります。値の組は複数指定ができ、幾重にも影を作成できます。

**axf:box-shadow="-10px -10px darkgray"**



**axf:box-shadow="10px 10px dimgray,20px 20px darkgray,30px 30px lightgray"**



## 隣り合うブロックを同じページに配置

本文領域に次の行が入らないとき自動的に改ページが発生しますが、keep-with-next="always"により隣り合った段落（ブロック）同士を強制的に同一ページに配置できます。次の2ページ目は最後の方に背景色がつけられたブロック「Q3」があり、それに対する「A」が3ページ目から始まっています。これは通常の配置例です。これに対し4ページ目と5ページ目では「Q」に対する「A」が必ず同じページに配置されます。

Antenna House, Inc.

### 背景色のあるブロックに何も設定しない（既定値）

#### Q1. 質問タイトル

これは Q1.の質問文のブロック これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。  
これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。

#### Q2. 質問タイトル

これは Q2.の質問文のブロック これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。  
これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

#### Q3. 質問タイトル

Antenna House, Inc.

これは Q3.の質問文のブロック これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

**背景色のあるブロックに keep-with-next="always" を設定**

**Q1. 質問タイトル**

これは Q1.の質問文のブロック これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。  
これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは  
Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。

**Q2. 質問タイトル**

これは Q2.の質問文のブロック これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。  
これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは  
Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

### Q3. 質問タイトル

これは Q3.の質問文のブロック これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。  
これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは  
Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

## 隣り合うブロックを同じ段に配置するサンプル

`keep-with-next.within-column="always"` とすると同一段になるように指定できます。Q2.には非設定、Q3.に設定。

### Q1. 質問タイトル

これは Q1.の質問文のブロック

A これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。 これは Q1.の回答文のブロック。

### Q2. 質問タイトル

これは Q2.の質問文のブロック

A これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。 これは Q2.の回答文のブロック。

### Q3. 質問タイトル

これは Q3.の質問文のブロック

A これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。 これは Q3.の回答文のブロック。

Antenna House, Inc.

## 同じブロックを同じページに配置

`keep-together` をまとまったブロック（段落や図形に）に指定して全体を一ページ内に収めるよう設定できます。通常はページの上から文字を配置して一杯になると自動的に改ページが発生します。

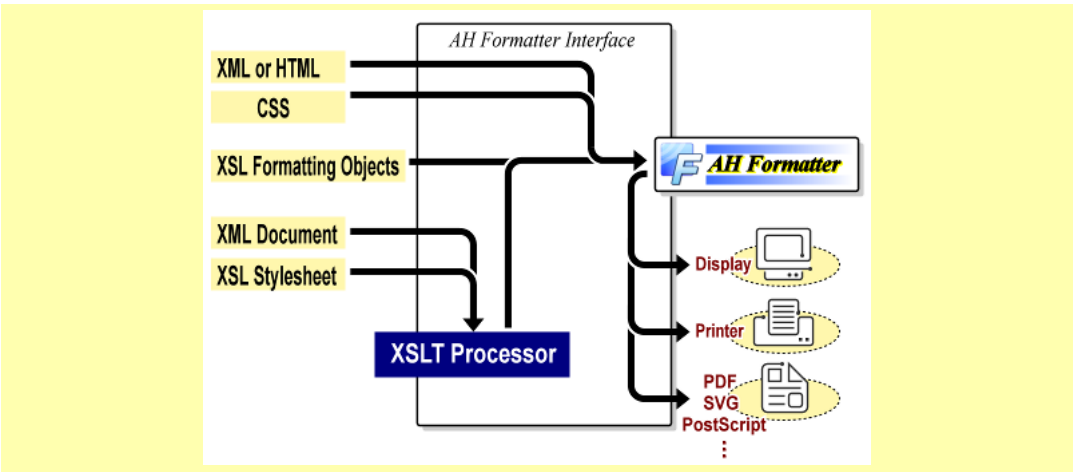
### 背景色のあるブロックに何も設定しない（既定値）

#### 組版の流れ

AH Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます（ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ）。

この流れは、次のようになります。

Antenna House, Inc.



Antenna House, Inc.

## 背景色のあるブロック全体に `keep-together.within-page="always"` を設定

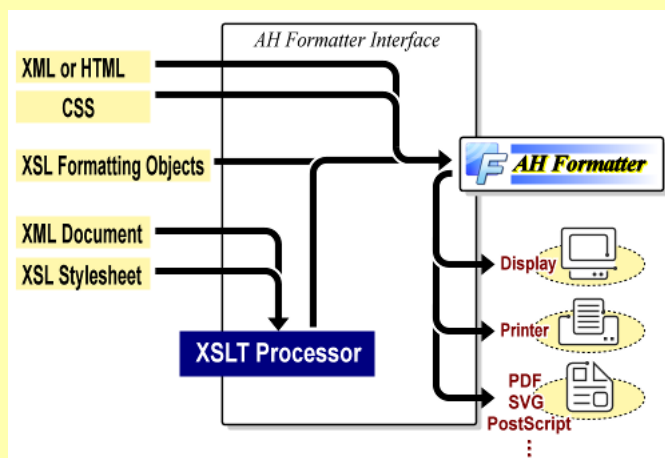
`keep-together` の指定により、次のページでブロックがまとまります。

Antenna House, Inc.

### 組版の流れ

AH Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます（ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ）。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.

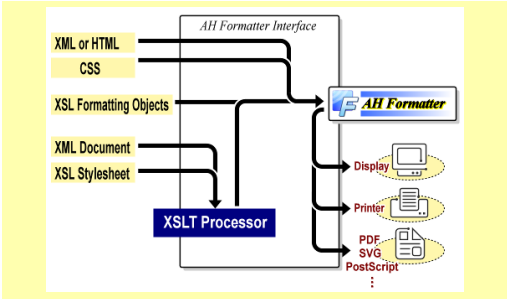
## 同じブロックを同じ段に配置するサンプル

背景色のあるブロックに何も設定しない  
(既定値)

### 組版の流れ

AH Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます (ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ)。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.

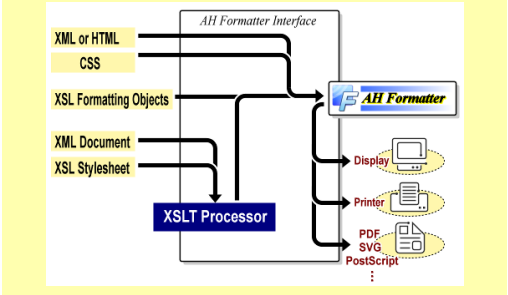
背景色のあるブロック全体に `keep-together.within-column="always"` を設定

`keep-together` の指定により、次の段でブロックがまとまります。

### 組版の流れ

AH Formatter は、XSL Formatting Objects (XSL-FO) や XML と XSL スタイルシートからの組版、HTML や XML と CSS からの組版などを行います。組版結果は、GUI を用いてディスプレイへ表示したり、PDF などへ出力、または印刷されます (ディスプレイ表示と印刷は Windows 版のみ)。

この流れは、次のようになります。



Antenna House, Inc.



## keep-together を適用する高さの上限を指定

axf:keep-together-within-dimension の指定により、keep-together.within-page または .within-column が auto でないとき、そのブロックに keep-together を適用する高さの上限を指定することができます。値は既定値の all（高さ制限なし）、<length> で高さを指定します。<length> で高さを指定すると、その高さまでは keep-together が適用されますが、それ以降は keep-together に auto が指定されたように振る舞います。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:keep-together-within-dimension](#)」をご参照ください。axf:keep-together-within-dimension の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

例えば、あるブロックに keep-together.within-page="always" を指定したいが、ページの高さを超えるようなブロックのときは分割して欲しいというときは、次のように指定します。

```
<fo:block keep-together.within-page="always" axf:keep-together-within-dimension="100vh">
```

Antenna House, Inc.

### axf:keep-together-within-dimension="all"

ブロック（赤枠）の高さの制限なし、ブロックが段を超えてもそのまま出力されます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Duis at lacus mattis, luctus leo rhoncus, interdum velit. Nam ultrices orci nunc, et vestibulum ligula efficitur a. Aliquam mol-

Antenna House, Inc.

**axf:keep-together-within-dimension="100vh"**

ブロック（赤枠）の高さの上限を指定、段を超えたブロックが次の段へ分割されます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum

Antenna House, Inc.

massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Duis at lacus mattis, luctus leo rhoncus, interdum velit. Nam ultrices orci nunc, et vestibulum ligula efficitur a. Aliquam mollis, ante nec consequat accumsan, odio est fringilla ipsum, nec sollicitudin felis justo sit amet leo. Etiam tempor blandit lectus, eu tempus odio lobortis non

Antenna House, Inc.

#### **axf:keep-together-within-dimension="all"**

axf:keep-together-within-dimension が適用されるブロック（赤枠）の高さに制限はありません。ブロックが分割されないため、ブロックの前の段またはページの下部に大きなスペースが残る場合があります。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

#### **axf:keep-together-within-dimension="50vh"**

配置可能なエリアの高さよりも高いブロック（赤枠）に axf:keep-together-within-dimension の上限が指定されている場合、配置可能なエリアの高さがその上限に一致または超えるとブロックが分割することがあります。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam

posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

**axf:keep-together-within-dimension="50vh"**

配置可能なエリアの高さよりも高いブロック（赤枠）に `axf:keep-together-within-dimension` の上限が指定されている場合、配置可能なエリアの高さがその上限より小さいときはブロックは分割されません。

Praesent nisi. Sed tincidunt. Dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

## ブロックコンテナを絶対位置で配置

fo:block-container で位置とサイズを指定した領域を作成できます。block-container の中に fo:block で段落を配置します。

**absolute-position="absolute" top="0mm"  
left="0mm" width="78mm" height="60mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="0mm"  
left="90mm" width="78mm" height="60mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="65mm" left="20mm" width="120mm"  
height="50mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute"  
top="120mm" left="0mm"  
width="60mm" height="85mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

**absolute-position="absolute" top="135mm"  
left="70mm" width="88mm" height="58mm"**

PDF の用途は大きく、①印刷分野での使用、②ビジネス・教育・官公庁などでの一般用途、に分けて考えると良い。以下に述べるように印刷分野の PDF と一般用との PDF では要求される機能が相当に異なり、適用される PDF ソフトウェアも異なることが多い。

## ブロックコンテナの位置と大きさ

ブロックコンテナ (fo:block-container) は位置の指定がされない場合、前のブロックに続いて配置されます。幅や高さは任意に指定された値、領域内に含まれる内容により変化します。

これは、位置の指定されないブロックコンテナの前のブロック領域です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。位置が指定されていないため、前のブロックに続いて配置されます。幅と高さの指定もされていないので、領域に含まれる内容がそのまま大きさに反映されます。

これは、位置の指定されないブロックコンテナの後ろのブロック領域です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を行内の進行方向の寸法で設定する `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さは指定されていないので内容によって大きさが決まります。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さはブロックの進行方向の寸法で設定する `block-progression-dimension="20%"` と指定しています。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。幅を `inline-progression-dimension="50%"` と指定、高さは `block-progression-dimension="30mm"` と指定しています。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。 `inline-progression-dimension.minimum="30em"`、 `block-progression-dimension.minimum="2em"` と指定して幅と高さの大きさを最小値で指定できます。

直前のブロックコンテナと同じ最低値指定です。

位置の指定されないブロックコンテナの内容です。 `inline-progression-dimension.maximum="30em"`、と高さ `block-progression-dimension.maximum="2em"` と指定して幅と高さの大きさを最大値で指定できます。  
直前のブロックコンテナと同じ最大値指定です。

高さの指定されていないブロックコンテナは内容があふれた場合、ブロックコンテナの内部で改ページします。 `block-container sample.`  
`block-container sample.` `block-container sample.` `block-container sample.`  
`block-container sample.` `block-container sample.` `block-container sample.`

block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample. block-container sample.  
 block-container sample. block-container sample.

## ブロックコンテナの段組、段間の罫線

段組を `fo:block-container` に対して `fo:region-body` と同じように指定ができます。また、段間に罫線を引くことができます。

### 通常の `fo:block-container` 指定

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

`axf:column-count="3", axf:column-gap="8pt"` を指定、三段組として段間幅を 8pt とした例

|                                                                                                                                  |                                                                     |                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵 | を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。 | どこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|

三段組に対して `axf:column-rule-style="solid", axf:column-rule-width="1.5pt", axf:column-rule-color="#AAAAFF", axf:column-rule-length="100%", axf:column-rule-align="center"` として、段間罫を指定した例

|                                                                                                                                  |                                                                     |                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵 | を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。 | どこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|



`axf:column-rule-display` により、段のないところに段間罫を引くか否かを指定できます。以下の例は `axf:column-rule-display="gap"` (既定値) で引かない例

|                                                                                      |                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 電子ファイルの形式としてのPDFを大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、 | どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|

`axf:column-rule-display="all"` 指定により段のないところへも段間罫を引く例

|                                                                                      |                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 電子ファイルの形式としてのPDFを大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、 | どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|

`axf:column-rule-length` が 100% でない場合、`axf:column-rule-align` は列内で縦方向の段間罫を揃える方法を指定します。この例では、70% の長さの段間罫を `after` 側に揃えて引いています。

|                                                                                      |                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 電子ファイルの形式としてのPDFを大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、 | どんな大きさと、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|

## 縦方向の文字配置の調整

`display-align="justify"` を指定してテキストをブロック進行方向に、行間を調整して均等割り付けできます。

`display-align="auto"`

1 block

Antenna House  
Sample FO test test  
test test

multiple blocks

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test

`line-height="3"` is specified for blue block

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test  
test  
last line

`display-align="justify"`

1 block

Antenna House  
  
Sample FO test test  
  
test test

multiple blocks

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test

`line-height="3"` is specified for blue block

test  
test  
test  
test test test test test  
test test test test test  
test test  
test  
last line

## オーバーフロー

fo:block-container、fo:inline-container に指定された大きさの領域内にテキストが入りきらない（オーバーフロー）場合に、はみ出た部分の表示のさせ方を指定できます。AH Formatter は、オーバーフローに関するプロパティおよび拡張プロパティとして複数の値をサポートしています。詳しくはオンラインマニュアル「[overflow](#)」または「[オーバーフローの拡張](#)」をご参照ください。

オーバーフローなし（Non-Overflow）

原文です。原文です。原文です。

overflow="hidden"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="visible"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="repeat"

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

overflow="scroll"（非サポート）

原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。原文です。

## オーバースローを代替文字、文字サイズで調整

fo:block-container、fo:inline-container に指定された大きさの領域にテキストが入りきらない（オーバースロー）場合に、overflow="replace"、「axf:overflow-replace」でテキストに対する代替文字列を指定できます。また、overflow="condense"、「axf:overflow-condense」によりテキストを長体にする、文字サイズを縮小、行間を縮小する、などの処理を指定できます。

指定なし

原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。

overflow="replace" axf:overflow-replace="Alternate text."

Alternate text.  
Alternate text.  
Alternate text.

overflow="condense" axf:overflow-condense="letter-spacing"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="font-stretch"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="font-size"

原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。  
原文です。原文です。原文です。

overflow="condense" axf:overflow-condense="line-height"

原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。  
原文です。原文です。

## オーバーフローした内容末尾の表示を指定

`axf:text-overflow` の指定により、インライン方向にオーバーフローしたときの、内容末尾の表示方法を指定します。`axf:text-overflow` の指定は、インライン方向のみ有効となりブロック方向のオーバーフローに対しては効果がありません。また、`overflow="hidden"` のときのみ機能は有効となります。指定できる値は既定値の `clip`（オーバーフローが発生しても何も処理しません）のほか、`ellipsis`（オーバーフローした内容末尾に省略記号（U+2026）を挿入）、`<string>`（オーバーフローした内容末尾に指定した文字列を挿入）です。なお、最初の 1 文字だけでオーバーフローしてしまうときは、`clip` として扱われます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:text-overflow](#)」をご参照ください。`axf:text-overflow` の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

### `axf:text-overflow="clip"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nul

### `axf:text-overflow="ellipsis"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. …

### `axf:text-overflow="→"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. →

### `axf:text-overflow` を段組へ指定した例

|                                                                                                                        |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| <b><code>axf:text-overflow="clip"</code></b><br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nulla consequ |  |
| <b><code>axf:text-overflow="ellipsis"</code></b><br>Lorem ipsum dolor sit amet, co…                                    |  |
| <b><code>axf:text-overflow="→"</code></b><br>Lorem ipsum dolor sit amet, co→                                           |  |

### `axf:text-overflow` を右から左へ記述する言語へ指定した例

#### `axf:text-overflow="clip"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בתבונה

#### `axf:text-overflow="ellipsis"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בת...

#### `axf:text-overflow="←"`

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובזכויותיהם. כולם חוננו בת←

## ブロックの変形

[axf.transform](#) を使ってブロックを変形できます。角度を `rotate`、`skew` などで指定します。ブロックの変形の基点は、`axf.transform-origin` で指定します。なお、`axf.transform` の指定では領域の変形は起こりません。内容だけが変形されます。

### `rotate(-15deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

### `skewX(-45deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

### `rotate(-15deg),skewX(-45deg)` を指定した場合

*Lorem ipsum dolor sit amet,  
consectetur adipiscing elit. Aliquam  
bibendum tincidunt pharetra.*

## 行グリッド

`axf:baseline-grid` 指定により、見出しや図があっても各段の行の位置がずれないように行グリッドを設定できます。`axf:baseline-grid="new"` により新しい行グリッドを設定します。この要素の `font` と `line-height` 設定が行グリッドの設定に利用されます。また、`root` 指定ではルート要素の `font` と `line-height` 設定が行グリッドに利用されます。`none` 指定で行グリッドを解除します。行以外のブロック（見出しや図表）をどのように行グリッドに配置するかは `axf:baseline-block-snap` で指定します。本サンプルでは既定値 `auto border-box`（段の先頭では `before`、最後では `after`、それ以外では `center` と同じ）で指定していますが、別々に `before`、`after`、`center` など指定できます。

### axf:baseline-grid 指定あり

このブロックは `axf:baseline-grid="new"` で行グリッドを設定してます。

見出し  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ  
大きな字  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、より大きな文字  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるをわかよたれそ。ゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図 `axf:baseline-block-snap="auto border-box"` (既定値)

### axf:baseline-grid 指定なし

このブロックは `axf:baseline-grid` による行グリッドの指定を行っていません。

見出し  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ  
大きな字  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを、より大きな文字  
いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ、うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるをわかよたれそ。ゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。

あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるをわかよたれそ。ゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。

図

いろはにほへとちりぬるを、わかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつねならむ。うゐのおくやまけふこえて、あさきゆめみしゑひもせす。いろはにほへとちりぬるを。

図

# 箇条書き

`fo:list-block` を使って箇条書きを表現した例です。箇条書きのラベルとリストボディの取り方と幅は、`fo:list-block` に `provisional-label-separation`（ラベル領域の終了位置とリストボディの開始位置の距離）、`provisional-distance-between-starts`（ラベル領域の開始位置とリストボディの開始位置の距離）を指定して決めます。

ラベル領域 リストボディ。ラベル領域の幅と、リストボディの開始位置は `fo:list-item-label` の `end-indent="label-end()"` と `fo:list-item-body` の `start-indent="body-start()"` 指定から自動的に計算されます。

以下の例では `fo:list-block` に `provisional-label-separation="1em"` `provisional-distance-between-starts="4em"` を指定しています。

## 五十音

あ行    あいうえお・アイウエオ  
か行    かきくけこ・カキクケコ  
さ行    さしすせそ・サシスセソ  
た行    たちつてと・タチツテト  
な行    なにぬねの・ナニヌネノ



## 表の配置

fo:table-and-caption に text-align を指定して、表全体の配置を中央、右、左、小口よりなどに寄せられます。  
fo:table-and-caption に指定した text-align の値は、表のセルの中まで継承されます。これを打ち消すには、  
fo:table、fo:table-body、fo:table-row、fo:table-cell などに目的の値の text-align を指定します。

### fo:table-and-caption text-align="center"

|               |               |
|---------------|---------------|
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |

### fo:table-and-caption text-align="right"

|               |               |
|---------------|---------------|
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |

### fo:table-and-caption text-align="left"

|               |               |
|---------------|---------------|
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |

**fo:table-and-caption text-align="inside"**

|               |               |
|---------------|---------------|
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |

**fo:table-and-caption text-align="center", fo:table text-align="right"**

fo:table-and-caption に指定した text-align="center"（中央寄せ）の値を、fo:table 内で text-align="right"（右寄せ）を指定して打ち消した例です。

|               |               |
|---------------|---------------|
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |
| 単独の表のセル内のテキスト | 単独の表のセル内のテキスト |

## 表のボーダーとパディング

表のボーダーとパディングの設定例です。色の付いた枠がボーダーでボーダーとテキストとの間隔がパディングです。自動レイアウトの場合は、パディングとボーダーの幅だけセル幅が広がります。

### 自動モード

|                                    |                                    |
|------------------------------------|------------------------------------|
| border-width="0.2mm" padding="0mm" | border-width="0.2mm" padding="3mm" |
| border-width="1.5mm" padding="0mm" | border-width="1.5mm" padding="3mm" |
| border-width="5.0mm" padding="0mm" | border-width="5.0mm" padding="3mm" |
| border-width="2.0mm" padding="0mm" |                                    |
| border-width="2.0mm" padding="1mm" |                                    |
| border-width="2.0mm" padding="2mm" |                                    |
| border-width="2.0mm" padding="5mm" |                                    |

### 固定モード inline-progression-dimension="40%" table-layout="fixed"

|                                    |
|------------------------------------|
| border-width="2.0mm" padding="0mm" |
| border-width="2.0mm" padding="1mm" |
| border-width="2.0mm" padding="2mm" |
| border-width="2.0mm" padding="5mm" |

# 表のカラム幅

表のカラム幅の設定方法は、自動モードと固定モードがあります。`table-layout="fixed"` で `inline-progression-dimension` の値が設定されているときに限り固定モードで行います。また、`inline-progression-dimension` の代わりに `width` を使えます。これ以外のときは自動モードです。

## 自動モード

`<fo:table inline-progression-dimension="auto" table-layout="auto">`

| 項目 1           | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|----------------|-------|-----|---------|
|                |       | 百万円 |         |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

## 固定モード

`<fo:table inline-progression-dimension="150mm" table-layout="fixed">`

| 項目 1           | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|----------------|-------|-----|---------|
|                |       | 百万円 |         |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

`<fo:table inline-progression-dimension="auto" table-layout="fixed">`

| 項目 1           | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|----------------|-------|-----|---------|
|                |       | 百万円 |         |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

`<fo:table width="150mm" table-layout="fixed">`

| 項目 1           | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|----------------|-------|-----|---------|
|                |       | 百万円 |         |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

`<fo:table width="auto" table-layout="fixed">`

| 項目 1           | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|----------------|-------|-----|---------|
|                |       | 百万円 |         |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

`<fo:table inline-progression-dimension="150mm" table-layout="fixed">`、カラムには左から順に 30mm、30mm、20mm、70mm という設定をしています。

| 項目 1  | 項目 2  | 金額  | 備考      |
|-------|-------|-----|---------|
|       |       | 百万円 |         |
| あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと |

Antenna House, Inc.

## カラムスパンとロースパン

`number-columns-spanned` で表のセルを横方向に連結、`number-rows-spanned` で表のセルを縦方向に連結できます。また、2つの指定をあわせて指定できます。

表のカラムスパンの設定例です。

|                            |                            |     |     |
|----------------------------|----------------------------|-----|-----|
| 1-1                        | 1-2                        | 1-3 | 1-4 |
| number-columns-spanned="2" |                            | 2-3 | 2-4 |
| number-columns-spanned="3" |                            |     | 3-4 |
| number-columns-spanned="4" |                            |     |     |
| 5-1                        | number-columns-spanned="2" |     | 5-4 |

表のロースパンの設定例です。

|     |                         |                         |                         |
|-----|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1-1 | number-rows-spanned="2" | number-rows-spanned="5" | 1-4                     |
| 2-1 |                         |                         | number-rows-spanned="3" |
| 3-1 | 3-2                     |                         |                         |
| 4-1 | 4-2                     |                         |                         |
| 5-1 | 5-2                     |                         | 5-4                     |

表のカラムスパンとロースパンをあわせた設定例です。

|     |                            |     |     |
|-----|----------------------------|-----|-----|
| 1-1 | number-columns-spanned="2" |     | 1-4 |
| 2-1 | number-rows-spanned="2"    |     | 2-4 |
| 3-1 | 3-2                        | 3-3 | 3-4 |
| 4-1 | number-columns-spanned="3" |     |     |
| 5-1 |                            |     |     |

## 表のヘッダ、フッタの繰り返し

fo:table の table-omit-header-at-break、table-omit-footer-at-break により、表が複数ページに分割されたときに、ヘッダ、フッタを繰り返すかどうかを制御できます。

表のヘッダ、フッタを繰り返します。

表の見出し Title

| 列 1 Header       | 列 2 Header       |
|------------------|------------------|
| 1. 単独の表のセル内のテキスト | 1. 単独の表のセル内のテキスト |
| 2. 単独の表のセル内のテキスト | 2. 単独の表のセル内のテキスト |
| 3. 単独の表のセル内のテキスト | 3. 単独の表のセル内のテキスト |
| 4. 単独の表のセル内のテキスト | 4. 単独の表のセル内のテキスト |
| 列 1 Footer       | 列 2 Footer       |

Antenna House, Inc.

| 列 1 Header        | 列 2 Header        |
|-------------------|-------------------|
| 5. 単独の表のセル内のテキスト  | 5. 単独の表のセル内のテキスト  |
| 6. 単独の表のセル内のテキスト  | 6. 単独の表のセル内のテキスト  |
| 7. 単独の表のセル内のテキスト  | 7. 単独の表のセル内のテキスト  |
| 8. 単独の表のセル内のテキスト  | 8. 単独の表のセル内のテキスト  |
| 9. 単独の表のセル内のテキスト  | 9. 単独の表のセル内のテキスト  |
| 10. 単独の表のセル内のテキスト | 10. 単独の表のセル内のテキスト |
| 11. 単独の表のセル内のテキスト | 11. 単独の表のセル内のテキスト |
| 12. 単独の表のセル内のテキスト | 12. 単独の表のセル内のテキスト |
| 列 1 Footer        | 列 2 Footer        |

表のヘッダ、フッタを繰り返しません。

表の見出し Title

| 列 1 Header       | 列 2 Header       |
|------------------|------------------|
| 1. 単独の表のセル内のテキスト | 1. 単独の表のセル内のテキスト |
| 2. 単独の表のセル内のテキスト | 2. 単独の表のセル内のテキスト |
| 3. 単独の表のセル内のテキスト | 3. 単独の表のセル内のテキスト |

Antenna House, Inc.

|                                                                                                                         |                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4. 単独の表のセル内のテキスト<br>5. 単独の表のセル内のテキスト<br>6. 単独の表のセル内のテキスト                                                                | 4. 単独の表のセル内のテキスト<br>5. 単独の表のセル内のテキスト<br>6. 単独の表のセル内のテキスト                                                                |
| 7. 単独の表のセル内のテキスト<br>8. 単独の表のセル内のテキスト<br>9. 単独の表のセル内のテキスト<br>10. 単独の表のセル内のテキスト<br>11. 単独の表のセル内のテキスト<br>12. 単独の表のセル内のテキスト | 7. 単独の表のセル内のテキスト<br>8. 単独の表のセル内のテキスト<br>9. 単独の表のセル内のテキスト<br>10. 単独の表のセル内のテキスト<br>11. 単独の表のセル内のテキスト<br>12. 単独の表のセル内のテキスト |
| 列 1 Footer                                                                                                              | 列 2 Footer                                                                                                              |

Antenna House, Inc.

## 段組の表のヘッダ、フッタを省略

XSL 仕様には、表がページ分割したときに表のヘッダやフッタを省略する `table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` というプロパティがあります。しかし、このプロパティはページ分割したときの動作を指定するため、段組指定のページで表が段分割した場合に表のヘッダやフッタを省略できません。AH Formatter では、`table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` に拡張指定 "[column](#)" によりページ分割したときは表のヘッダやフッタを省略せず、段分割したときはヘッダやフッタを省略できます。

### 指定を行わない例

| table header 1 | table header 2 | table header 1 | table header 2 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| table footer 1 | table footer 2 | table footer 1 | table footer 2 |

### `table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` へ `column` を指定した例

| table header 1 | table header 2 | cell           | cell           |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | table footer 1 | table footer 2 |

### ページ分割する表の `table-omit-header-at-break`、`table-omit-footer-at-break` へ `column` を指定した例

| table header 1 | table header 2 | cell           | cell           |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | cell           | cell           |
| cell           | cell           | table footer 1 | table footer 2 |



| table header 1 | table header 2 | cell | cell |
|----------------|----------------|------|------|
| cell           | cell           | cell | cell |
| cell           | cell           | cell | cell |
| cell           | cell           | cell | cell |
| cell           | cell           | cell | cell |
| cell           | cell           | cell | cell |
| table footer 1 | table footer 2 |      |      |

# 表の行途中でのページ分割抑止

fo:table-row に対して keep-together.within-page="always" を指定すると、表の行の途中でページ分割しません。最初の例は keep-together.within-page="always" 指定がないため、表が行の途中でページ分割し、内容が別々のページに表示されます。次の例は keep-together.within-page="always" 指定があり、表が行の途中でページ分割しないため、オーバーした fo:table-row は次のページに表示されます。

## keep-together.within-page="always" 指定なし

表の見出し Title

| 列 1 Header       | 列 2 Header       |
|------------------|------------------|
| 1. 単独の表のセル内のテキスト | 1. 単独の表のセル内のテキスト |
| 2. 単独の表のセル内のテキスト | 2. 単独の表のセル内のテキスト |
| 3. 単独の表のセル内のテキスト | 3. 単独の表のセル内のテキスト |
| 4. 単独の表のセル内のテキスト | 4. 単独の表のセル内のテキスト |

Antenna House, Inc.

| 5. 単独の表のセル内のテキスト | 5. 単独の表のセル内のテキスト |
|------------------|------------------|
| 6. 単独の表のセル内のテキスト | 6. 単独の表のセル内のテキスト |
| 7. 単独の表のセル内のテキスト | 7. 単独の表のセル内のテキスト |
| 8. 単独の表のセル内のテキスト | 8. 単独の表のセル内のテキスト |
| 9. 単独の表のセル内のテキスト | 9. 単独の表のセル内のテキスト |
| 列 1 Footer       | 列 2 Footer       |

## keep-together.within-page="always" 指定あり

表の見出し Title

| 列 1 Header       | 列 2 Header       |
|------------------|------------------|
| 1. 単独の表のセル内のテキスト | 1. 単独の表のセル内のテキスト |
| 2. 単独の表のセル内のテキスト | 2. 単独の表のセル内のテキスト |
| 3. 単独の表のセル内のテキスト | 3. 単独の表のセル内のテキスト |
| 4. 単独の表のセル内のテキスト | 4. 単独の表のセル内のテキスト |
| 5. 単独の表のセル内のテキスト | 5. 単独の表のセル内のテキスト |
| 6. 単独の表のセル内のテキスト | 6. 単独の表のセル内のテキスト |

Antenna House, Inc.

|                  |                  |
|------------------|------------------|
| 7. 単独の表のセル内のテキスト | 7. 単独の表のセル内のテキスト |
| 8. 単独の表のセル内のテキスト | 8. 単独の表のセル内のテキスト |
| 9. 単独の表のセル内のテキスト | 9. 単独の表のセル内のテキスト |
| 列 1 Footer       | 列 2 Footer       |

Antenna House, Inc.

## セル内の文字の位置

`display-align` で表のセル内の段落配置をセルの上辺に寄せたり、下辺に寄せたり、中央にしたりできます。  
AH Formatter は、テキストが表のセルを満たすように行間のスペースを調整する「[justify](#)」という値を拡張しています。

| <code>display-align="before"</code>                                                                     | <code>display-align="after"</code>                                                                               | <code>display-align="center"</code>                                                                     | <code>display-align="justify"</code>                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえお | あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえお<br>あいうえお | あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえお | あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえおあいうえお<br>あいうえお |

## セル内の指定文字による揃えと配置調整

fo:table-cell に対する <string> で、小数点などの指定された文字位置を揃えます。文字列全体はデフォルトで右寄せになります。[axf:text-align-string](#) を追加すると左寄せや中央揃えも指定できます。

### text-align / axf:text-align-string 指定なし

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

### text-align="." axf:text-align-string 指定なし

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

### text-align="." axf:text-align-string="start"

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

### text-align="." axf:text-align-string="center"

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

### text-align="." axf:text-align-string="end"

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

### text-align="." axf:text-align-string="inside"

|             |                 |           |
|-------------|-----------------|-----------|
| ABC         | 100             | 0.0       |
| AAA.BBB     | 100000000       | 0.0001    |
| AAA.BBBCCCC | 100000000.12345 | 9990.0001 |

## 表のページ分割した箇所へ文字列を指定

fo:retrieve-table-marker と fo:marker の機能を使用して、表がページ分割された箇所へ指定した文字列を表示できます。このサンプルではページ分割した箇所の前後へ"continued"が表示されるよう設定しています。

| Product type   | Item   | Item Details                                                                                                                                                                     |
|----------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Product type 1 | Item A | Item A Details 0<br>Item A Details 1<br>Item A Details 2<br>Item A Details 3<br>Item A Details 4<br>Item A Details 5<br>Item A Details 6<br>Item A Details 7<br>Item A Details 8 |
| continued..... |        |                                                                                                                                                                                  |

Antenna House, Inc.

| .....continued |        |                                                                                                                                                              |
|----------------|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Product type   | Item   | Item Details                                                                                                                                                 |
| Product type 2 | Item B | Item B Details 0<br>Item B Details 1<br>Item B Details 2<br>Item B Details 3<br>Item B Details 4<br>Item B Details 5<br>Item B Details 6<br>Item B Details 7 |

Antenna House, Inc.

## ページ分割されたセルの表示内容を指定

[axf:repeat-cell-content-at-break](#) で true（既定値、false）を指定してページ分割されたセルの内容をコピーできます。また、`axf:repeat-cell-content-at-break="true"` 指定のあるセルに [axf:table-cell-repeated-marker](#) を含めて、分割後のセルの内容に `axf:table-cell-repeated-marker` で指定した内容を表示できます。`axf:table-cell-repeated-marker` を指定した三つ目のサンプルでは、セルの内容へ (Continued) を加えた表示内容になるよう指定しています。

### axf:repeat-cell-content-at-break="false" または、指定なし

| Product type   | Item   | Item Details     |
|----------------|--------|------------------|
| Product type 1 | Item A | Item A Details 1 |
|                |        | Item A Details 2 |
|                |        | Item A Details 3 |
|                |        | Item A Details 4 |
|                |        | Item A Details 5 |
|                |        |                  |

Antenna House, Inc.

| Product type | Item   | Item Details     |
|--------------|--------|------------------|
|              |        | Item A Details 6 |
|              |        | Item A Details 7 |
|              | Item B | Item B Details 1 |
|              |        | Item B Details 2 |
|              |        | Item B Details 3 |
|              |        | Item B Details 4 |
|              |        | Item B Details 5 |
|              |        | Item B Details 6 |
|              |        | Item B Details 7 |
|              |        | Item B Details 8 |
|              |        |                  |
|              |        |                  |
|              |        |                  |
|              |        |                  |
|              |        |                  |

### axf:repeat-cell-content-at-break="true"

| Product type   | Item   | Item Details     |
|----------------|--------|------------------|
| Product type 1 | Item A | Item A Details 1 |
|                |        | Item A Details 2 |
|                |        | Item A Details 3 |
|                |        | Item A Details 4 |
|                |        | Item A Details 5 |
|                |        |                  |

Antenna House, Inc.

| Product type   | Item   | Item Details     |
|----------------|--------|------------------|
| Product type 1 | Item A | Item A Details 6 |
|                |        | Item A Details 7 |
|                | Item B | Item B Details 1 |
|                |        | Item B Details 2 |
|                |        | Item B Details 3 |
|                |        | Item B Details 4 |
|                |        | Item B Details 5 |
|                |        | Item B Details 6 |
|                |        | Item B Details 7 |
|                |        | Item B Details 8 |

**axf:repeat-cell-content-at-break="true", axf:table-cell-repeated-marker 指定あり**

| Product type   | Item   | Item Details     |
|----------------|--------|------------------|
| Product type 1 | Item A | Item A Details 1 |
|                |        | Item A Details 2 |
|                |        | Item A Details 3 |
|                |        | Item A Details 4 |
|                |        | Item A Details 5 |

Antenna House, Inc.

| Product type                  | Item                  | Item Details     |
|-------------------------------|-----------------------|------------------|
| Product type 1<br>(Continued) | Item A<br>(Continued) | Item A Details 6 |
|                               |                       | Item A Details 7 |
|                               | Item B                | Item B Details 1 |
|                               |                       | Item B Details 2 |
|                               |                       | Item B Details 3 |
|                               |                       | Item B Details 4 |
|                               |                       | Item B Details 5 |
|                               |                       | Item B Details 6 |
|                               |                       | Item B Details 7 |
|                               |                       | Item B Details 8 |

Antenna House, Inc.



## 表の回転

fo:block-container の reference-orientation で fo:block-container の内容を回転します。 fo:block-container の中に表を入れると表全体を回転できます。以下は 90°、270°回転させた例です。

### 表を 90°回転

<fo:block-container reference-orientation="90">

| 項目 1           | 項目 2  | 金額         | 備考      |
|----------------|-------|------------|---------|
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 百万円<br>680 | いろはにほへと |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 980        | いろはにほへと |
| あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 1280       | いろはにほへと |

### 表を 270°回転

<fo:block-container reference-orientation="270">

| 項目 1                    | 項目 2  | 金額         | 備考      |
|-------------------------|-------|------------|---------|
| あいうえお<br>あいうえお<br>あいうえお | あいうえお | 百万円<br>680 | いろはにほへと |
| あいうえお<br>あいうえお          | あいうえお | 980        | いろはにほへと |
| あいうえお                   | あいうえお | 1280       | いろはにほへと |

## 表の本文セルと表の見出しセルの関連付け

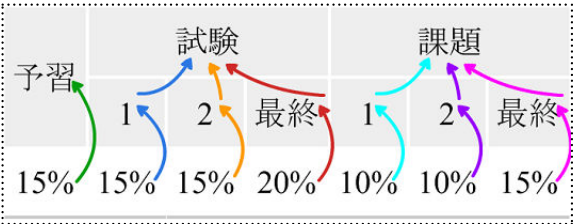
AH Formatter は、表に関する情報を明示するのに使用可能なふたつの拡張プロパティ、`axf:headers` と `axf:scope` を用意しています。`axf:headers` は、表の本文セルがどの見出しに対応する内容であることを指定します。逆に、`axf:scope` は、表の見出しセルがどの方向のセルに対して対応する見出しであるかを指定します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:headers](#)」、「[axf:scope](#)」をご参照ください。

### 表のセルを見出しセルに関連付け

次の表は、`axf:headers` を使用して、表のセルを見出しセルに関連付けています。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は `axf:headers` の情報を使用できます。

| 予習  | 試験  |     |     | 課題  |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|     | 1   | 2   | 最終  | 1   | 2   | 最終  |
| 15% | 15% | 15% | 20% | 10% | 10% | 15% |

次の図では、矢印を使用して、表中における `axf:headers` の関連付けを示しています。



- ・ 緑色の矢印は、最初の列の「15%」の見出しが「予習」であることを示しています。
- ・ 青い矢印は、第2列の「15%」の見出しが「1」であり、「1」の見出しが「試験」であることを示しています。

`axf:headers` には、現在の表セルに関連付けられているひとつ以上見出しセルの ID が含まれます。見出しセルは、関連する見出しセルを参照する `axf:headers` を持つこともできます。表本文セルに関連付けられた見出しセルは、`axf:headers` で参照される見出しセルであり、その見出しセルの持つ `axf:headers` で更にその見出しセルが参照されます。

次の図で、ここに述べた例のマークアップの一部の例を示します。

```
<fo:table text-align="center">
<fo:table-header background-color="#EEE">
<fo:table-row border-bottom="thin solid white">
<fo:table-cell number-rows-spanned="2" id="y">
<fo:block>予習</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell number-columns-spanned="3" id="s">
<fo:block>試験</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell number-columns-spanned="3" id="k">
<fo:block>課題</fo:block>
</fo:table-cell>
</fo:table-row>
<fo:table-row>
<fo:table-cell id="s1" axf:headers="s">
<fo:block>1</fo:block>
</fo:table-cell>
...
</fo:table-row>
</fo:table-header>
<fo:table-body>
<fo:table-row border-bottom="thin solid #CCC">
<fo:table-cell axf:headers="y">
<fo:block>15%</fo:block>
</fo:table-cell>
<fo:table-cell axf:headers="s1">
<fo:block>15%</fo:block>
</fo:table-cell>
...
</fo:table-row>
</fo:table-body>
</fo:table>
```

- ・ 緑色の矢印は、第1列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="y" が、「予習」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。
- ・ 青い矢印は、第2列の「15%」を表す fo:table-cell にある axf:headers="s1" が「1」を表す fo:table-cell の ID を参照し、fo:table-cell にある "headers="s" は、「試験」を表す fo:table-cell の ID を参照することを示しています。

## 見出しセルを表のセルに関連付け

次の表では axf:scope を使用して、表の見出しセルをそれを適用する表のセルに関連付けます。組版した表に変化はありませんが、PDF/UA を生成するとスクリーンリーダー（画面読み上げソフトウェア）は axf:scope の情報を使用できます。XSL-FO で定義されている表の見出しセルは、fo:table-header 内の fo:table-cell だけです。この表ではタグ付き PDF および PDF/UA 出力で表の見出しセルとして扱われるように、表の本体セルの一部で axf:pdftag="TH" を指定しています。

| 名前 |    | 佐藤        | 鈴木        | 高橋        |
|----|----|-----------|-----------|-----------|
| 点数 | 所期 | 10,000    | 9,000     | 10,000    |
|    | 実績 | 11,123.45 | 11,012.34 | 10,987.64 |

次の図では、色の濃淡を使って表の見出しセルの範囲を示しています。

| 名前 |    | 佐藤        | 鈴木        | 高橋        |
|----|----|-----------|-----------|-----------|
| 点数 | 所期 | 10,000    | 9,000     | 10,000    |
|    | 実績 | 11,123.45 | 11,012.34 | 10,987.64 |

- ・ 「名前」は、同じ行の他のセルの見出しです。これは緑色の背景で示しています。

- ・「所期」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはオレンジの背景で示しています。
- ・「実績」は、同じ行の右側にある他のセルの見出しです。これはピンクの背景で示しています。
- ・「点数」は「所期」および「実績」の見出しであり、同様にその見出しに関連するセルの見出しでもあります。これは青い背景で示しています。

axf:scope は、現在の見出しセルが同じ行、同じ列、または同じ列と行の両方の他の表セルに適用されるかどうかを示します。次の図では、色の濃淡を使って axf:scope が表見出しセルの適用範囲を示す方法を示しています。

```
<fo:table>
  <fo:table-header>
    <fo:table-row>
      <fo:table-cell axf:scope="row" number-columns-spanned="2"><fo:block>名前</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>佐藤</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>鈴木</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>高橋</fo:block></fo:table-cell>
    </fo:table-row>
  </fo:table-header>
  <fo:table-body>
    <fo:table-row>
      <fo:table-cell axf:pdftag="TH" number-rows-spanned="2" axf:scope="rowgroup"><fo:block>点数</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell axf:pdftag="TH" axf:scope="row"><fo:block>所期</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>10,000</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>9,000</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>10,000</fo:block></fo:table-cell>
    </fo:table-row>
    <fo:table-row>
      <fo:table-cell axf:pdftag="TH" axf:scope="row"><fo:block>実績</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>11,123.45</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>11,012.34</fo:block></fo:table-cell>
      <fo:table-cell><fo:block>10,987.64</fo:block></fo:table-cell>
    </fo:table-row>
  </fo:table-body>
</fo:table>
```

- ・ 緑、オレンジ、ピンクの背景部分は、axf:scope を使用して見出しを同じ行の次の列のセルに関連付ける方法を示しています。
- ・ 青い背景部分は、axf:scope="rowgroup" を使用して「点数」に続く列にある、スパンしたすべての行のセルに関連付ける方法を示しています。

可能であれば、axf:scope を必要とせずに構造が明らかになるように表を再配置することをお勧めします。次の表は、前の表と同じ情報を持っていますが、表の列に関連付けされる見出しセルはその列の先頭にあります。

| 名前 | 点数     |           |
|----|--------|-----------|
|    | 所期     | 実績        |
| 佐藤 | 10,000 | 11,123.45 |
| 鈴木 | 9,000  | 11,012.34 |
| 高橋 | 10,000 | 10,987.64 |

## ボーダーの優先度

`border-collapse="collapse"` のテーブルではセル・行・列・テーブル要素などで指定された `border` プロパティが競合することがあります。こうした場合にどのボーダースタイルを優先するか [17.6.2.1 Border conflict resolution](#) で定義されています。

### `border-collapse="collapse"`

`border-style="hidden"` のボーダーは、他のすべてのボーダーよりも優先されます。

|                                 |                                  |                                 |                                  |                                 |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt hidden"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code>  | <code>border="5pt solid"</code> |
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code>  | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt hidden"</code> | <code>border="5pt solid"</code> |

`border-style="none"` のボーダーはもっとも優先順位が低くなります。この境界線で一致するすべての要素の `border` プロパティが `none` の場合のみボーダーは省略されます。

|                                 |                                |                                 |                                 |                                 |
|---------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt none"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt none"</code>  |
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt none"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt none"</code>  | <code>border="5pt solid"</code> |

競合するスタイルのいずれも `hidden` でなく、少なくともひとつが `none` でない場合、幅の狭いボーダーは幅の広いボーダーを優先して破棄されます。

|                                 |                                  |                                 |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="10pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="15pt solid"</code> |
| <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code>  | <code>border="1pt solid"</code> | <code>border="5pt solid"</code> | <code>border="1pt solid"</code>  |

複数の `border-width` が同じ場合は、`double`、`solid`、`dashed`、`dotted`、`ridge`、`outset`、`groove`、`inset` の順でスタイルが優先されます。(1)

|                       |                       |                       |                       |                       |                       |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| <code>"double"</code> | <code>"solid"</code>  | <code>"dashed"</code> | <code>"dotted"</code> | <code>"ridge"</code>  | <code>"outset"</code> | <code>"groove"</code> | <code>"inset"</code>  |
| <code>"inset"</code>  | <code>"groove"</code> | <code>"outset"</code> | <code>"ridge"</code>  | <code>"dotted"</code> | <code>"dashed"</code> | <code>"solid"</code>  | <code>"double"</code> |

競合するボーダーの幅やスタイルが同じで色だけが異なる場合、セルのスタイルセットがもっとも強く、行、列、列グループ、最後にテーブルの順となります。隣り合わせのセルのように同じ要素が競合する場合 (`writing-mode` が `ltr` であれば)、より左や上にあるセルが優先されます。

下記のテーブルでは `fo:table` に `border="5pt solid yellow"`、`column-number="1"` の `fo:table-column` に `border="3pt solid black"` を指定、各 `fo:table-cell` に異なるボーダースタイルを指定しています。

|                              |                                |                                |
|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| <code>"1pt solid red"</code> | <code>"1pt solid red"</code>   | <code>"1pt solid red"</code>   |
| <code>"1pt solid red"</code> | <code>"5pt dashed blue"</code> | <code>"5pt solid green"</code> |
| <code>"1pt solid red"</code> | <code>"1pt solid red"</code>   | <code>"1pt solid red"</code>   |
| <code>"1pt solid red"</code> | <code>"1pt solid red"</code>   | <code>"1pt solid red"</code>   |

(1) AH Formatter ではこの他に `dot-dash`、`dot-dot-dash`、`wave` が指定できるよう拡張されています。優先度についてはオンラインマニュアル「[値の拡張](#)」をご参照ください。

テーブルに `border-collapse="collapse-with-precedence"` が指定された場合は、競合するボーダースタイルを解決するために `border-*-precedence` プロパティを使用します。`border-before-precedence`/`border-after-precedence`/`border-start-precedence`/`border-end-precedence` の4つのプロパティには、`force`、`<integer>`、`inherit` のいずれかが指定できます。`force` がもっとも強く、初期値はテーブルの要素別に、`fo:table`: 6, `fo:table-cell`: 5, `fo:table-column`: 4, `fo:table-row`: 3, `fo:table-body`: 2, `fo:table-header`: 1, `fo:table-footer`: 0 となります。

**border-collapse="collapse-with-precedence"**

`border-collapse="collapse"`

|                 |                   |                   |
|-----------------|-------------------|-------------------|
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |
| "1pt solid red" | "5pt dashed blue" | "5pt solid green" |
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |

`border-collapse="collapse-with-precedence"`

|                 |                   |                   |
|-----------------|-------------------|-------------------|
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |
| "1pt solid red" | "5pt dashed blue" | "5pt solid green" |
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |

`<fo:table-column column-number="1" border="3pt solid black" border-before-precedence="10" border-after-precedence="10" border-start-precedence="10" border-end-precedence="10"/>`

|                 |                   |                   |
|-----------------|-------------------|-------------------|
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |
| "1pt solid red" | "5pt dashed blue" | "5pt solid green" |
| "1pt solid red" | "1pt solid red"   | "1pt solid red"   |

## セルの高さを揃える

オプション設定ファイルの [justify-rowspan-height](#) を true に設定することによって rowspan されたセルがあり、そのセルの高さが高いとき、そのセルが占める各行の高さをなるべく均等にすることができます。この機能は AH Formatter V6.6 から利用いただけます。

この機能はオプション設定ファイルで指定します。そのため文書内の全ての表に影響することがあります。rowspan されたテーブルのセルの内容によってそのセルの高さが高くなる場合があります。例えば下記のような表です。

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Table Header1 | Table Header2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1-1           | AH Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C. |
| 2-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Table Footer1 | Table Footer2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

セルや行の高さが固定でない場合、左側のセル 1-1～3-1 の合計の高さは右側の rowspan されたセルの高さになります。AH Formatter V6.5 以前または `justify-rowspan-height="false"` では 3-1 のセルだけ高くなります。AH Formatter V6.6 以降ではオプション設定ファイルで `justify-rowspan-height="true"` と指定すると高さを揃えることができます。

**`justify-rowspan-height="false"`**

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Table Header1 | Table Header2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1-1           | AH Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C. |
| 2-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Table Footer1 | Table Footer2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

**`justify-rowspan-height="true"`**

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Table Header1 | Table Header2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 1-1           | AH Formatter V6.6 is software to format XML/HTML documents and output them to paged media such as PDF, XPS and paper. It supports page layouts specified using both XSL-FO (Extensible Stylesheet Language - Formatting Objects) and CSS (Cascading Style Sheets) including CSS3 (Cascading Style Sheets Level 3), which is under development by W3C. |
| 2-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3-1           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| Table Footer1 | Table Footer2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

Antenna House, Inc.

# 表の機能を組み合わせた例

表に関するさまざまな機能を組み合わせて作成した貸借対照表の例です。

## 貸借対照表の要旨 (---年 3 月 31 日現在)

(単位：億円)

| 科 目           | 金 額          | 科 目             | 金 額          |
|---------------|--------------|-----------------|--------------|
| (資産の部)        | 7,775        | (負債の部)          | 2,277        |
| <b>流動資産</b>   | <b>3,000</b> | <b>流動負債</b>     | <b>1,435</b> |
| 現金及び預金        | 585          | 支払手形            | 757          |
| 受取手形及び売掛金     | 906          | 未払費用            | 315          |
| 有価証券          | 850          | その他の流動負債        | 362          |
| たな卸資産         | 225          | <b>固定負債</b>     | <b>841</b>   |
| その他の流動資産      | 434          | 社債              | 514          |
| <b>固定資産</b>   | <b>4,775</b> | 退職給付引当金         | 325          |
| <b>有形固定資産</b> | <b>1,349</b> | その他の固定負債        | 2            |
| 建物            | 373          |                 |              |
| 機械及び装置        | 377          |                 |              |
| 土地            | 409          |                 |              |
| その他の有形固定資産    | 188          |                 |              |
| <b>投資等</b>    | <b>3,425</b> |                 |              |
| 投資有価証券        | 1,854        |                 |              |
| 子会社株式・出資金     | 994          |                 |              |
| その他           | 576          |                 |              |
| <b>資産合計</b>   | <b>7,775</b> | <b>負債及び資本合計</b> | <b>7,775</b> |

## 損益計算書の要旨 (自 ---年 4 月 1 日 至 ---年 3 月 31 日)

(単位：億円)

| 科 目            | 金 額          |
|----------------|--------------|
| <b>営業収益</b>    | <b>7,408</b> |
| 営業費用           | 6,916        |
| <b>営業利益</b>    | <b>491</b>   |
| 営業外収益          | 152          |
| 営業外費用          | 102          |
| <b>経常利益</b>    | <b>541</b>   |
| <b>税引前当期利益</b> | <b>541</b>   |
| 法人税、住民税及び事業税   | 209          |
| 法人税等調整額        | 3            |
| <b>当期利益</b>    | <b>329</b>   |
| その他            | 371          |
| <b>当期末処分利益</b> | <b>700</b>   |

Antenna House, Inc.



## サイドフロート

`float="start"`、`float="end"` でサイドフロートを指定した例です。前半のふたつの例は本文がフロートを回りこみます。後半のふたつの例は、本文の左右インデント内に `fo:float` を配置しているために、テキストがフロートを回りこみません。

### サイドフロート <fo:float float="start">

フロート領域

この段落の先頭に `fo:float` としてフロートを挿入しています。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

### サイドフロート <fo:float float="end">

この段落の後尾に `fo:float` としてフロートを挿入しています。

フロート領域

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

### 左インデント内に配置したサイドフロート <fo:float float="start">

次行のブロックの左インデント内へ `fo:float` としてフロートを挿入しています。

フロート領域

この段落の先頭にフロートを挿入しています。

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

### 右インデント内に配置したサイドフロート <fo:float float="end">

次行のブロックの右インデント内へ `fo:float` としてフロートを挿入しています。

この段落の後尾にフロートを挿入しています。

フロート領域

sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.  
sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample. sample.

<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="top"> (ページの上側に配置例)

# ページフロート

フロートをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などができます。  
[axf:float-reference](#) でフロートを配置する参照エリアを、auto、normal (現在の参照エリア)、page (ページエリア (region-body))、multicol (段組エリア)、column (段エリア) により指定します。axf:float-x で水平方向のフロート配置、axf:float-y で垂直方向のフロート配置を指定します。このサンプルは、axf:float-reference="page" 指定によるページフロートの設定例です。

<fo:float axf:float-reference="page"  
axf:float-x="right"  
axf:float-y="top">  
(ページの右上に配置例)

フロート関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ axf:float でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定 (ページ上側に配置)

<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="top">

ショートハンドプロパティ設定 (ページ上側に配置)

<fo:float axf:float="page top">

<fo:float axf:float-reference="page"  
axf:float-x="inside"  
axf:float-y="center">  
(ページのノド側、中央に配置例)

<fo:float axf:float-reference="page"  
axf:float-x="outside"  
axf:float-y="center">  
(ページの小口側、中央に配置例)

<fo:float axf:float-reference="page"  
axf:float-x="left"  
axf:float-y="bottom">  
(ページの左下に配置例)

<fo:float axf:float-reference="page" axf:float-x="none" axf:float-y="bottom"> (ページの下側に配置例)

## 段抜きフロート

フロートをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などができます。[axf:float-reference](#) でフロートを配置する参照エリアを、`auto`、`normal`（現在の参照エリア）、`page`（ページエリア（`region-body`））、`multicol`（段組エリア）、`column`（段エリア）により指定します。`axf:float-x` で水平方向のフロート配置、`axf:float-y` で垂直方向のフロート配置を指定します。このサンプルは、`axf:float-reference="multicol"` 指定による段抜きフロートの設定例です。

### <fo:float axf:float-reference="multicol"> によるフロート配置例

段抜きは単位 '`gr`'(`grid`) で指定します。単位 `gr` は特別な長さの単位であり、段組の段幅(`column-width`)と段間(`column-gap`)の両方をそれぞれ'`1gr`'として数えます。2 段抜きであれば、段幅×2 と段間×1 で'`3gr`'となります。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div data-bbox="288 777 810 898"> <p>左上に 2 段抜きでフロートを配置 &lt;fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="left" axf:float-y="top"&gt;</p> </div> <div data-bbox="288 898 810 1344"> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum</p> </div> | <div data-bbox="810 777 1332 1232"> <p>Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus.</p> <p>Vivamus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius</p> </div> <div data-bbox="810 1232 1332 1344"> <p>consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.</p> <p>Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.</p> </div> <div data-bbox="555 1232 1332 1344"> <p>右下に 3 段抜きでフロートを配置 &lt;fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="right" axf:float-y="bottom"&gt;</p> </div> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

フロート関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ `axf:float` でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定（段組の左上に配置）

```
<fo:float axf:float-reference="multicol" axf:float-x="left" axf:float-y="top">
```

ショートハンドプロパティ設定（段組の左上に配置）

```
<fo:float axf:float="multicol left top">
```

# カラムフロート

フロートをページ上の任意の場所においたり、段組の段を跨ぐ配置などができます。[axf:float-reference](#) でフロートを配置する参照エリアを、`auto`、`normal`（現在の参照エリア）、`page`（ページエリア（`region-body`））、`multicol`（段組エリア）、`column`（段エリア）により指定します。`axf:float-x` で水平方向のフロート配置、`axf:float-y` で垂直方向のフロート配置を指定します。このサンプルは、`axf:float-reference="column"` 指定によるカラムフロートの設定例です。

<fo:float axf:float-reference="column"> によるフロート配置例

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>段の上に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="top"&gt;</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.</p> <p>Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringil-</p> | <p>la. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus.</p> <p>Vivamus nec turpis elementum, iaculis lorem in, pellentesque metus. Ut blandit tortor mi, ac bibendum felis varius vitae. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing.</p> | <p>段の右上に配置<br/>&lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="right" axf:float-y="top"&gt;</p>                         |
| <p>段の下に配置 &lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="bottom"&gt;</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <p>段の左下に配置<br/>&lt;fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="left" axf:float-y="bottom"&gt;</p>                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit.</p> |

フロート関連拡張プロパティをまとめて指定するショートハンドプロパティ `axf:float` でも設定できます。次は同じ設定を個別の拡張プロパティとショートハンドプロパティで示した例です。

個別の拡張プロパティ設定（段の上に配置）

<fo:float axf:float-reference="column" axf:float-x="none" axf:float-y="top">

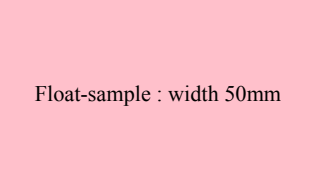
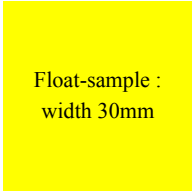
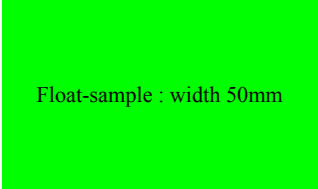
ショートハンドプロパティ設定（段の上に配置）

<fo:float axf:float="column top">

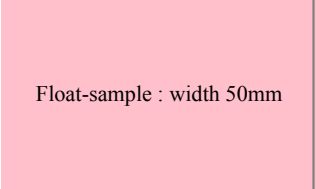
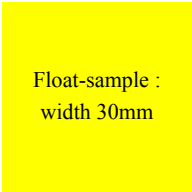
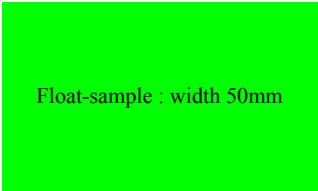
## 段組内フロートの自動配置

`axf:float-x="alternate"` で段組内に配置するフロートの水平（縦書きでは垂直）方向を自動調整できます。`axf:float-x="alternate"` 指定があると最初の段のときは end 側、最後の段のときは start 側、それ以外では center へ配置します。段組でないときは center へ配置します。`axf:float-x="alternate"` の指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

### <axf:float-x="alternate"> 指定

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco. Duis aute irure dolor in</p>  <p>Float-sample : width 50mm</p> <p>reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint</p> | <p>occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia</p>  <p>Float-sample : width 30mm</p> <p>deserunt mollit anim id est laborum.</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation. Duis</p> | <p>aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupida-</p>  <p>Float-sample : width 50mm</p> <p>tat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi reprehenderit.</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### <axf:float-x="none"> 指定（既定値）

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco.</p>  <p>Float-sample : width 50mm</p> <p>Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla</p> | <p>pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident,</p>  <p>Float-sample : width 30mm</p> <p>sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.</p> <p>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ul-</p> | <p>lamco laboris nisi. Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.</p>  <p>Float-sample : width 50mm</p> <p>Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris.</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 行の高さ

行の高さを `line-height` で指定します。`line-height` を文字の大きさよりも小さくすると、行と行が重なりま

`line-height="8pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="10pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="15pt" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="1.0em" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`line-height="2.0em" font-size="10pt"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさを、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

## 行送り

`line-stacking-strategy` プロパティは行送り（行ボックスの重ね方）を指定します。

`line-height` プロパティと `font-size` プロパティの値からハーフレディング（half-leading）が決まります。ハーフレディングとは、文字の上下につく余白です。次のサンプルで、青色の背景部分がフォントサイズで指定された大きさのインライン領域、その上下の赤い部分がハーフレディングです。

ABC line height

`line-stacking-strategy="max-height"`（規定値）は行間を固定にします。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="max-height"` の場合、そのブロックに指定された `font-size` からハーフレディングが決定されます。ハーフレディング×2と行内の最大 `font-size` の合計がその行の高さになります。ブロック内に異なる `font-size` の文字が混在する場合、行ごとに行の高さは異なりますが、ハーフレディングの値は一定です。

`line-stacking-strategy="font-height"` は、行送り（改行ピッチ）が固定です。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="font-height"` の場合、行のベースラインの間隔がそのブロックに指定されたフォントサイズの2倍に固定されます。行内の文字の大きさが異なってもブロック内すべての行が同じ行の高さになるので文字が重なる場合もあります。

`line-stacking-strategy="line-height"` は、行ごとのインラインの高さによって行の配置が決定されます。

行の高さは `line-height` プロパティで決まります。 `line-height="2"`（フォントサイズの2倍）で、かつ `line-stacking-strategy="line-height"` の場合、ハーフレディングを含めた行の高さがそのブロックに指定された `font-size` の2倍になります。行内に異なる `font-size` の文字が混在する場合、ハーフレディングの高さも異なり、それぞれの行の高さが計算され、行ごとに行の高さが異なる場合があります。

# リーダの位置揃え

leader-alignment により複数の fo:leader で引かれるリーダのパターンを揃えることができます。このとき fo:leader で引かれる記号を指定する leader-pattern の値としては dots か use-content を用いる必要があります。none は特に何も揃えません。reference-area は、現在の参照領域の start 側に揃えます。AH Formatter の拡張機能として start、center、end が追加されています。start、center、end の場合はそれぞれインライン領域の start 側、中央、end 側に寄せます。leader-pattern の値が use-content の場合、その内容は同一でなければ揃いません。

以下の例では、青色と黄色のボックスは、fo:block-container によって生成された領域です。灰色のボックスは fo:block です。fo:block は独自の参照領域を生成しないため、親の fo:block-container で生成されたものです。

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| leader-alignment="none"           |    |
| fo:block-container Label A.       | 1  |
| fo:block Label BB.                | 2  |
| fo:block Label CCC.               | 22 |
| fo:block-container Label EEEEE.   | 30 |
| fo:block Label FFFFFF.            | 40 |
| leader-alignment="reference-area" |    |
| fo:block-container Label A        | 1  |
| fo:block Label BB.                | 2  |
| fo:block Label CCC                | 22 |
| fo:block-container Label EEEEE    | 30 |
| fo:block Label FFFFFF.            | 40 |
| leader-alignment="start"          |    |
| fo:block-container Label A.       | 1  |
| fo:block Label BB.                | 2  |
| fo:block Label CCC.               | 22 |
| fo:block-container Label EEEEE.   | 30 |
| fo:block Label FFFFFF.            | 40 |
| leader-alignment="center"         |    |
| fo:block-container Label A .      | 1  |
| fo:block Label BB .               | 2  |
| fo:block Label CCC.               | 22 |
| fo:block-container Label EEEEE    | 30 |
| fo:block Label FFFFFF .           | 40 |
| leader-alignment="end"            |    |
| fo:block-container Label A .      | 1  |
| fo:block Label BB                 | 2  |
| fo:block Label CCC .              | 22 |
| fo:block-container Label EEEEE    | 30 |
| fo:block Label FFFFFF .           | 40 |



## ブロック内の文字配置

ここではさまざまな文字の配置例を紹介します。

### `text-align="left"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### `text-align="left" text-indent="1em"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### `text-align="left" text-indent="20mm"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### `text-align="left" text-indent="-1em"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### `text-align="center"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

### `text-align="right"`

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="inside"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="justify"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="justify" text-indent="1em"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="left" text-align-last="center"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="outside"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="justify" text-align-last="right"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="left" text-align-last="right"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

**text-align="right" text-align-last="center"**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipisicing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur.

## 文字の間隔

`letter-spacing` で文字と文字の間隔を調整、変更できます。

`letter-spacing="0mm"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`letter-spacing="1.0mm"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`letter-spacing="2.0mm"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`letter-spacing="-1.0mm"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

`letter-spacing="1.0em"`

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

## 欧文約物前後、約物と数字間の空白量の調整

欧文組版における約物前後の空白量を調整できます。空白量は [axf:space-end-punctuation](#) (約物の後の空白量)、[axf:space-start-punctuation](#) (約物の前の空白量)、[axf:space-between-digit-and-punctuation](#) (数字と約物の間の空白量)、[axf:space-between-punctuation-and-digit](#) (約物と数字の間の空白量) で指定し、<fo:declarations> の直下に置きます。各指定へは、言語、空白量、コードポイントをプロパティとして指定します。これらの指定は、オプション設定ファイルで指定しておけます。

### フランス語の定義例

<fo:declarations> への指定値の例と適用例を示します。

```
<fo:declarations>
  <axf:space-start-punctuation code="?" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code="!" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code=";" space="1 div 3" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code=":" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-start-punctuation code="»" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-end-punctuation code="«" space="1 div 4" language="fr"/>
  <axf:space-between-punctuation-and-digit code="+" space="thin" language="fr"/>
  <axf:space-between-punctuation-and-digit code="-" space="thin" language="fr"/>
  <axf:space-between-digit-and-punctuation code="%" space="thin" language="fr"/>
</fo:declarations>
```

xml:lang="fr" を指定した組版例

Échantillon ? Échantillon ! « Échantillon » Échantillon.

Échantillon ; 123– 345+ 678 Échantillon 100 %.

xml:lang="en" を指定した組版例

Échantillon? Échantillon! «Échantillon» Échantillon.

Échantillon; 123–345+678 Échantillon 100%.

## 欧文ペアカーニング

[axf: Kerning-mode](#) の指定により、欧文フォントが持つペアカーニング値を用いて文字間を詰めるかどうかを設定します。pair 指定でペアカーニングを処理します。letter-spacing が 0 でない場合は none を指定したのと同じになります。

ラテン文字：

To WALT

To WALT

ギリシャ文字：

ΓΑΜΜΑ

ΓΑΜΜΑ

キリル文字：

ТАЙНА

ТАЙНА

0 でない文字間を指定した場合：

To WALT

To WALT

## 欧文の合字

[axf:ligature-mode](#) 指定により、フォントで特定の文字の組合せを合字にするかどうかを設定します。  
`axf:ligature-mode` を `latin` にすれば欧文（ギリシャ文字、キリル文字を含む）でフォントの持つ欧文グリフが使われます。

none:

fi ffi fl ffl ft Th

latin:

fi ffi fl ffl ft Th

## 和欧文間のアキ

和欧文間（和文と欧文の間）に自動的にアキを挿入する設定です。[axf:text-autospace](#) に `none` を設定するとアキは入りません。`ideograph-numeric` に設定すると漢字、仮名と欧文の間にアキが入ります。同様に、`ideograph-alpha` で漢字、仮名とアルファベットの間に、`ideograph-parenthesis` で漢字、仮名と欧文括弧類の間（ただし、括弧類の外側のみ）にアキが入ります。和欧文間のアキ量は、`axf:text-autospace-width` の値によって設定できます。

`none`

漢0漢X漢(漢)漢[漢]漢{漢}漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-parenthesis`

漢0漢X漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.125em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.25em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

`ideograph-numeric + ideograph-alpha + ideograph-parenthesis, axf:text-autospace-width="0.5em"`

漢 0 漢 X 漢 (漢) 漢 [漢] 漢 {漢} 漢

## 行末での追い込み

[axf:text-justify-trim](#) 指定により、追い込みの処理を行うかどうかを指定します。axf:text-justify-trim に `none` を設定すると追い込みの処理をしません。punctuation の設定では日本語で、全角の括弧類、中点類、句読点類を詰めの対象として追い込み処理します。その他に `kana` ではひらがなとカタカナ、`ideograph` は漢字とかなの間、`inter-word` は欧文単語間の追い込み処理をします。

`none`

(あいうえお。かき・  
くけこ)

`punctuation`

(あいうえお。かき・く  
けこ)

`punctuation-except-fullstop`

`punctuation` と同じですが、U+3002 (。)、U+FF0E (．) の 2 文字を除外します。

(あいうえお。かき・く  
けこ)

`punctuation-except-middledot`

`punctuation` と同じですが、U+30FB (・)、U+FF1A (:)、U+FF1B (;) の中点類を除外します。

(あいうえお。かき・く  
けこ)

`none`

さんぷるとサンプル、ひら  
がなとカタカナ

`kana`

さんぷるとサンプル、ひらが  
なとカタカナ

`none`

追い込みの処理を行うかど  
うかを指定します。

`ideograph`

追い込みの処理を行うかど  
うかを指定します。



none

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur  
adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt  
pharetra.

inter-word

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing  
elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.

## 行頭での突き出し、行末でのぶら下げ

`axf.hanging-punctuation` の指定により行頭での突き出し、行末でのぶら下げを行うかどうかを指定します。  
`axf.hanging-punctuation` に `none` を設定すると行頭での突き出し、行末でのぶら下げを処理しません。`start` の設定では行頭での突き出しを処理します。`force-end` の設定では `text-align="right"` または `text-align="justify"` の指定があり、全角約物の位置が行末の場合に強制的にぶら下げで処理します。その他の設定はサンプル内にて説明します。突き出し、ぶら下げの対象となる約物はオンラインマニュアルの「[axf.hanging-punctuation](#)」をご参照ください。

`none`

「あいうえ  
お、

`start`

「あいうえお、

`force-end`

「あいうえお、

`first`

段落の先頭行でのみ、`start` と同じ処理をします。

「あいうえお」  
「かきく

`allow-end`

ぶら下げ対象文字が行末に位置した場合、行に収まればぶら下げず、収まらなければぶら下げられます。

あいうえお、  
「かきくけこ、

`last`

段落末でのみ、`force-end` と同じぶら下げを処理します。

あいうえお  
かきくけ  
こ、さしす  
せそたちつ、

## 行頭禁則和字の扱い

[axf.line-break](#) 指定により、Nonstarter 文字のうち、JIS X 4051:2004 における〈行頭禁則和字〉を行頭禁則にするかどうか設定します。`axf.line-break` に `normal` を指定すると行頭禁則対象にしません（弱い禁則の一種）。`strict` にすると行頭禁則対象になります（強い禁則）。終わり括弧類・句点類・中点類などは行頭禁則和字でないので `normal`、`strict` 指定いずれの場合も行頭禁則対象です。

### normal

あいうえお  
つかき

あいうえお  
々かき

あいうえお  
一かき

あいうえ  
お：かき

あいうえ  
お～かき

あいうえ  
お」かき

### strict

あいうえ  
おつかき

あいうえ  
お々かき

あいうえ  
お一かき

あいうえ  
お：かき

あいうえ  
お～かき

あいうえ  
お」かき

## 全角約物の詰め処理

[axf:punctuation-trim](#) の指定により、日本語の全角約物（開きや閉じ括弧、"。"などの句読点）の詰め処理をするかどうかを指定します。axf:punctuation-trim に none を設定すると全角約物の詰めを処理しません。start の設定では行頭での全角約物を半角に扱い、end の設定では text-align="right" または text-align="justify" の指定があり、全角約物の位置が行末の場合に強制的に半角で扱います。axf:punctuation-trim で処理される文字列を指定して半角で扱わせることなどもできます。その他の設定はサンプル内にて説明します。

none

（あいうえ  
お）

start

（あいうえお）

end

（あいうえお）

start-except-first

start と同じですが、先頭の行や強制改行直後の行を除きます。

（あいうえ  
（お））

allow-end

全角約物が行末に位置した場合、行に収まるときは全角のままとし、収まらないときは半角に扱います。

（あいうえお  
か）きくけこ）

end-except-fullstop

end と同じですが U+3002（。）と U+FF0E（.）の2文字を除外します。

（あいうえお）  
（かきくけ  
こ。

adjacent

全角開き括弧と全角開き括弧の間など、全角約物と全角文字の間の詰めを処理します。処理される組み合わせはオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

axf:punctuation-trim="none"

（（あいう）；かき）、けこ

axf:punctuation-trim="adjacent"

((あいう)；かき)、けこ

all、<string>

all は、全角の括弧類、中点類、句読点類をすべて詰めて半角扱いにします。<string> は、指定した文字列に含まれる文字のみが半角扱いされます。指定可能な文字列は adjacent と同様にオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

axf:punctuation-trim="none"

【あ（あ“あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

axf:punctuation-trim="all"

【あ（あ“あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

axf:punctuation-trim="〉、,、”、) ,】"

【あ（あ“あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

## 全角約物と全角文字の詰め間隔

[axf:punctuation-spacing](#) の指定により、日本語の全角約物と全角文字の間の詰めの間隔を指定できます。指定した間隔は、`axf:punctuation-trim="adjacent"` の全角閉じ括弧と全角開き括弧の間、全角閉じ括弧と全角非約物の間、全角非約物と全角開き括弧の間のアキ量に使用されます。値は絶対値と適用されるフォントサイズの相対であるパーセンテージで指定します。また、詰めの間隔の初期値は、オプション設定ファイルの `punctuation-spacing` で設定しておけます。`punctuation-spacing` の初期値は 50% です。

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing` 指定なし

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="1em"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="2em"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="0%"`

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="50%"`

(あい「うえお」「かきく」けこ)

`axf:punctuation-trim="adjacent" axf:punctuation-spacing="200%"`

(あい 「うえお」 「かきく」 けこ)

## ハイフン付き単語のハイフネーション処理

[axf:hyphenate-hyphenated-word](#) により別々の単語をつないでひとつの単語にするため、すでにハイフン付けされている語（サンプル内では"hyphenated-word"）をハイフネーションするかどうか指定できます。

axf:hyphenate-hyphenated-word="true"（既定値）を指定すると、単語中のハイフン以外が行末に位置するとき、通常のハイフネーションが行われます。

a padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated-**  
**word**  
padding padding padding padding padding padding padding padding **hy-**  
**phenated-word**

axf:hyphenate-hyphenated-word="false" を指定すると、すでにハイフン付けされている単語はハイフネーションしません。単語中のハイフン以外の場所で改行するのを防ぎます。

a padding padding padding padding padding padding padding **hyphenated-**  
**word**  
padding padding padding padding padding padding padding padding  
**hyphenated-word**

## ハイフネーションする文字数と範囲

[axf:hyphenation-minimum-character-count](#) でハイフネーション処理をする語の最小文字数（1 以上の整数）を指定します。また、[axf:hyphenation-zone](#) でハイフネーション可能な範囲を制限します。[axf:hyphenation-zone](#) は、ある単語末から行末までの幅が、指定された値以下の場合には、次の単語でハイフネーションしません。0 以下の値を指定したときは無効です。

### **axf:hyphenation-minimum-character-count の指定なし**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-minimum-character-count="12"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="none"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="4em"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample

### **axf:hyphenation-zone="5em"**

a sample sample sample sample sample sample sample sample **hyphenation** sample sample sample sample



## ハイフネーション情報の追加

[axf:hyphenation-info](#) を指定して追加のハイフネーション情報を指定できます。もともとハイフネーションできない言語を指定しても、ハイフネーションができるようになるわけではありません。同じ綴りの単語が複数登録されていた場合は、後から登録されている単語の情報が有効となります。

このサンプルでは <fo:declarations> へ次のように指定しています。

```
<fo:declarations>
  <axf:hyphenation-info language="eng"
    xmlns:axh="http://www.antennahouse.com/names/XSL/Hyphenations">
    <axh:exceptions>
      abc-defg
    </axh:exceptions>
  </axf:hyphenation-info>
</fo:declarations>
```

"abcdefg"という単語に対して"abc-defg"というハイフネーション指定を登録しています。language プロパティは必須です。また、外部にある例外辞書を src="en-add.xml" のように指定できます。

sample sample sample sample sample sample sample **abc-**  
**defg** sample sample sample sample

## 略語とみなす最大文字数と行分割制御

[axf:abbreviation-character-count](#) で略語とみなす最大文字数を指定できます。通常、/ の直後は行分割の対象であるため、km/h や w/o などで行分割が起こり得ますが、指定により行分割を防ぐことができます。/ の後の語が [axf:abbreviation-character-count](#) で指定された文字数以下のときは略語とみなして行分割を行いません。[axf:abbreviation-character-count](#) の既定値 auto は、オプション設定ファイルの [abbreviation-character-count](#) によって既定値が 3 に設定されています。

`axf:abbreviation-character-count="auto"`

sample sample sample sample sample sample sample sample  
km/hr sample

`axf:abbreviation-character-count="2"`

sample sample sample sample sample sample sample sample  
km/hr sample

`axf:abbreviation-character-count="1"`

sample sample sample sample sample sample sample sample km/  
hr sample

# 行番号

`axf:line-number` により行番号を付ける指定ができます。また、`axf:line-number-color`、`axf:line-number-font-family` により行番号の色、フォントなどの指定もできます。

1 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
2 Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies  
3 molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut  
4 porttitor felis, vel tincidunt velit.  
5 Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui  
6 malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut  
7 tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consecte-  
8 tur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim  
9 nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt  
10 sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet  
11 interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est  
12 eget lacus.  
13 Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius con-  
14 sectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at digni-  
15 ssim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tinci-  
16 dunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a im-  
17 perdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque  
18 urna est eget lacus. Sed viverra metus quis nibh pulvinar,  
19 at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non  
20 elit tincidunt sagittis ac non tortor.

Antenna House, Inc.

行番号のオプションは豊富です。`axf:line-number-start` で開始する行番号、`axf:line-number-interval` で行番号の間隔、`axf:line-number-reset` で行番号のリセットなど指定できます。このページでは、5 行おきに行番号を出力し、段毎に値をリセット、最終段では右側に行番号を表示させています。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies  
molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut  
porttitor felis, vel tincidunt velit.  
05 Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui  
malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut  
tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consecte-  
tur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim  
nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt  
10 sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet  
interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est  
eget lacus.  
Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius con-  
sectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at digni-  
15 ssim nibh adipiscing.  
Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non  
tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla  
velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Inte-  
ger eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae  
fringilla. Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar ne- 05  
que sit amet, aliquet massa.  
Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim  
nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt  
sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet  
interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est 10  
eget lacus. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh  
varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar,  
at dignissim nibh adipiscing.  
Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius con-  
sectetur. 15

Antenna House, Inc.

# 表の段へ独立した行番号を表示

fo:table-column に [axf:line-number](#) を指定することで、その表の段ごとに独立の行番号を割り当てられます。このとき、fo:page-sequence に指定できるものと同じ指定ができます。この例では左の段は 5 行おき、右の段は 10 行おきに独立した行番号を出力、値をページ単位でリセットせずに表示させています。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla

Antenna House, Inc.

- 10 即ち、PDF ファイルには 1 枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令が 1 ページ毎に記録されている。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo.

Antenna House, Inc.

## 常に表示される行番号を指定

`axf.line-number-show` を指定することで常に表示される行番号を指定します。[axf.line-number-interval](#) などによって出力されない番号でも、ここで指定した番号を常に出力します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf.line-number-show](#)」をご参照ください。`axf.line-number-show` の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

このサンプルで左の段は `axf.line-number-interval="10"` の指定により行番号が 10 行おきに表示されます。右の段では `axf.line-number-interval="10"` に加え `axf.line-number-show="1"` を指定し、行番号 1 を表示させています。

10 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

20 Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

30 Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit.

1 Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt.

20 Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos.

30 Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit.

## 行番号の向き、回転

[axf:line-number-orientation](#) により行番号の向きを回転できます。この設定を利用して縦書き文書の行番号にアラビア数字、ローマ数字を使えます。

axf:line-number-orientation="90"

01 電子ファイルの形式としての  
02 PDF を大雑把にいうと紙のページ  
03 を電子的に表現したものである。  
04 人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で  
05 文字を書いたり、線を引くときは、  
06 頭の中でどの位置に、どんな大きさ  
07 で、どんな文字や絵を描こうかと考  
08 え、考えたとおりに手を動かして、  
09 文字と絵を書く。  
10 これと同じように PDF のファイ  
11 ルの中には、頭の中で考えた状態と  
12 同じような情報がプログラムへの  
13 「命令」として記述されている。  
14 即ち、PDF ファイルには一枚の紙  
15 の左上を原点にして、下方向と右方  
16 向に座標軸をとってできる平面を  
17 定義し、その平面のどこに、どんな  
18 大きさで、なんという文字を書く  
19 か、どんな太さで、どんな種類（直  
20 線、点線、…）の線を引くか、どん  
21 な画像をどこにどんな大きさで配  
22 置するか、といった命令が1ページ  
23 毎に記録されている。  
24 電子ファイルの形式としての  
25 PDF を大雑把にいうと紙のページ  
26 を電子的に表現したものである。

Antenna House, Inc.

## 行継続マーク

[axf:line-continued-mark](#) を使用して行継続マークを設定できます。行継続マークは `fo:block` を単位として付けられます。この場合は "-" (ハイフン) を指定しています。また、`axf:line-continued-mark-color` で継続マークの色、`axf:line-continued-mark-font-family` でフォントを、`axf:line-continued-mark-background-color` で改行マークの背景色を指定できます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu. Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur.

Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus.

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.

Antenna House, Inc.

## タブ

タブ構造を表現するサンプルです。<axf:tab> でタブ位置までスペースを空けます。タブ位置は、axf:tab-stops で指定します。また、他にタブの配置指定 axf:tab-align、タブ文字の扱いの指定 axf:tab-treatment、タブ揃えで文字が重なるときの扱いを指定する axf:tab-overlap-treatment の指定があります。詳しくはオンラインマニュアル「[タブ](#)」をご参照ください。タブの指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

### <axf:tab/> のみ指定した例

|    |          |    |     |      |  |
|----|----------|----|-----|------|--|
| AA | BBBBBBBB | C  |     |      |  |
|    | DDD      | EE | FFF | GGGG |  |

### axf:tab-stops="2em"

|    |          |    |     |      |  |
|----|----------|----|-----|------|--|
| AA | BBBBBBBB | C  |     |      |  |
|    | DDD      | EE | FFF | GGGG |  |

### axf:tab-stops="10em"

|    |          |    |     |      |  |
|----|----------|----|-----|------|--|
| AA | BBBBBBBB | C  |     |      |  |
|    | DDD      | EE | FFF | GGGG |  |

### axf:tab-stops="5em 3em 3em 5em"

|    |          |    |     |      |  |
|----|----------|----|-----|------|--|
| AA | BBBBBBBB | C  |     |      |  |
|    | DDD      | EE | FFF | GGGG |  |

### axf:tab-stops="decimal 5em end 10em start 5em"

|          |          |          |  |  |  |
|----------|----------|----------|--|--|--|
| 1.2345   | 12.345   | 123.45   |  |  |  |
| 123.4567 | 1234.567 | 12345.67 |  |  |  |

### tab-align の使用例 (tab-align="decimal")

|          |          |          |  |  |  |
|----------|----------|----------|--|--|--|
| 1.2345   | 12.345   | 123.45   |  |  |  |
| 123.4567 | 1234.567 | 12345.67 |  |  |  |

### axf:tab-treatment の使用例 (axf:tab-treatment="20")

|     |          |     |      |  |  |
|-----|----------|-----|------|--|--|
| AA  | BBBBBBBB | C   |      |  |  |
| DDD | EE       | FFF | GGGG |  |  |

### axf:tab-overlap-treatment の使用例

|                                        |            |          |    |         |             |
|----------------------------------------|------------|----------|----|---------|-------------|
| axf:tab-overlap-treatment="auto"       | AABBBBBBBB | CDDD     | EE | FFFGGGG |             |
| axf:tab-overlap-treatment="ignore-tab" | AABBBBBBBB | CDDD     | EE | FFFGGGG |             |
| axf:tab-overlap-treatment="next-tab"   | AA         | BBBBBBBB | C  | DDD     | EE FFF GGGG |



## フォントサイズ

フォントサイズを文字単位または段落単位で任意に設定できます。

### 文字単位でフォントサイズを設定する例

あいうえおかきくけこさしすせそ

### 段落単位でフォントサイズを設定する例

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

こんにちは。アンテナハウスです。

## フォントストレッチ

フォントストレッチでフォントを長体にしたり、平体にする例です。AH Formatter ではパーセント、数値が指定できる値として拡張されています。

### 段落指定（上から）

1. ultra-condensed
2. extra-condensed
3. condensed
4. semi-condensed
5. normal
6. semi-expanded
7. expanded
8. extra-expanded
9. ultra-expanded

font-family="serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
6. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
7. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
8. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
9. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
6. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
7. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
8. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
9. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

## 相対指定（上から）

1. normal
2. wider
3. wider\*wider
4. narrower
5. narrower\*narrower

font-family="serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
2. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
3. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
4. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.
5. アンテナハウスです。天下泰平。Peaceful World. Antenna House, Inc.

## パーセント指定（上から）

1. 50%
2. 75%
3. 100%
4. 150%
5. 200%

font-family="serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

### 数値指定（上から）

1. 0.5
2. 0.75
3. 1.0
4. 1.5
5. 2.0

font-family="serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

font-family="sans-serif"

1. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
2. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
3. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
4. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.
5. アンテナハウス株式会社です。Antenna House, Inc.

Antenna House, Inc.

## 文字修飾

文字を斜体にしたり太字にしたり、その他修飾する例です。

これは**太字**です。

これは*斜体*です。

これは**太字**と*斜体*の組み合わせです。

これは上付文字です。

これは下付文字です。

これはアンダーラインです。

これはオーバーラインです。

これは取消線です。

文字を**実線で囲む**例です。

文字を**ドットで囲む**例です。

文字を**赤にする**例です。

文字の背景を**水色にする**例です。

このように**文字単位**で**さまざまな修飾**を**単独**で、あるいは**いくつかの修飾を複合**して使うことが**できます**。

## 日本語の字体指定

<font-variant> に東アジア圏のテキスト描画を制御する <font-variant-east-asian> の設定により特定の OpenType の置換機能を持つ漢字など字体や表示フォントを指定できます。<font-variant-east-asian> へ字体を <east-asian-variant-values>、フォント表示を <east-asian-width-values> の値で指定します。値 <east-asian-variant-values> は、JIS 規格に対応した字体 jis78、jis83、jis90、jis04、他に simplified（簡体字）、traditional（繁体字）、hojo-kanji（補助漢字仕様）、nlckanji（国語審議会 (NLC) 仕様）の指定があります。値 <east-asian-width-values> は、full-width、half-width、third-width、quarter-width、proportional-width の指定があり、full-width は等幅フォント、proportional-width はプロポーショナル・フォントで表示します。ただし各指定は、フォントがその字体などの機能を持っている場合に限られます。

<font-variant-east-asian> 指定の表示には、フォントが指定する各値の機能を持っている必要があるため、本サンプルでは font-family="ヒラギノ明朝 Pro" を指定しています。環境に該当フォントが存在しない場合、FO からはサンプルの指定通りの組版が行われません。FO と共に公開されている PDF から出力結果をご覧ください。

字体の変更を行わない例です。通常の字体で表示されます。

鰺 壺 桧 藪 籠 学 国 麴 醬 搔 填 泡

次は同じフォント、同じ文字コードで、font-variant="jis78" を指定しています。

鰺 壺 檜 藪 箆 学 国 麴 醬 搔 填 泡

<east-asian-width-values> は、日本語の仮名文字などを等幅、プロポーショナルに描画できます。

font-variant の変更を行わない例です。

"プロポーショナル"に描画

font-variant="full-width" を指定しています。

" プロポーショナル " に描画

font-variant="proportional-width" を指定しています。

"プロポーショナル"に描画

## axf:font-face で追加のフォントを指定

axf:font-face の指定により AH Formatter の設定を変更することなく、また動作環境にフォントをインストールせずに文書内で利用するフォントを追加指定することができます。axf:font-face には font-family、font-style、font-weight、src などの属性があります。font-family は追加指定するフォントのフォントファミリー名に使用される名前です。この値はフォントデータのファミリー名よりも優先されます。オプションの font-style 属性と font-weight 属性はフォントのスタイルと太さを指定します。font-family と同様に追加指定するフォントに対し使用されます。src は代替フォントファイルの場所をカンマで区切ったリストです。src にはフォントの代替としてインストールされているフォントの別名（エイリアス）も含めることができます。AH Formatter は src リストから最初に使用可能なフォントを利用します。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:font-face](#)」をご参照ください。

### 宣言して追加のフォントを使用

<fo:declarations> 内にある axf:font-face を使用してフォントを指定します。各 URL は format() 関数で、フォントの種類を指定することができます。AH Formatter は woff (Web Open Font Format)、truetype、opentype に対応しています。

```
<fo:declarations>
  <axf:font-face font-family="Shakespeare"
    src="url('../img/ILShakeFest.ttf') format('truetype')" />
</fo:declarations>
...
<fo:block font-family="Shakespeare" text-align="center">Shakespeare</fo:block>
```

*Shakespeare*

### 代替フォントファイル

以下の例では、リモートフォントファイルをダウンロードするよりローカルフォントファイルが優先して使用されます。いずれも存在しない場合は、別名のローカルフォントが使用されます。

```
<axf:font-face font-family="Not Available"
  font-style="italic"
  src="url('NotAvailable.ttf'),
    url(https://example.com/font/NotAvailable.ttf),
    local(Arial)" />
```

*Not Available*

## 複数プラットフォームでの別名フォント（エイリアス）

異なるプラットフォーム上で日本語フォントの別名（エイリアス）を作成します。

```
<axf:font-face  
  font-family="jpgothic"  
  src="local(HiraKakuPro-W3), local(Meiryo), local(IPAPGothic)" />
```

# ゴシック系のフォント



## テキストシャドウ

`text-shadow` の指定でテキストシャドウを指定できます。`text-shadow="10px 10px 10px darkgray"` のように設定し、値は順に、水平方向の影のオフセット、垂直方向の影のオフセット、影のぼかし半径、影の色の指定となります。影のぼかし半径は非負でなければならず、0 ならぼかしはありません。テキストシャドウの指定は注意点などございますので、詳しくはオンラインマニュアル「[テキストシャドウ](#)」をご参照ください。なお、テキストシャドウのぼかし指定は AH Formatter V6.4 から利用いただけます。

`text-shadow="8px 5px 0px green"`

Antenna House

`text-shadow="8px 5px 3px green"`

Antenna House

`text-shadow="8px 5px 6px green"`

Antenna House

影のオフセットが負の値のとき、正の値と逆側の領域が影となります。値の組は複数指定ができ、幾重にも影を付けられます。

`text-shadow="-8px -5px 0px green"`

Antenna House

`text-shadow="10px 10px 0px green, 20px 20px 0px lightgreen"`

Antenna House

`text-shadow="10px 10px 2px green, 20px 20px 4px lightgreen"`

Antenna House

Antenna House, Inc.

## 文字の輪郭

`axf:text-stroke` の指定で文字の輪郭を指定します。`color` は塗りつぶしの色を指定します。`axf:text-stroke="2pt green"` のように設定し、値は順に、文字の輪郭の幅、色の指定となります。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:text-stroke](#)」をご参照ください。なお、この機能は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

`axf:text-stroke="2pt green" color="white"`

アンテナハウス株式会社

`axf:text-stroke="1pt darkred" color="gold"`

*Antenna House*

`axf:text-stroke="1pt orange" color="white"`

ฉันเป็นคนญี่ปุ่น

`axf:text-stroke="1pt green" color="white" text-shadow="5px 3px 3px gray"`

Antenna House

`axf:text-stroke="2pt rgba(255,0,0,0.3)" color="white" text-shadow="5px 3px 3px silver"`

Antenna House

`axf:text-stroke="1pt blue" color="transparent" text-shadow="5px 3px 3px lightblue"`

Antenna House

## ホワイトスペースの保持

一般的に C/C++ や Java など記述されたプログラムのソースコードの印刷は等幅フォントを使用します。また、コード内で使用されているホワイトスペースも重要な意味をもつため省略して印刷するわけにはいきません。このようなとき `fo:block` のプロパティを `font-family="monospace"`、`white-space="pre"` として、等幅フォントでコード内のホワイトスペースを無視せずに印刷できます。

下記の例は `fo:block` の内容にプログラムのソースコードを変更せずに、そのまま貼りつけたものです。

```
void main(void)
{
    printf("Hello, XML world!");
}
```

`white-space="pre"` は、ショートハンドプロパティです。次のように指定するのと同じです。

```
linefeed-treatment="preserve"
white-space-collapse="false"
white-space-treatment="preserve"
wrap-option="no-wrap"
```

`wrap-option="no-wrap"` を指定すると行が折り返さなくなります。行を折り返させるには `wrap-option="wrap"` (既定値) を指定する必要があります。

## テキストの大文字と小文字の調整

`text-transform` を指定して英文の単語の先頭を自動的に大文字にしたり、すべてを大文字にしたり、あるいは小文字にできます。

### 上から

1. `capitalize`
2. `uppercase`
3. `lowercase`
4. `none`

1.  
SCENE I. Orchard Of Oliver's House.  
Enter ORLANDO And ADAM ORLANDO  
As I Remember, Adam, It Was Upon This Fashion Bequeathed Me By Will But Poor A Thousand Crowns, And, As Thou Sayest, Charged My Brother, On His Blessing, To Breed Me Well: And There Begins My Sadness.

2.  
SCENE I. ORCHARD OF OLIVER'S HOUSE.  
ENTER ORLANDO AND ADAM ORLANDO  
AS I REMEMBER, ADAM, IT WAS UPON THIS FASHION BEQUEATHED ME BY WILL BUT POOR A THOUSAND CROWNS, AND, AS THOU SAYEST, CHARGED MY BROTHER, ON HIS BLESSING, TO BREED ME WELL: AND THERE BEGINS MY SADNESS.

3.  
scene i. orchard of oliver's house.  
enter orlando and adam orlando  
as i remember, adam, it was upon this fashion bequeathed me by will but poor a thousand crowns, and, as thou sayest, charged my brother, on his blessing, to breed me well: and there begins my sadness.

4.  
SCENE I. Orchard of Oliver's house.  
Enter ORLANDO and ADAM ORLANDO  
As I remember, Adam, it was upon this fashion bequeathed me by will but poor a thousand crowns, and, as thou sayest, charged my brother, on his blessing, to breed me well: and there begins my sadness.

## 文字列の置換

[axf:text-replace](#) を使って組版時に文字列の置換を行います。文字列は対で指定します。対の最初の文字列を後の文字列に置換します。'Antenna House' のように、スペースを含む文字列を指定する場合は、" で囲んでください。

元の文字列

```
sample. 1999-2008, sample. sample. Antenna House, sample. sample. Antenna House, sample.
```

axf:text-replace="2008 2010"を指定

```
sample. 1999-2010, sample. sample. Antenna House, sample. sample. Antenna House, sample.
```

axf:text-replace="2008 2010 Antenna AAA"を指定

```
sample. 1999-2010, sample. sample. AAA House, sample. sample. AAA House, sample.
```

axf:text-replace="2008 2010 'Antenna House' AAA"を指定

```
sample. 1999-2010, sample. sample. AAA, sample. sample. AAA, sample.
```

## グリフの方位

グリフの方位を設定できます。横書きのテキストに対しては `glyph-orientation-horizontal` の値として、縦書き（`writing-mode` が `tb-rl`）のテキストに対しては `glyph-orientation-vertical` の値としてグリフの方位を指定します。

上から

1. `glyph-orientation-horizontal="0deg"`
2. `glyph-orientation-horizontal="90deg"`
3. `glyph-orientation-horizontal="180deg"`
4. `glyph-orientation-horizontal="270deg"`

1. あいうえおかきくけこ-ABCDEFGH
2. ㇿㇾㇽㇼㇻㇺㇻㇼㇽㇾㇿ・ㇰㇱㇲㇳㇴㇵㇶㇷ
3. GFEDCBA-こけくきかおえういあ
4. ㇿㇾㇽㇼㇻㇺㇻㇼㇽㇾㇿ・ㇰㇱㇲㇳㇴㇵㇶㇷ

## グリフの方位を定めるサンプル（縦書きテキスト）

右から

1. `glyph-orientation-vertical="auto"`
2. `glyph-orientation-vertical="0deg"`
3. `glyph-orientation-vertical="90deg"`
4. `glyph-orientation-vertical="180deg"`
5. `glyph-orientation-vertical="270deg"`

1. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG
2. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG
3. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG
4. あいうえおかきくけこ-ABCDEFG
5. あいうえおかきくけこ-GFEDCBA

Antenna House, Inc.

## ルビ

[axf:ruby](#)、[axf:ruby-base](#)、[axf:ruby-text](#) によってルビを表現できます。[axf:ruby-base](#) が親文字、[axf:ruby-text](#) がルビ文字です。ひとつの [axf:ruby-base](#) にはひとつの [axf:ruby-text](#) が対応し、これをルビコンテナとして [axf:ruby](#) の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

### モノルビ

個々のルビコンテナが独立で、隣のルビの親文字にルビが掛かりません。

きょう と ふ  
京 都 府

### グループルビ

ひとつのルビコンテナだけから成り、親文字全体にルビを均等に配置します。

きょう と ふ  
京 都 府

### 熟語ルビ

熟語ルビは、ひとつ以上のルビコンテナから成るルビ構造です。ルビが親文字をはみ出すような場合、隣の親文字へルビを掛けるなどして位置を調整します。

きょう と ふ  
京 都 府

ルビコンテナとルビコンテナの間では行分割が可能です。

ぎょう  
鬼門の方角を凝  
し  
視する。



## 縦書き文書におけるルビ

Antenna House, Inc.

`axf:ruby`、`axf:ruby-base`、`axf:ruby-text` によってルビを表現できます。このサンプルは縦書き文書ヘルビを表現した例となります。`axf:ruby-base` が親文字、`axf:ruby-text` がルビ文字です。ひとつの `axf:ruby-base` にはひとつの `axf:ruby-text` が対応し、これをルビコンテナとして `axf:ruby` の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

### モノルビ

電子<sup>でんし</sup>ファイル<sup>けいしき</sup>の形式<sup>けいしき</sup>としてのPDF<sup>おおざつぱ</sup>を大雑把<sup>かみ</sup>にいうと紙<sup>でんしてき</sup>のページ<sup>ひようげん</sup>を電子<sup>でんし</sup>的に表現<sup>ひようげん</sup>したものである。

### グループルビ

電子<sup>でんし</sup>ファイル<sup>けいしき</sup>の形式<sup>けいしき</sup>としてのPDF<sup>おおざつぱ</sup>を大雑把<sup>かみ</sup>にいうと紙<sup>でんしてき</sup>のページ<sup>ひようげん</sup>を電子<sup>でんし</sup>的に表現<sup>ひようげん</sup>したものである。

### 熟語ルビ

電子<sup>でんし</sup>ファイル<sup>けいしき</sup>の形式<sup>けいしき</sup>としてのPDF<sup>おおざつぱ</sup>を大雑把<sup>かみ</sup>にいうと紙<sup>でんしてき</sup>のページ<sup>ひようげん</sup>を電子<sup>でんし</sup>的に表現<sup>ひようげん</sup>したものである。

## ルビの配置

[axf:ruby-align](#) によりルビの配置を指定できます。また、親文字に対しての配置を [axf:ruby-position](#)、ルビと親文字の間隔を [axf:ruby-offset](#)、ルビに小書きのかなを許すかどうかを [axf:ruby-small-kana](#) により指定できます。

### axf:ruby-align（ルビの配置指定）

start 側、center（中央）、end 側 への配置指定

ruby-align="start"

ち  
地

ruby-align="center"

ち  
地

ruby-align="end"

ち  
地

均等割り付け distribute-space（ルビ前後を空ける）、distribute-letter（ルビ前後を空けない）の配置指定

ruby-align="distribute-space"

あじさい  
紫陽花

ruby-align="distribute-letter"

あじさい  
紫陽花

### axf:ruby-position（親文字に対する配置指定）

ルビを親文字の before 側、after 側 への配置指定

axf:ruby-position="before"（既定値）

あじさい  
紫陽花

axf:ruby-position="after"

紫陽花  
あじさい

### axf:ruby-offset（ルビと親文字の間隔の指定）

ルビと親文字の間隔の指定。間隔は number（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、length（長さ指定）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定します。

axf:ruby axf:ruby-offset="0pt"（既定値）

あじさい  
紫陽花

axf:ruby axf:ruby-offset="5pt"

あじさい  
紫陽花

### axf:ruby-small-kana（ルビへの小文字の許可を指定）

auto（何もしません）、convert（小書きのかなは普通のかなに変換されます）

axf:ruby-small-kana="auto"（既定値）

ちよつと  
一寸

axf:ruby-small-kana="convert"

ちよつと  
一寸

## ルビの文字への掛け方

[axf:ruby-overhang](#) によりルビを隣の文字にどのように掛けるか指定します。ルビが親文字より長い場合は、[axf:ruby-limit-overhang](#) で掛かる量の限界値、短い場合は [axf:ruby-limit-space](#) で前後の空き量を設定できます。

### axf:ruby-overhang（ルビを隣の文字へ掛ける方法の設定）

none（隣の文字へ掛けません）、start（start 側の文字に掛けます）、end（end 側の文字に掛けます）

axf:ruby-overhang="none"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="start"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="end"

つばめ  
あ 燕 あ

except-kanji（隣の文字が漢字のときは掛けません）、except-katakana（隣の文字が片仮名のときは掛けません）

axf:ruby-overhang="except-kanji"

つばめ  
あ 燕 阿

axf:ruby-overhang="except-katakana"

つばめ  
あ 燕 ア

except-start-open-parenthesis（start 側が開き括弧類のときは掛けません）、except-end-close-parenthesis（end 側が閉じ括弧類のときは掛けません）

axf:ruby-overhang="except-start-open-parenthesis"

つばめ  
( 燕 あ

axf:ruby-overhang="except-end-close-parenthesis"

つばめ  
あ 燕 )

### axf:ruby-limit-overhang（ルビが親文字より長い場合の隣の文字に掛ける限界量）

限界量は number（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、length（長さ指定）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定します。

axf:ruby-limit-overhang="1.0"（既定値）

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-limit-overhang="0"

つばめ  
あ 燕 あ

### axf:ruby-limit-space（ルビが親文字より短い場合の前後のアキ量の限界）

アキ量の限界は number（ルビのフォントサイズと掛け合わせた値）、length（長さ指定）、percentage（フォントサイズと掛け合わせた値）で指定、none はアキ量の制限をしません。

axf:ruby-limit-space="1.0"（既定値）

ビ エ タ  
なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="0"

ビ エ タ  
なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="none"

ビ エ タ  
なげきの聖母像

## 圏点とルビ

[axf:text-emphasis-style](#) により文字列に対して圏点を付ける指定ができます。親文字との間隔、圏点のフォントやサイズなども指定できます。圏点は CJK 以外では Latn、Cyril、Grek、Zyyy のスクリプトにのみ適用できます。また、ルビの親文字に圏点を付ける併用指定もできますが、ルビ文字に圏点は付けられません。

### 圏点

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点のスタイル

圏点のスタイルは dot (点)、circle (円)、double-circle (二重円)、triangle (三角形)、sesame (ゴマ点) を指定します。filled で塗りつぶし、open で白抜き文字を指定します。任意の文字列を圏点として指定できます。

● ● ○ ○ ▲ ▲ △ △ 、 、 、 、 A A  
圏点 圏点 圏点 圏点 圏点 圏点 圏点 圏点

### 圏点とルビの併用

ルビと圏点を同じ側へ付けるとき、圏点はルビの外側に付きます。

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点とルビの併用（圏点を揃える）

axf:text-emphasis-offset 指定で圏点を揃えます。

● ● ● ● ●  
ルビと圏点

### 圏点を親文字に付ける方向

axf:text-emphasis-position 指定で圏点を親文字の before 側、または、after 側へ付けます。

● ● ● ● ●  
圏点 圏点

### 圏点を付けない文字

axf:text-emphasis-skip 指定で圏点を付けない文字を指定します。spaces (空白文字)、punctuation (約物)、symbols (シンボル)、narrow (半角文字など) を除きます。

・ ・  
圏点 (AAA)

## 多言語組版

AH Formatter は、ラテン文字、キリル文字、ギリシャ文字、日本文字、中国簡体字、中国繁体字、ハングル、アラビア文字、ヘブライ文字、デヴァナガリ文字、タイ文字など、Unicode で扱えるほとんどの文字を扱うことができ、70 以上の言語に対応しています。これは、いくつかの言語で組版を行ったサンプルとなります。ミャンマー文字（Burmese (Myanmar)）は、AH Formatter V6.3 から扱えます。エチオピア文字（Etiopic）とシリア文字（Syriac）は、AH Formatter V6.6 から扱えます。

多言語のサンプルは[世界人権宣言](#)の一節です。Telugu, Oriya, Sinhala, Etiopic, Syriac は [Wikipedia](#) から引用しました。

### English

All human beings are born free and equal in dignity and rights. They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.

### French

Tous les êtres humains naissent libres et égaux en dignité et en droits. Ils sont doués de raison et de conscience et doivent agir les uns envers les autres dans un esprit de fraternité.

### German

Alle Menschen sind frei und gleich an Würde und Rechten geboren. Sie sind mit Vernunft und Gewissen begabt und sollen einander im Geist der Brüderlichkeit begegnen.

### Dutch

Alle mensen worden vrij en gelijk in waardigheid en rechten geboren. Zij zijn begiftigd met verstand en geweten, en behoren zich jegens elkander in een geest van broederschap te gedragen.

### Spanish

Todos los seres humanos nacen libres e iguales en dignidad y derechos y, dotados como están de razón y conciencia, deben comportarse fraternalmente los unos con los otros.

### Portuguese

Todos os seres humanos nascem livres e iguais em dignidade e direitos. São dotados de razão e consciência e devem agir em relação uns aos outros com espírito de fraternidade.

### Greek

'Ολοι οι άνθρωποι γεννιούνται ελεύθεροι και ίσοι στην αξιοπρέπεια και τα δικαιώματα. Είναι προικισμένοι με λογική και συνείδηση, και οφείλουν να συμπεριφέρονται μεταξύ τους με πνεύμα αδελφοσύνης.

### Russian

Все люди рождаются свободными и равными в своем достоинстве и правах. Они наделены разумом и совестью и должны поступать в отношении друг друга в духе братства.

### Japanese

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

### Chinese (Simplified)

人人生而自由，在尊严和权利上一律平等。他们赋有理性 and 良心，并应以兄弟关系的精神相对待。

### Chinese (Traditional)

人人生而自由，在尊嚴和權利上一律平等。他們賦有理性 and 良心，並應以兄弟關係的精神相對待。

### Korean

모든 인간은 태어날 때부터 자유로우며 그 존엄과 권리에 있어 동등하다. 인간은 천부적으로 이성과 양심을 부여받았으며 서로 형제애의 정신으로 행동하여야 한다.

### Vietnamese

Tất cả mọi người sinh ra đều được tự do và bình đẳng về nhân phẩm và quyền. Mọi con người đều được tạo hoá ban cho lý trí và lương tâm và cần phải đối xử với nhau trong tình bằng hữu.

### Arabic

يولد جميع الناس أحرارًا متساوين في الكرامة والحقوق. وقد وهبوا عقلاً وضميراً وعليهم أن يعامل بعضهم بعضاً بروح الإخاء.

### Urdu

تمام انسان آزادی اور حقوق و عزت کے اعتبار سے برابر پیدا ہوئے ہیں۔ انہیں ضمیر اور عقل و دیعت ہوئی ہے۔ اس لئے انہیں ایک دوسرے کے ساتھ بھائی چارے کا سلوک کرنا چاہیے۔

**Hebrew**

כל בני אדם נולדו בני חורין ושווים בערכם ובכבודם. כולם חנונו בתבונה ובמצפון, לפיכך חובה עליהם לנהוג איש ברעהו ברוח של אהבה.

**Hindi**

सभी मनुष्यों को गौरव और अधिकारों के मामले में जन्मजात स्वतन्त्रता और समानता प्राप्त है। उन्हें बुद्धि और अन्तरात्मा की देन प्राप्त है और परस्पर उन्हें भाईचारे के भाव से बर्ताव करना चाहिए।

**Bengali**

সমস্ত মানুষ স্বাধীনভাবে সমান মর্যাদা এবং অধিকার নিয়ে জন্মগ্রহণ করে। তাঁদের বিবেক এবং বুদ্ধি আছে; সুতরাং সকলেরই একে অপরের প্রতি ভ্রাতৃত্বসুলভ মনোভাব নিয়ে আচরণ করা উচিত।

**Panjabi**

ਸਾਰਾ ਮਨੁੱਖੀ ਪਰਿਵਾਰ ਆਪਣੀ ਮਹਿਮਾ, ਸ਼ਾਨ ਅਤੇ ਹੱਕਾਂ ਦੇ ਪੱਖੋਂ ਜਨਮ ਤੋਂ ਹੀ ਆਜ਼ਾਦ ਹੈ ਅਤੇ ਸੁਤੇ ਸਿੱਧ ਸਾਰੇ ਲੋਕ ਬਰਾਬਰ ਹਨ। ਉਨ੍ਹਾਂ ਸਭਨਾ ਨੂੰ ਤਰਕ ਅਤੇ ਜ਼ਮੀਰ ਦੀ ਸੇਵਾਤ ਮਿਲੀ ਹੋਈ ਹੈ ਅਤੇ ਉਨ੍ਹਾਂ ਨੂੰ ਭਰਾਤਰੀਭਾਵ ਦੀ ਭਾਵਨਾ ਰਖਦਿਆਂ ਆਪਸ ਵਿਚ ਵਿਚਰਣਾ ਚਾਹੀਦਾ ਹੈ।

**Gujarati**

પ્રતિષ્ઠા અને અધિકારોની દૃષ્ટિએ સર્વ માનવો જન્મથી સ્વતંત્ર અને સમાન હોય છે. તેમનામાં વિચારશક્તિ અને અંતઃકરણ હોય છે અને તેમણે પરસ્પર બંધુત્વની ભાવનાથી વર્તવું જોઈએ.

**Tamil**

மனிதப் பிறிவிவியினர் சகலரும் சுதந்திரமாகவே பிறக்கின்றனர்; அவர்கள் மதிப்பிலும், உரிமைகளிலும் சமமானவர்கள், அவர்கள் நியாயத்தையும் மனச்சாட்சியையும் இயற்பண்பாகப் பெற்றவர்கள். அவர்கள் ஒருவருடனொருவர் சகோதர உணர்வுப் பாங்கில் நடந்துகொள்ளல் வேண்டும்.

**Kannada**

ಎಲ್ಲಾ ಮಾನವರೂ ಸ್ವತಂತ್ರರಾಗಿಯೇ ಜನಿಸಿದ್ದಾರೆ. ಹಾಗೂ ಘನತೆ ಮತ್ತು ಹಕ್ಕುಗಳಲ್ಲಿ ಸಮಾನರಾಗಿದ್ದಾರೆ. ವಿವೇಕ ಮತ್ತು ಅಂತಃಕರಣ ಗಳನ್ನು ಪಡೆದವರಾದ್ದರಿಂದ ಅವರು ಪರಸ್ಪರ ಸಹೋದರ ಭಾವದಿಂದ ವರ್ತಿಸಬೇಕು.

**Malayalam**

മനുഷ്യരെല്ലാവരും തുല്യാവകാശങ്ങളോടും അന്ത്യോന്ത്യോം സ്വാതന്ത്ര്യത്തോടുംകൂടി ജനിച്ചിട്ടുള്ളവരാണ്. അന്ത്യോന്ത്യോം ഭ്രാതൃഭാവത്തോടെ പെരുമാറുവാനാണ് മനുഷ്യനു വിവേകബുദ്ധിയും മനസ്സാക്ഷിയും സിദ്ധമായിരിക്കുന്നത്.

**Thai**

มนุษย์ทั้งหลายเกิดมามีอิสระและเสมอภาคกันในเกียรติศักดิ์[เกียรติศักดิ์]และสิทธิ ต่างมีเหตุผลและ-  
มโนธรรม และควรปฏิบัติต่อกันด้วยเจตนารมณ์แห่งภราดรภาพ

## Laoo

មនុស្សទាំងអស់ កើតមកមានសេរីភាព និងសមភាព ក្នុងផ្នែកសេចក្តីឆ្លើយតបនិងសិទ្ធិ។ មនុស្ស មាន  
វិចារណញ្ញាណនិងសតិសម្បជញ្ញៈជាប់ពាក់ព័ន្ធពីត ហើយគប្បីប្រព្រឹត្តចំពោះគ្នាទៅវិញទៅមក ក្នុង  
ស្មារតីភាគរភាពជាបងប្អូន។

## Telugu

ఆంధ్ర ప్రదేశ్ మరియు తెలంగాణ రాష్ట్రాల అధికార భాష తెలుగు. భారత దేశం లో తెలుగు మాతృభాషగా మాట్లాడే 8.7 కోట్ల (2001 ) జనాభాతో [1] ప్రాంతీయ భాషలలో మొదటి స్థానంలో ఉంది.

ଖୋଜିବାକୁ ଚାହୁଁଥିବା ପ୍ରସଙ୍ଗର ପ୍ରଥମ ଅକ୍ଷର ଉପରେ କିମ୍ବା ଶ୍ରେଣୀ ଉପରେ କ୍ଲିକ୍ କରନ୍ତୁ ।

ශ්‍රී ලංකාවේ ප්‍රධාන ජාතිය වන සිංහල ජනයාගේ මව් බස සිංහල වෙයි. අද වන විට මිලියන 20 කට අධික සිංහල සහ මිලියන 3කට අධික සිංහල නොවන ජනගහනයක් සිංහල භාෂාව භාවිත කරති.

၁၉၄၈ ခုနှစ်ဒီဇင်ဘာလ ၁၀ ရက်နေ့တွင် ကမ္ဘာ့ကုလသမဂ္ဂအဖွဲ့ညီလာခံ အစည်းအဝေးကြီးက လူ့အခွင့်အရေး

ውክፔዲያ ዓለም-ዓቀፍ የዕውቀት ማከማቻ ድረ-ገጽ ነው። ውክፔዲያ የጋራ ነው። ሁሉም ሰው በመዝገበ ዕውቀቱ እንዲሳተፍ ተፈቅዷል። አዳዲስ ተሳታፊዎች፣ የጀማሪዎች ማያያዣን በመጫን በፍጥነት ስለ ድረ-ገጹ መረጃ ማግኘት ይችላሉ።

هذه هي الرسالة التي أرسلتها إلى جميع أعضاء الجمعية الوطنية في 15 مارس 2015. الرسالة التي أرسلتها إلى جميع أعضاء الجمعية الوطنية في 15 مارس 2015. الرسالة التي أرسلتها إلى جميع أعضاء الجمعية الوطنية في 15 مارس 2015.



## 縦書き

ページの本文領域 (region-body) に `writing-mode="t-b-r"` を指定して本文全体を縦書きにした例です。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには一枚の紙の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんと  
いう文字を書くか、どんな太さで、どんな種類 (直線、点線、...) の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令がページ毎  
に記録されている。

Antenna House, Inc.

## ページの一部を縦書きにするサンプル

fo:block-container を使用してページ内で部分的に縦書きにした例です。

電子ファイルの形式としての PDF を大雑把にいうと紙のページを電子的に表現したものである。

人間が一枚の白紙の紙に鉛筆で文字を書いたり、線を引くときは、頭の中でどの位置に、どんな大きさで、どんな文字や絵を描こうかと考え、考えたとおりに手を動かして、文字と絵を書く。

これと同じように PDF のファイルの中には、頭の中で考えた状態と同じような情報がプログラムへの「命令」として記述されている。

即ち、PDF ファイルには一枚の紙の左上を原点にして、下方向と右方向に座標軸をとってできる平面を定義し、その平面のどこに、どんな大きさで、なんという文字を書くか、どんな太さで、どんな種類（直線、点線、…）の線を引くか、どんな画像をどこにどんな大きさで配置するか、といった命令がページ毎に記録されている。

このようにページの中に縦書きと横書きの領域を混在させることもできます。

## 文書情報の埋め込み

PDF には、著者やタイトルなどの文書情報を埋め込んでおくことができます。AH Formatter では、独自拡張した要素 `axf:document-info` を用いてそれらを指定できます。また、PDF の表示方法やメニュー、ツールバーを隠す指定もできます。詳しくは、オンラインマニュアルの「[axf:document-info](#)」をご参照ください。PDF に埋め込まれたこれらの情報は、Adobe Acrobat または Reader で参照できます。

### 指定例

`axf:document-info` 拡張要素は、`fo:declarations` の子、または `fo:page-sequence` の最初の子要素に置くことができます（分冊出力のときにのみ有効）。また、そのプロパティは `name` と `value` で、いずれも必須のプロパティです。指定できる `name` の値と指定方法は次のようになります。`name` へ指定できる値 `createdate`、`modifydate` は AH Formatter V6.6 MR5 から利用いただけます。

```
<fo:root xmlns:fo="http://www.w3.org/1999/XSL/Format"
  xmlns:axf="http://www.antennahouse.com/names/XSL/Extensions">
  ...
  <fo:declarations>
    <axf:document-info name="document-title" value="文書のタイトルを指定します"/>
    <axf:document-info name="subject" value="文書のサブタイトルを指定します"/>
    <axf:document-info name="author" value="著者名を指定します"/>
    <axf:document-info name="author-title" value="文書の著者の役職などを指定します"/>
    <axf:document-info name="description-writer" value="文書の説明の書き手を指定します"/>
    <axf:document-info name="keywords" value="キーワードをカンマ区切りで列挙します"/>
    <axf:document-info name="copyright-status" value="著作権のステータスを指定します"/>
    <axf:document-info name="copyright-notice" value="著作権の情報を指定します"/>
    <axf:document-info name="copyright-info-url" value="著作権情報の URL を指定します"/>
    <axf:document-info name="xmp" value="PDF に埋め込む XMP の URL を指定します"/>
    <axf:document-info name="pagemode" value="文書を開いたときの表示方法を指定します"/>
    <axf:document-info name="pagelayout" value="文書を開いたとき、使われるページレイアウトを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidetoolbar" value="文書を開いたとき、ツールバーを隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidemenubar" value="文書を開いたとき、メニューバーを隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="hidewindowui" value="文書を開いたとき、ユーザインターフェイス要素を隠すかを指定します"/>
    <axf:document-info name="fitwindow"
      value="文書を開いたとき、ページサイズに適合するよう文書ウィンドウサイズを変更するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="centerwindow" value="文書を開いたとき、文書ウィンドウを画面の中央に配置するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="displaydoctitle" value="文書を開いたとき、文書のタイトルを表示するかを指定します"/>
    <axf:document-info name="openaction" value="文書を開いたときに表示される宛先または実行されるアクションを指定します"/>
    <axf:document-info name="createdate" value="文書が作成された日時を指定します"/>
    <axf:document-info name="modifydate" value="文書が最後に変更された日時を指定します"/>
  </fo:declarations>
  ...
</fo:root>
```

このサンプルでは、`document-title`、`author`、`keywords` を指定しています。これらの情報は、AH Formatter の「文書情報ダイアログ」でも表示できます。

## PDF にしおりを付ける

PDF にはしおりと呼ばれる目次を階層化する機能があります。PDF を表示してしおりの項目をクリックすると目的の位置へジャンプします。FO では `fo:bookmark-tree` の指定と子要素 `fo:bookmark` でしおりの構成を階層的に表します。`fo:bookmark-title` でタイトルは、`internal-destination` もしくは `external-destination` プロパティでジャンプ先を与えます。`fo:bookmark-tree` の配置は `fo:root` の直下、`fo:declarations` と `fo:page-sequence` の間です。

### Bookmark sample-1

#### Lorem Ipsum

##### **Lorem ipsum dolor sit amet**

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.

##### **Ut tincidunt lorem erat**

Ut tincidunt lorem erat, at elementum nibh varius consectetur. Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor.

##### **Mauris commodo, elit a imperdiet interdum**

Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.

## Bookmark sample-2

Quisque imperdiet tortor iaculis, pulvinar neque sit amet, aliquet massa. Sed sed auctor purus.

## PDF の内部リンクと外部リンク

PDF のリンクは、PDF 文書内の特定位置へのリンクと外部へのリンクに分類されます。文書内へのリンクは `fo:basic-link` の `internal-destination` プロパティで表します。外部へのリンクは `external-destination` プロパティで表します。内部リンクに対しては ID、ページ番号指定ができます。外部リンクは、ファイルの展開、ウェブサイトへのリンクが指定できます。

### 内部リンクの例

[ID を指定](#) : リンク元に `internal-destination="Link-01"` を、リンク先に `id="Link-01"` を指定

[ページ番号 \(2 ページ\) を指定](#) : `internal-destination="2"`

[ページ番号 \(2 ページ\) と表示倍率 \(200%\) を指定](#) : `internal-destination="2#zoom=200"`

### 外部リンクの例

[外部ファイル \(attachment-sample-1.pdf\) を指定](#) : `external-destination="/attachment-sample-1.pdf"`

[ウェブサイト \(https://www.antenna.co.jp/\) を指定](#) : `external-destination="https://www.antenna.co.jp/"`

## アンテナハウスについて

詳細は <https://www.antenna.co.jp/> をご覧ください。

Antenna House, Inc.

## 宛先形式を指定したリンク

axf:destination-type により、リンク先をどのように表示するか宛先形式を指定したリンクを生成できます。指定できる宛先形式の値は、xyz-left-top：コンテンツがウィンドウの左上になるよう表示、fit：全体表示、fith：ウィンドウの幅に合わせて表示、その他、描画領域の幅に合わせて表示する fitbh などがあります。詳細はオンラインマニュアルの「[axf:destination-type](#)」をご参照ください。なお、外部リンクは宛先形式に加え、axf:action-type でリンク先の URI は PDF であるとみなす gotor を指定して内部リンクと同様に ID、ページ番号の指定ができます。

### 宛先形式を設定した内部リンクの例

[宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率（100%）](#)：

リンク元に internal-destination="link-xyz"、リンク先に id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定

[宛先形式 fit、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fit" 指定

[宛先形式 fith、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fith" 指定

[宛先形式 fitbh、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

internal-destination="2#view=fitbh" 指定

### 宛先形式を設定した外部リンクの例

[外部ファイル（attachment-sample-2.pdf）へ宛先形式 xyz-left-top、ID 指定、表示倍率（100%）](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf#nameddest=external-link-xyz" axf:action-type="gotor"、リンク先の外部 PDF へ id="external-link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100" 指定。URI 中のパラメータは nameddest のみが有効です。

[外部ファイル（attachment-sample-2.pdf）へ宛先形式 fit、ページ番号（2 ページ目）指定](#)：

リンク元に external-destination="/attachment-sample-2.pdf?page=2&view=fit" axf:action-type="gotor" 指定



指定したリンク先の宛先形式の位置が分かりやすいように各領域に線を引いています。

`id="link-xyz" axf:destination-type="xyz-left-top 100"` が指定されている `fo:block`

Antenna House, Inc.

## PDF へ注釈を付ける

「[axf:annotation-type](#)」により PDF へ注釈を付ける指定ができます。指定できる注釈の種類は、テキスト注釈 (Text)、フリーテキスト注釈 (FreeText)、ラバースタンプ注釈 (Stamp)、ファイル添付注釈 (FileAttachment) です。それぞれの注釈の制作者、タイトル、内容の指定、PDF 展開時の状態、表示アイコンなどを指定もできます。

このサンプルでは、それぞれの注釈に対してタイトル (axf:annotation-title="Annotation")、制作者 (axf:annotation-author="Antenna House")、内容 (axf:annotation-contents="Sample") を指定しています。

### axf:annotation-type="Text"

Text は展開時の表示状態を (axf:annotation-open) で指定できます。ここでは true 指定で表示させています。



### axf:annotation-type="FreeText"

FreeText ではフォント、フォントサイズ、太さ、色など指定できます。

Sample

### axf:annotation-type="Stamp"

Stamp は axf:annotation-icon-name で任意の表示を指定できます。ここではいくつかの例を示します。

axf:annotation-icon-name="Draft"

axf:annotation-icon-name="ForPublicRelease"

axf:annotation-icon-name="TopSecret"

### axf:annotation-type="FileAttachment"

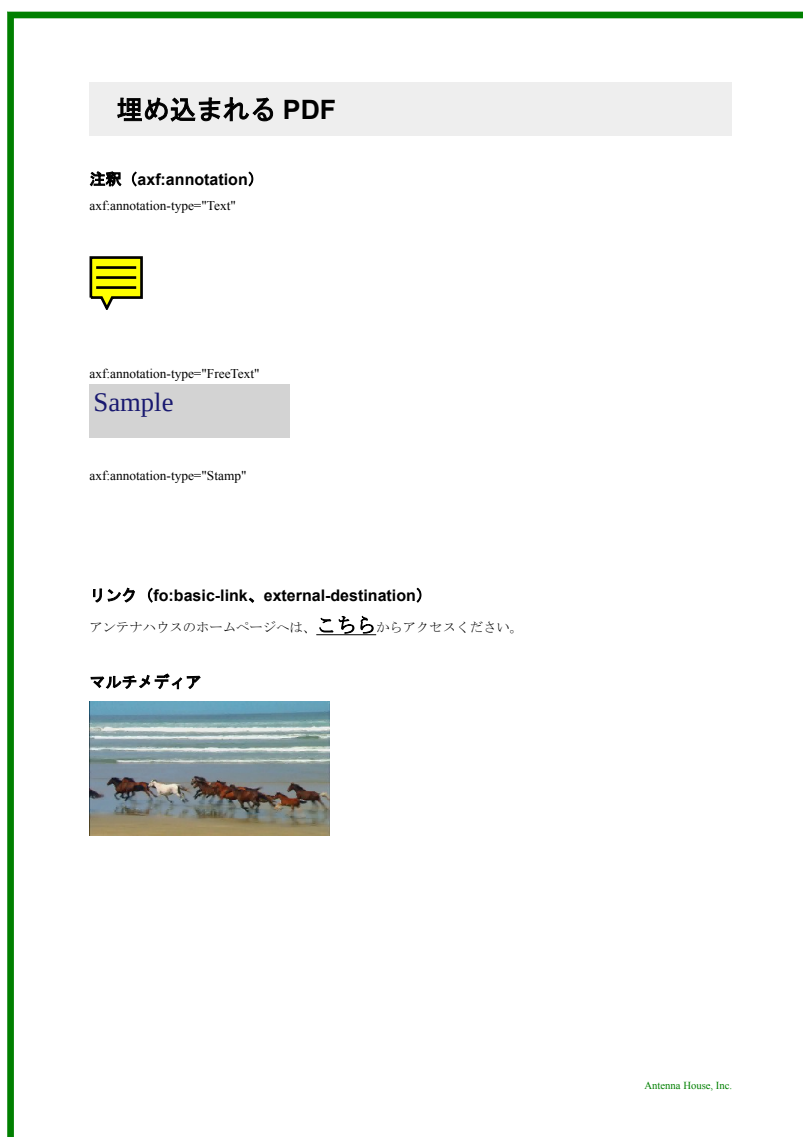
FileAttachment は axf:annotation-file-attachment で関連付けられるファイルを指定します。

## 埋め込んだ PDF の注釈を保持

AH Formatter のオプション設定ファイル、PDF 出力の設定 <pdf-settings> の import-annotation-types で PDF に埋め込む別の PDF にある注釈を保持するか指定できます。埋め込む注釈の種類は"Text"、"Link"など個別指定、または"All"で埋め込み可能なすべての注釈を指定できます。指定されていない注釈は無視されます。グラフィカルユーザインターフェイスでは [PDF オプション設定ダイアログ] の [その他] ページで指定できます。

### AH Formatter で出力した PDF を埋め込んだ例

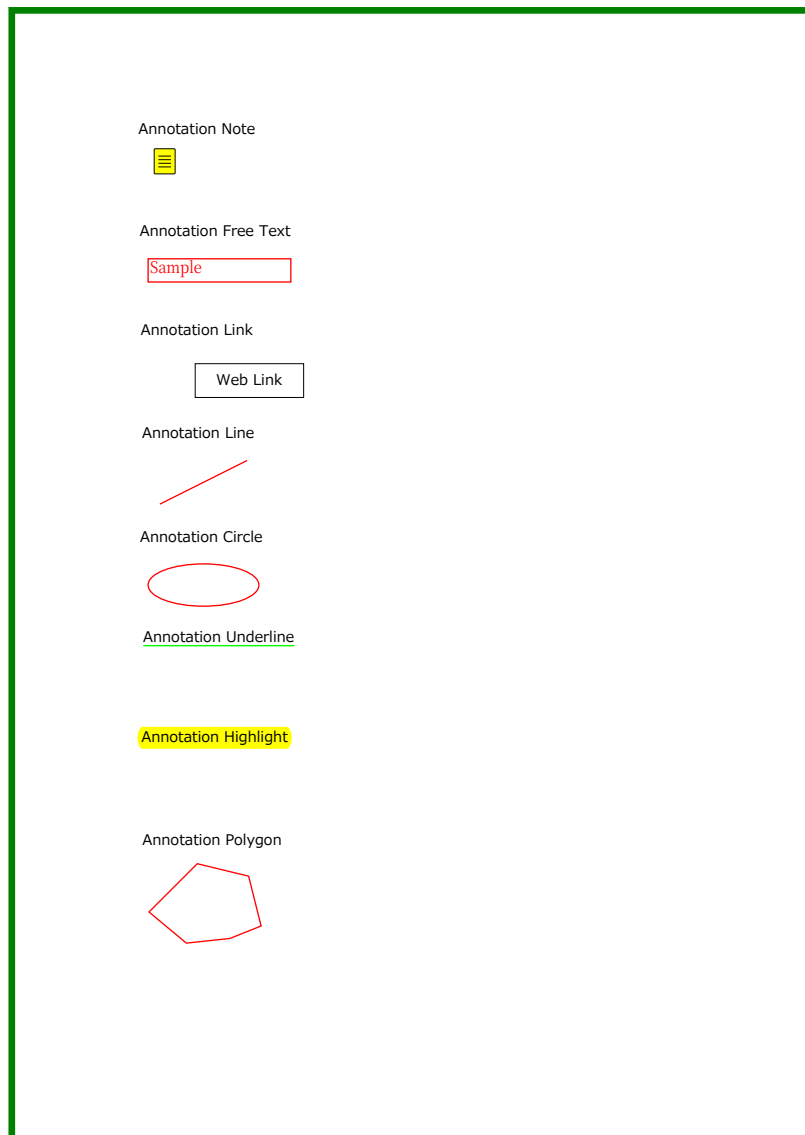
緑色の線で囲まれた部分が埋め込んだ PDF です。



Antenna House, Inc.

## AH Formatter 以外で作成された PDF を埋め込んだ例

2 ページ目に埋め込んだ PDF は Adobe Acrobat で作成した注釈を含んだ PDF です。

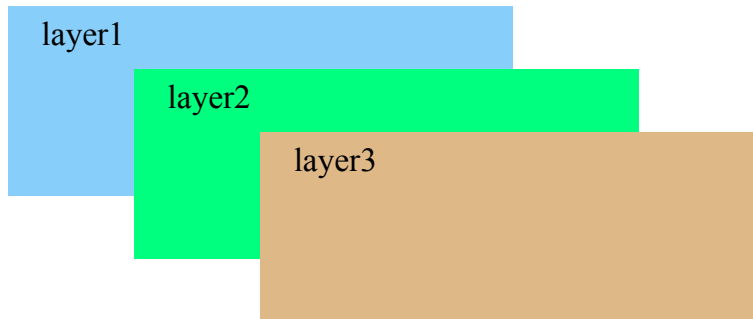


## PDF 出力におけるレイヤ

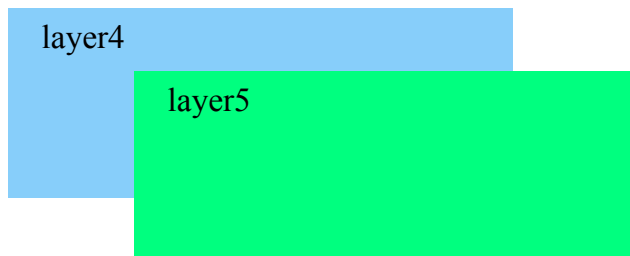
axf:layer-settings、axf:layer で PDF へレイヤを指定できます。fo:root に axf:layer-settings="layer1','layer2'" のように定義し、エリアをどのレイヤに配置するか axf:layer="layer1" のように指定します。指定できるパラメータは intent、view、print、export、lang、zoom、locked で順にレイヤのインテント、表示、印刷、出力、表示する倍率、表示する言語、ロックを表します。文書を開いたときの初期状態などの指定も可能です。詳しくはオンラインマニュアルの「[axf:layer-settings](#)」をご参照ください。レイヤの指定は PDF1.5 以降、レイヤの locked は PDF1.6 以降で有効です。なお、このサンプルでは文書を開く PDF ビューアでレイヤパネルが表示されるように <axf:document-info name="pagemode" value="UseOC" /> を指定しています。

### レイヤの指定例

layer1、layer2、layer3 を定義、fo:block-container にレイヤを配置した例です。



layer4 を ['layer4' intent view] で定義、layer5 を ['layer5' intent design] で定義しています。view（既定値）ではレイヤの表示、非表示の切り替えができますが、design 指定では切り替えができなくなります。intent の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。



layer6 を ['layer6' view off] で定義、view が off のため初期状態でレイヤを非表示とする例です。

layer7 を ['layer7' view on print off export off] で定義、レイヤは表示されますが print と export が off のため印刷時や出力時には非表示にする例です。



Antenna House, Inc.

layer8 を ['layer8' zoom 50% 100%] で定義した例です。zoom はレイヤを表示する倍率を指定します。値は順に最小値、最大値を表し、layer8 はビューアの倍率で 50% から 100% の範囲では表示され、それ以外の範囲では非表示になります。zoom の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

layer8

layer9 を定義、配置した fo:block-container 内の fo:block へ layer10 を定義、配置した例です。layer9 のレイヤを非表示にすると layer10 も非表示にできます。

layer9 (fo:block-container)

layer10 (fo:block)

layer11 を ['layer11' lang 'ja-jp' preferred locked] で定義、locked でレイヤの編集を無効にしています。lang は指定した言語とビューアアプリケーションの言語が一致すればレイヤを表示します。このサンプルでは lang 'ja-jp' のためビューアアプリケーションの言語が日本語であれば "layer11 (ja-jp)" が表示され、そうでなければ "en" が表示されます。

layer11 (ja-jp)

## マルチメディアの埋め込み

ビデオやオーディオなどのマルチメディアデータを PDF へ埋め込みます。指定は `<fo:external-graphic src="video.mpg" content-type="video/mpeg">` のように行います。`axf:poster-image` でポスター画像を指定できます。また、再生コントロールバーを `axf:show-controls`、再生時の音量を `axf:media-volume`、再生回数を `axf:media-play-mode` などの指定もできます。マルチメディアファイルの埋め込みは、PDF1.5 以降のときのみ有効です。

### `axf:poster-image` の指定なし



### `axf:poster-image` の指定あり



### `axf:show-controls="true"`、`axf:media-volume="10%"`、`axf:media-play-mode="2"`



コントロールバーは再生中のマルチメディアの下側に表示されます。マルチメディア要素の下側に十分なスペースの確保が必要です。なお、`axf:show-controls`、`axf:media-volume`、`axf:media-play-mode` など一部の指定が有効となるか否かは、マルチメディアデータ、ビューア、プレイヤーに依存します。

## マルチメディアの参照

axf:multimedia-treatment によりマルチメディアデータを PDF に埋め込むか参照させるかを指定できます。指定は <fo:external-graphic src="video.mpg" content-type="video/mpeg" axf:multimedia-treatment="relative-link"> のように行います。axf:poster-image でポスター画像を指定できます。axf:multimedia-treatment に対しては、auto（オプション設定ファイル [multimedia-treatment](#) の値が採用）、embed（埋め込み）、absolute-link（絶対パスで参照）、relative-link（相対パスで参照）などの指定ができます。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。axf:multimedia-treatment の指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。なお、マルチメディアファイルの取り扱いは、PDF1.5 以降で有効です。

このサンプルではマルチメディアを指定 axf:multimedia-treatment="relative-link" により相対パスで参照させています。axf:multimedia-treatment="embed" でマルチメディアを埋め込んだ場合と出力される PDF のサイズが異なります。

### axf:poster-image の指定なし



### axf:poster-image の指定あり



### axf:show-controls="true"、axf:media-volume="10%"、axf:media-play-mode="2"



axf:show-controls（再生コントロールバー）、axf:media-volume（再生音量）、axf:media-play-mode（再生回数）など一部の指定が有効となるか否かは、マルチメディアデータ、ビューア、プレイヤーに依存します。

Antenna House, Inc.



## リッチメディア注釈

`axf:multimedia-treatment="richmedia"` の指定によりマルチメディアデータをリッチメディア注釈として PDF へ埋め込むことができます。指定は `<fo:external-graphic src="video.mp4" contenttype="video/mp4" axf:multimedia-treatment="richmedia">` のように行います。`axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed"` 指定では別ウィンドウで表示、再生されます。リッチメディア注釈では再生のために外部プレイヤーなどを必要としません。`axf:multimedia-treatment="auto"` などによるマルチメディア埋め込みとはサポートしているデータ形式、有効なプロパティなど異なります。詳しくはオンラインマニュアル「[axf:multimedia-treatment](#)」をご参照ください。リッチメディア注釈は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。なお、取り扱いは PDF1.7 以降で有効です。

### `axf:multimedia-treatment="richmedia"`



### `axf:multimedia-treatment="richmedia-windowed"`



### `axf:media-skin-control="all"`、`axf:media-skin-color="red"`、`axf:media-skin-auto-hide="false"`

リッチメディアの再生、停止などが表示されるスキンは `axf:media-skin-control` (スキンのコントロール)、`axf:media-skin-color` (スキンの色)、`axf:media-skin-auto-hide` (スキンを自動的に隠すかどうか) など指定できます。



### **axf:media-activation**

axf:media-activation はリッチメディアを有効無効にするタイミングを指定します。指定できる値など詳細は「[axf:media-activation](#)」をご覧ください。次のサンプルは PageOpen（コンテンツが含まれるページを開いたときに有効）と PageClose（コンテンツが含まれるページを閉じたときに無効）を組み合わせたサンプルです。

### **axf:media-activation="PageOpen PageClose"**



## フォームフィールド

axf:form、axf:form-field を使用して、PDF にフォームを生成できます。フィールドにはテキスト、プッシュボタン、チェックボックス、ラジオボタン、リストボックス、コンボボックス、電子署名フィールドなどの種類があります。

### テキストフィールド (field-type="text")

axf:field-default-text でテキストフィールドに最初から入力されるテキストを指定、axf:field-multiline でテキストフィールドが単一行か複数行か指定が行えます。また、書式、入力可能な最大文字数の指定などもできます。[axf:field-font-size](#) と [axf:field-text-align](#) の指定は AH Formatter V6.5 から利用いただけます。

Text Field:

Text Field (field-multiline="true"):

Text Field (axf:field-font-size="auto"):

Text Field (axf:field-text-align="center"):

Text Field (axf:field-text-align="right"):

### プッシュボタンフィールド (field-type="button")

プッシュボタンフィールドには、キャプションを axf:field-button-face、アイコンを axf:field-button-icon で指定でき、表示関係を axf:field-button-layout で指定します。また、ボタン押下時 (down)、ボタンロールオーバー時 (rollover) のキャプション、アイコンを別々に指定できます。ボタン押下時のアクションとして action-type によりリセット、サブミット、リンクの指定が可能です。サンプルのためサブミットは無効です。

Push Button (URI "https://www.antenna.co.jp/AHF/"):

Push Button (Submit):

Push Button (Reset):

### チェックボックスフィールド、ラジオボタンフィールド (field-type="checkbox"、"radio")

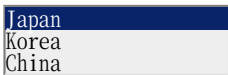
field-checked で初期状態のチェック表示、非表示を、field-checked-style でチェックの形状を指定できます。

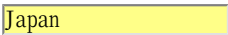
Check Box (field-checked-style="checkmark"): ☐ Check Me!

Radio Button (field-checked-style="circle"): ☐ Cat ☐ Dog

### リストボックスフィールド、コンボボックスフィールド (field-type="listbox"、 "combobox")

表示内容を、axf:form-field-option で指定します。内容が空ではいけません。リストボックス、コンボボックスの内容は、axf:form-field-option で指定した出現順序どおりに並びます。

List Box: 

Combo Box: 

### 電子署名フィールド (field-type="signature")

電子署名フィールドは、field-type="signature" で指定します。内容は空です。あらかじめ外観を指定しておくことはできません。

Digital Signature: 

Text Field: yyyy/mm/dd

## フォームフィールドの名前にページ番号を付加

axf:field-name-suffix-page-number によって PDF のフォームフィールドの名前にページ番号を付加することができます。この機能は AH Formatter V6.6 から利用いただけます。

フォームフィールドには axf:field-name で任意の名前を指定できます。fo:static-content にフォームを作成してページ単位に固有の名前を指定する場合に axf:field-name-suffix-page-number を使用します。各ページのフォームフィールドの名前にページ番号が付加されます。

```
<fo:static-content flow-name="xsl-region-before" >
<fo:block text-align="right">
<axf:form field-submit-method="post" field-submit-coordinates="true">
<fo:block space-before="0.5em">
Text Field:<axf:form-field field-type="text" field-name="InputText-Page"
axf:field-name-suffix-page-number="1"
field-default-text="yyyy/mm/dd"
width="10em" height="1.2em"
background-color="#ff8" border="1pt silver inset" />
</fo:block>
</axf:form>
</fo:block>
</fo:static-content>
```

1 ページ目のフォームフィールドの名前は InputText-Page1 になります。

Text Field: yyyy/mm/dd

2 ページ目のフォームフィールドの名前は InputText-Page2 になります。

Antenna House, Inc.

## フォームイベント

axf:form-field-event を使用して、PDF フォームのイベントに対応したフォームアクションを JavaScript で定義します。この機能は AH Formatter V6.4 から利用いただけます。

- axf:form-field-event の name プロパティにイベントの種類（MouseUp, MouseDown, MouseEnter, MouseExit, OnFocus, OnBlur のいずれか）を指定します（必須）。
- axf:form-field-event の action-type プロパティに "javascript" を指定します（必須）。
- axf:form-field-event 要素の内容に JavaScript プログラムを記述します。

Push Button field:

この PDF フォームには以下のように定義されています。

```
<axf:form>
  <fo:block>
    Push Button field:
    <axf:form-field field-type="button" field-name="chkButton"
      field-button-layout="caption" field-button-face="chk button"
      width="10em" height="1.2em"
      background-color="#eee" border="2px silver outset" >
      <axf:form-field-event name="MouseUp" action-type="javascript">
        this.zoomType = zoomtype.fitW; /* マウスボタンを放すと表示倍率をビューアの幅に合わせる */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseEnter" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.red; /* ポインターを範囲内に入ると背景を赤色に変更 */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseDown" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.blue; /* マウスボタンを押すと背景を青色に変更 */
      </axf:form-field-event>
      <axf:form-field-event name="MouseExit" action-type="javascript">
        var f = this.getField("chkButton");
        f.fillColor = color.yellow; /* ポインターを範囲外に出すと背景を黄色に変更 */
      </axf:form-field-event>
    </axf:form-field>
  </fo:block>
</axf:form>
```

テーブルのセルの中に PDF フォームを作成して JavaScript で計算結果を表示させることもできます。詳しくはこの FO の内容を参照してください。

| 製品名   | 単価（円）   | 個数                             | 小計                               |
|-------|---------|--------------------------------|----------------------------------|
| A-001 | ¥ 1,000 | <input type="text" value="0"/> | <input type="text" value="¥ 0"/> |
| A-002 | ¥ 2,000 | <input type="text" value="0"/> | <input type="text" value="¥ 0"/> |
| A-003 | ¥ 3,000 | <input type="text" value="0"/> | <input type="text" value="¥ 0"/> |
| 合計    |         |                                | <input type="text" value="¥ 0"/> |

## トンボの描画

AH Formatter はトンボを描画できます。axf:crop-offset で、物理的な紙の端から仕上がり位置までの距離を指定します。axf:bleed で、裁ち落としのための塗り足しの領域の幅を指定します。この例では、仕上がり寸法を B5（182mm×257mm）、印刷する用紙を A4（210mm×297mm）と想定して、トンボをつけています。

Antenna House, Inc.



## 内トンボ、センタートンボ、西洋トンボ

axf:printer-marks によって指定できるトンボなどの印刷マークの種類が **crop**（コーナートンボ）、**cross**（センタートンボ）、**<uri-specification>**（画像）の他に **crop-trim**（内トンボ）、**cross-circle**（丸付きセンタートンボ）、**cross-registration**（西洋トンボ）が追加されています。この追加されたマークは AH Formatter V6.6 から利用いただけます。

### axf:printer-marks="crop-trim"

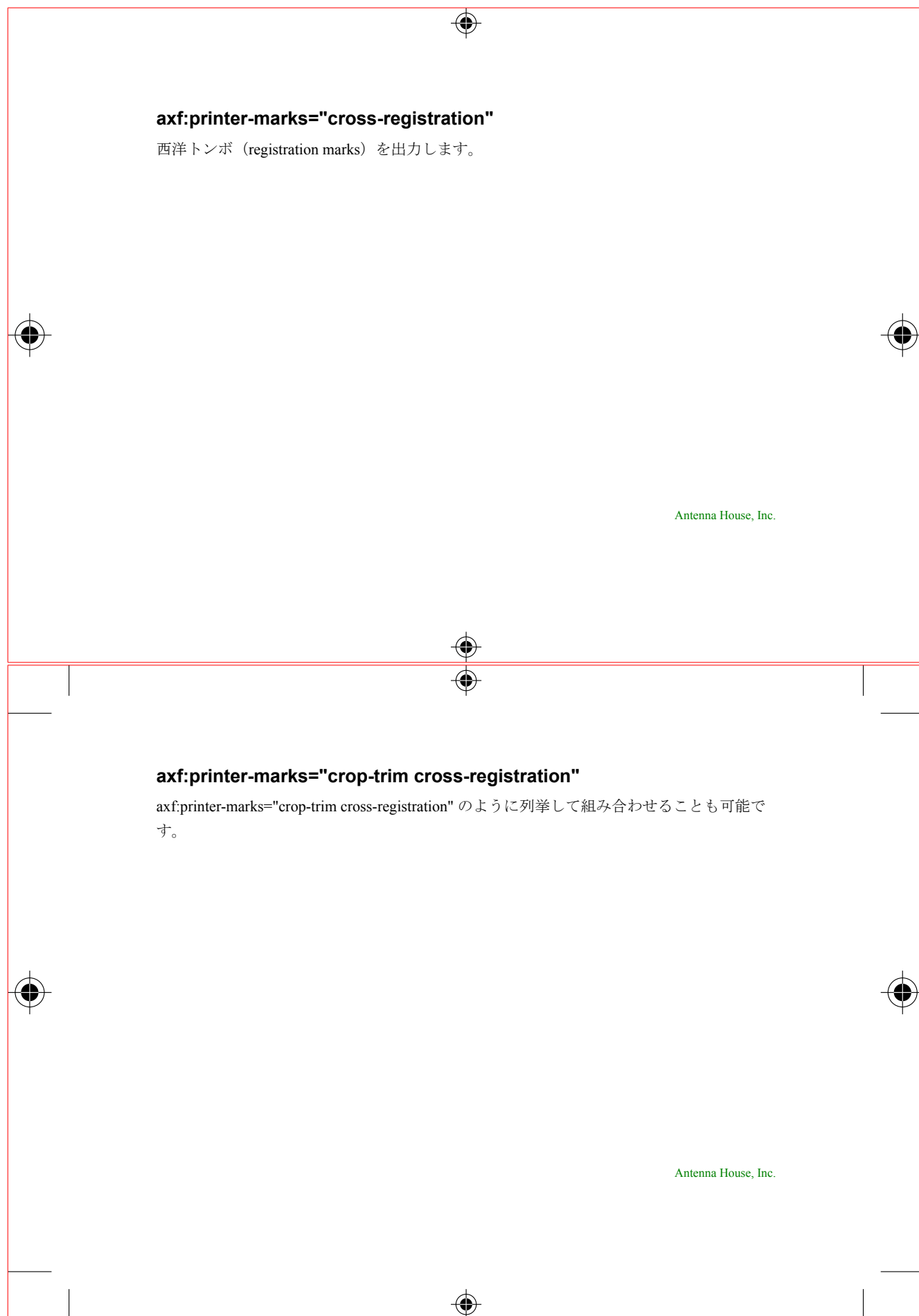
仕上がり寸法の位置にのみコーナートンボを出力します（内トンボ）。

Antenna House, Inc.

### axf:printer-marks="cross-circle"

十字のセンタートンボに円を付けて出力します。

Antenna House, Inc.



## オーバープリント

`axf:overprint` の設定によりオーバープリントを指定できます。オーバープリントは文字や図形などオブジェクトの色が重なって配置された場合に上下のオブジェクトの色を重ねて印刷する状態のことです。`axf:overprint` で設定できる値は、"`<color>`" : オーバープリントを適用するカラーを指定、"`k100`" : `rgb-icc(#CMYK,0,0,0,1)` に適用、"`separation`" : `rgb-icc(#Separation)` で示されるセパレーションカラーに適用、"`all`" : すべてのカラーに適用、"`stroke`" : 線の描画に対して適用、"`paint`" : 塗りの描画に対して適用などがあります。詳しい機能、制限などはオンラインマニュアルの「[axf:overprint](#)」をご参照ください。

### `axf:overprint` が指定されているサンプル

左側は、文字の色に `rgb-icc(#CMYK, 0, 0, 0, 1.0)`、`axf:overprint="k100"` 指定がされています。右側は重なって手前に表示されているオブジェクト（カラー、`rgb-icc(#CMYK, 1.0, 0, 0, 0)`）に `axf:overprint="rgb-icc(#CMYK, 1.0, 0, 0, 0)"` を指定しています。



### `axf:overprint` を指定していないサンプル



### オーバープリント設定による差異

次の画像は Adobe Acrobat の色分解プレビューで各サンプルの左側の文字、右側の重なって手前に表示されているオブジェクトの色を非表示にしたものです。オーバープリントの設定では色を重ねて出力するため、文字や手前のオブジェクトの色を非表示にしても奥のオブジェクトの色が保持されます。

#### `axf:overprint` が指定されているサンプル



#### `axf:overprint` を指定していないサンプル



## グラフィックスの表示

`fo:external-graphic` 指定で外部ファイルとして存在するグラフィックスを読み込ませることができます。  
`content-width`、`content-height` で読み込ませたグラフィックスの幅、高さを指定します。AH Formatter では  
BMP、JPEG、JPEG2000、PNG、TIFF、GIF、WMF、EMF、EPS、SVG、MathML、CGM の読み込みをサポートしています。

### `content-width`、`content-height` の指定なし



### `content-width="5.0cm"` `content-height="3.5cm"`



グラフィックスを読み込ませた `fo:block` 内の配置を `display-align`、`text-align` で調整できます。次のサンプルでは  
`display-align="center"` `text-align="center"` 指定で中央に配置しています。



## 描画領域へグラフィックスを自動調整

描画領域の幅や高さが、読み込ませるグラフィックスの幅や高さ異なる場合に描画領域に入るようにグラフィックスを拡大、縮小できます。幅に合わせるのであれば `content-width="scale-to-fit"`、または `content-width="scale-down-to-fit"` 指定で描画領域に入るようにグラフィックスを縮小、`content-width="scale-to-fit"`、または `content-width="scale-up-to-fit"` 指定で描画領域に入るようにグラフィックスを拡大します。高さに合わせるのであれば `content-height` へ指定します。

### content-width 指定なし



### width="4cm" height="3cm" content-width="scale-to-fit"



### width="10cm" height="8cm" content-width="scale-to-fit"



**width="4cm" height="3cm" content-width="scale-down-to-fit"**

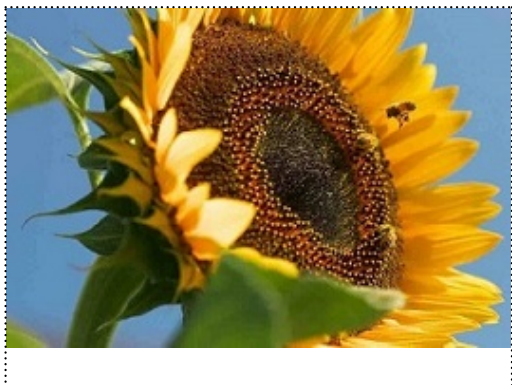


**width="8cm" height="6cm" content-width="scale-down-to-fit"**

描画領域より、グラフィックスが小さい場合はオリジナルサイズにて表示されます。

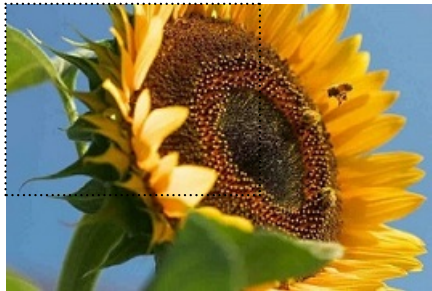


**width="8cm" height="6cm" content-width="scale-up-to-fit"**



**width="4cm" height="3cm" content-width="scale-up-to-fit"**

描画領域より、グラフィックスが大きい場合はオリジナルサイズにて表示されます。



## 画像のスケーリング値を段階的に指定

`allowed-height-scale` と `allowed-width-scale` により画像の高さと幅のスケーリングの値を段階的に指定できます。指定する値は、許容されるスケール値に対するパーセンテージのリストの列挙、またはスケール値に対する制約を指定しないための `any` です。画像を表示させるエリアの大きさを評価し、リストから最適なパーセント値で画像をスケーリングし表示させます。`any` は最後に考慮されリストした値のいずれを使用しても制約を満たすことができない場合に使用されます。

ラスト画像のスケーリングを制御することで、任意の縮尺でレンダリングされないようにすることができます。`fo:scaling-value-citation` を使い対象画像のスケーリング値を表示できます。

### `content-width` 指定なし



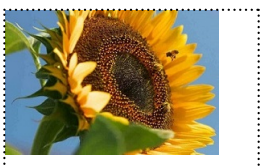
Scaling value: 100%

`width="4cm" height="2.5cm" content-height="scale-to-fit"`



Scaling value: 55%

`allowed-height-scale="25% 50% 75% 100%" width="4cm" height="2.5cm" content-height="scale-to-fit"`



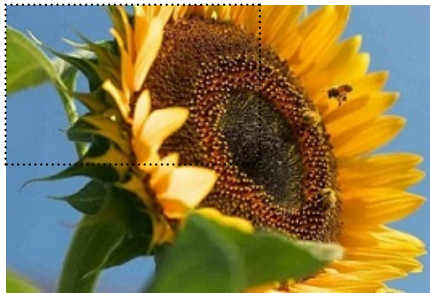
Scaling value: 50%

**allowed-width-scale="100% 75% 25% 50%" max-width="4cm" max-height="2.5cm"**  
**content-width="scale-to-fit"**



Scaling value: 50%

**allowed-width-scale="100% 75%" allowed-height-scale="100% 75%" width="4cm"**  
**height="2.5cm" content-width="scale-to-fit" content-height="scale-to-fit"**



Scaling value: 100%

**allowed-width-scale="100% 75% any" allowed-height-scale="100% 75% any"**  
**width="4cm" height="2.5cm" content-width="scale-to-fit" content-height="scale-to-fit"**



Scaling value: 55%



## XSL-FO に直接グラフィックスを埋め込む

PNG や JPEG などのバイナリ形式のグラフィックスファイルは、data スキーム ([RFC2397](#)) を使用して base64 にエンコードすることで、外部ファイルを用意することなく直接 XSL-FO 中に埋め込みます。data スキームは fo:external-graphic の src プロパティや、fo:simple-page-master の axf:background-image プロパティに指定でき、例えば <fo:external-graphic src="data:image/png;base64,iVBORw0K..."> のようになります。data スキーム中にメディアタイプ (content-type) を指定する必要はありませんが、指定してある場合は、それを仮定します。グラフィックス形式は常にデータから決定され、指定したメディアタイプが競合する場合はエラーが発生します。data スキームの使用については、オンラインマニュアルの「[グラフィックス](#)」を参照してください。(data スキームは、「[AH Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」を使用してバーコードを生成するときにも使用されます。)

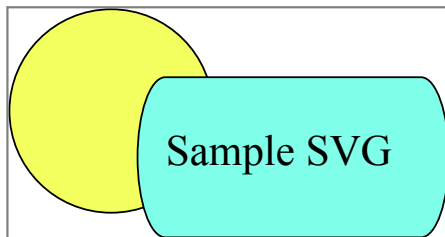


Antenna House, Inc.

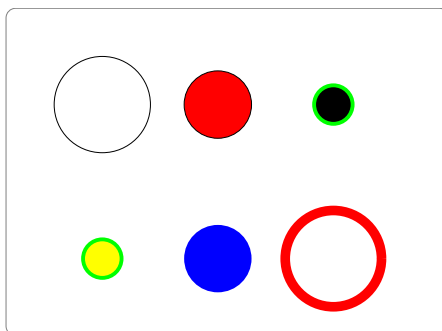
## グラフィックス SVG の表示

AH Formatter は、[Scalable Vector Graphics \(SVG\) 1.1](#) に対応しています。独自開発したエンジンにより描画するため、PDF へのイメージを高い解像度で描画できます。SVG 画像の処理には、「[AH Formatter SVG 出力オプション](#)」をご購入していただく必要があります。

外部グラフィックス SVG を読み込み表示させた例



FO 中に、SVG を直接記述できます。記述は、<fo:instream-foreign-object> を利用します。次の SVG は、FO 内へ記述した結果です。



### SVG 記述例

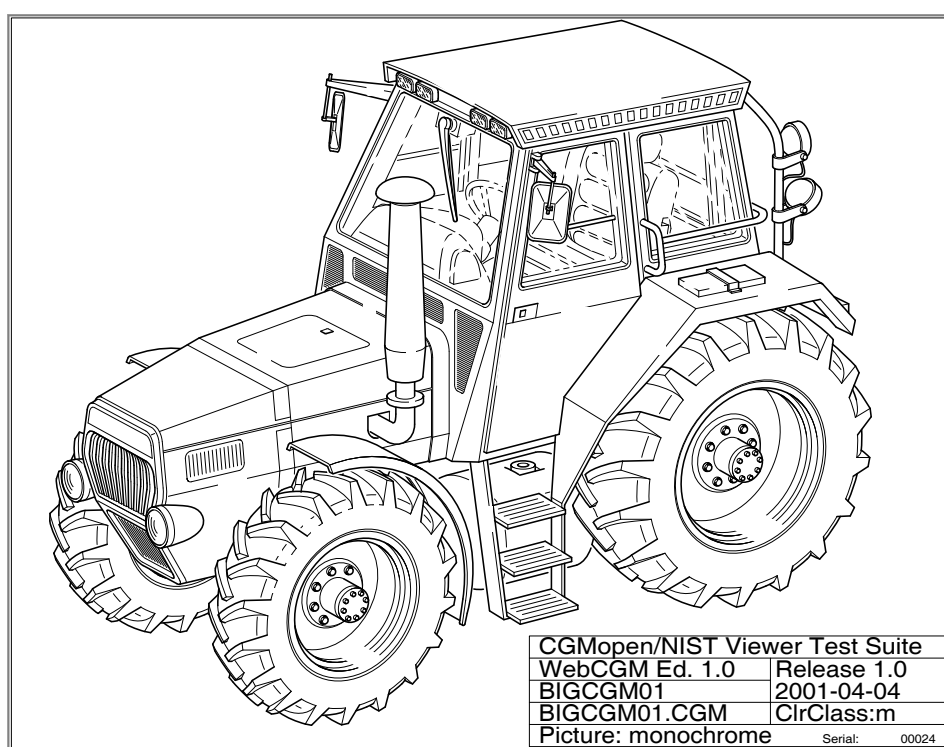
```
<fo:instream-foreign-object
  width="85mm" height="60mm"
  content-width="80mm" content-height="55mm"
  display-align="center" text-align="center">
  <svg version="1.1" xmlns="http://www.w3.org/2000/svg" viewBox="0 0 480 360">
    <rect x="0" y="0" width="460" height="340" rx="10" ry="10" fill="none" stroke="gray"/>
    <circle cx="100" cy="100" r="50" fill="none" stroke="black"/>
    <circle cx="220" cy="100" r="35" fill="red" stroke="black"/>
    <circle cx="340" cy="100" r="20" fill="black" stroke="lime" stroke-width="4"/>
    <circle cx="100" cy="260" r="20" stroke="lime" fill="yellow" stroke-width="4"/>
    <circle cx="220" cy="260" r="35" stroke="none" fill="blue"/>
    <circle cx="340" cy="260" r="50" stroke="red" fill="none" stroke-width="10"/>
  </svg>
</fo:instream-foreign-object>
```

## グラフィクス CGM の表示

AH Formatter は、ISO/IEC 8632 で定められている Computer Graphics Metafile (CGM) に対応しています。CGM 画像はベクタ画像として出力されるため画質の劣化は発生しません。また AH Formatter V6.4 において描画エンジンを完全に書き替え、これまで以上に多くの要素へ対応いたしました。2 ページ目では V6.4 における描画の一部を V6.3 と比較しています。CGM の描画機能はオプションです。CGM を描画するには、「[AH Formatter CGM オプション](#)」をご購入していただく必要があります。

本サンプルの CGM 画像は W3C の WebCGM Test Suite から引用しています。

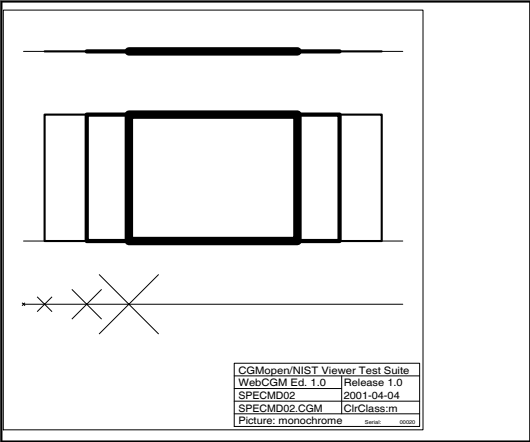
引用元： [WebCGM 2.1 Test Suite](#). "Copyright © 2002-2006, Lofton Henderson. All Rights Reserved."



From WebCGM 2.1 Test Suite BIGCGM01.cgm.

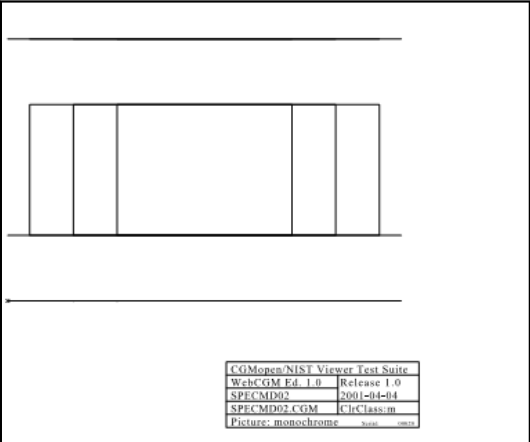
線種の描画

AH Formatter V6.4



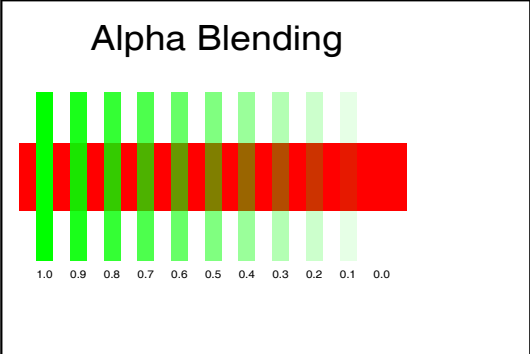
From WebCGM 2.1 Test Suite SPECMD02.cgm.

AH Formatter V6.3



透過の描画

AH Formatter V6.4



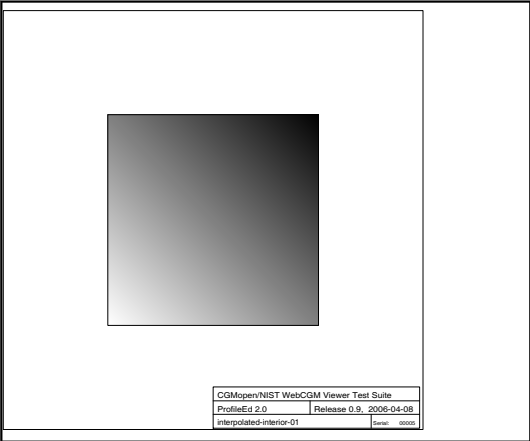
From WebCGM 2.1 Test Suite alphaEscape.cgm.

AH Formatter V6.3



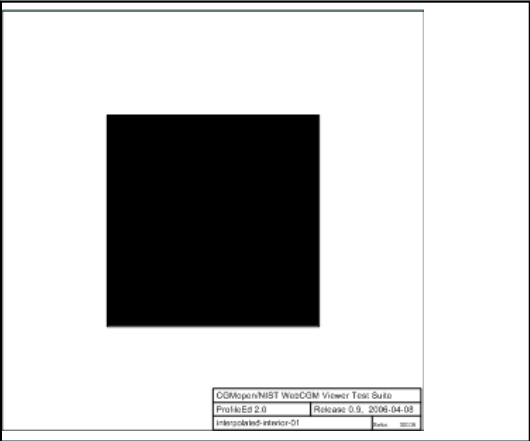
グラデーションの描画

AH Formatter V6.4



From WebCGM 2.1 Test Suite interpolated-interior-01.cgm.

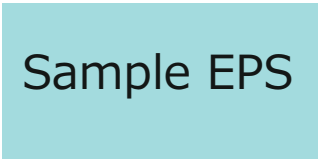
AH Formatter V6.3



## グラフィックス EPS の表示

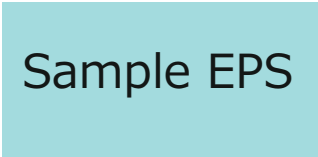
AH Formatter は、Encapsulated PostScript (EPS) に対応しています。EPS に表示イメージがあるとき、そのイメージを出力します。表示イメージが存在しない場合は、代替画像に置き換えられます。ただし、Adobe Distiller や PS プリンタへの出力は表示イメージではなく、EPS 中の PostScript プログラムを出力します。EPS を PDF へ出力するとき、オプション設定ファイル EPS-processor の設定により、Adobe Distiller や Ghostscript がインストールされている環境では、それらを利用できます。そのとき、EPS を PDF として PDF へ埋め込みます。

表示イメージがある EPS



Sample EPS

表示イメージがない EPS



Sample EPS

表示イメージがある EPS



表示イメージがない EPS



オプション設定ファイル EPS-processor を設定せず出力した表示イメージがある EPS とない EPS の例

また、FO 中に EPS コードを直接記述できます。Adobe Distiller など、EPS コードをそのまま PDF に埋め込むことができます。EPS コードの記述は、`<fo:instream-foreign-object>` を利用します。次の EPS は、右側のカラム内の EPS コードを FO 内に記述した結果です。



EPS コード

```
<fo:instream-foreign-object>
<![CDATA[%!PS-Adobe-3.0 EPSF-3.0
%%BoundingBox: 0 0 84 43
%%Pages: 0
%%Creator: Antenna House
%%Title: Green Rounded Box
%%CreationDate: 10 Feb 2003
%%LanguageLevel: 2
%%EndComments
%%BeginProlog
%%EndProlog
%%BeginSetup
%%EndSetup
%%Page: 1 1
%%BeginPageSetup
%%EndPageSetup
0 128 0 setrgbcolor
0.1 setlinewidth
newpath
0 5 moveto
0 43 84 43 5 arct
84 43 84 0 5 arct
84 0 0 0 5 arct
0 0 0 43 5 arct
closepath
gsave
stroke
grestore
fill
%%PageTrailer
%%Trailer
%%EOF
]]>
</fo:instream-foreign-object>
```

# MathML による数式描画

AH Formatter は、独自開発した「AH Formatter MathML 描画エンジン」により、W3C による「[Mathematical Markup Language \(MathML\) Version 3.0](#)」を描画します。本サンプルは AH Formatter V6.6 以降で組版してください。

## Elementary Math #1

$$\begin{array}{r} 123 \\ \times 321 \\ \hline 123 \\ 246 \\ 369 \\ \hline \end{array}$$

## Elementary Math #2

$$\begin{array}{r} \phantom{3} \phantom{2} \phantom{5} \\ 2 \overline{) 1306} \\ \underline{12} \phantom{0} \\ \phantom{1} 10 \\ \phantom{1} \underline{9} \phantom{0} \\ \phantom{1} \phantom{9} 16 \\ \phantom{1} \phantom{9} \underline{15} \\ \phantom{1} \phantom{9} \phantom{15} 10 \\ \phantom{1} \phantom{9} \phantom{15} \underline{9} \\ \phantom{1} \phantom{9} \phantom{15} \phantom{9} 1 \end{array}$$

## Simultaneous Equations

$$\begin{aligned} 8.44x + 55y &= 0 \\ 3.1x - 0.7y &= -1.1 \end{aligned}$$

## Quadratic Formula

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

## Standard Deviation

$$\sigma = \sqrt{\frac{1}{N} \sum_{i=1}^N (x_i - \mu)^2}$$

## Divergence

$$\nabla \cdot \vec{v} = \frac{\partial v_x}{\partial x} + \frac{\partial v_y}{\partial y} + \frac{\partial v_z}{\partial z}$$

### Complex Number

$$c = \overbrace{\frac{a}{\text{real}} + \frac{b\textit{i}}{\text{imaginary}}}^{\text{complex number}}$$

### De Morgan' s Laws <sup>(1)</sup>

$$\overline{\bigcup_{i \in I} A_i} \equiv \bigcap_{i \in I} \overline{A_i}$$

### Binomial Coefficient

$$C(n,k) = C_k^n = {}_nC_k = \binom{n}{k} = \frac{n!}{k!(n-k)!}$$

### Bernoulli Trials

$$P(k) = \binom{n}{k} p^k (1-p)^{n-k}$$

### Normal Distribution

$$f(x,\mu,\sigma) = \frac{e^{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}}}{\sigma\sqrt{2\pi}}$$

### Lorenz Equations

$$\begin{aligned}\dot{x} &= \sigma(y-x) \\ \dot{y} &= \rho x - y - xz \\ \dot{z} &= -\beta z + xy\end{aligned}$$

### Cross Product

$$\boldsymbol{V}_1 \times \boldsymbol{V}_2 = \begin{vmatrix} \boldsymbol{i} & \boldsymbol{j} & \boldsymbol{k} \\ \frac{\partial X}{\partial u} & \frac{\partial Y}{\partial u} & 0 \\ \frac{\partial X}{\partial v} & \frac{\partial Y}{\partial v} & 0 \end{vmatrix}$$

### Axiom of Power Set

$$\forall A \exists P \forall B [B \in P \iff \forall C (C \in B \Rightarrow C \in A)]$$

<sup>(1)</sup> AH Formatter V6.6 以降で OpenType の MATH フィーチャの機能が有効な場合、U+22C3 "∪" などの文字が下寄りに描画されることがあります。これは MATH フィーチャを含む一部の OpenType フォントが U+22C3 などの文字に対して largeop 用のグリフを用意しているためです。AH Formatter の[オプション設定ファイル](#)の [exceptOpenTypeMATHVariants](#) に対して "U+22C0-22C3" のように指定するとベースラインに揃えて描画できます。

### Cauchy' s Integral Formula

$$f(a) = \frac{1}{2\pi i} \oint_{\gamma} \frac{f(z)}{z-a} dz$$

### Einstein' s Field Equations

$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R + g_{\mu\nu}\Lambda = \frac{8\pi G}{c^4}T_{\mu\nu}$$

### Legendre' s Differential Equation

$$\frac{d}{dx}\left[(1-x^2)\frac{d}{dx}P_n(x)\right] + n(n+1)P_n(x) = 0$$

### Sophomore' s Dream

$$\int_0^1 x^x dx = \sum_{n=1}^{\infty} (-1)^{n+1} n^{-n} = - \sum_{n=1}^{\infty} (-n)^{-n}$$

### Maxwell' s Equations

$$\left\{ \begin{array}{l} \nabla \times \overleftarrow{\mathbf{B}} - \frac{1}{c} \frac{\partial \overleftarrow{\mathbf{E}}}{\partial t} = \frac{4\pi}{c} \overleftarrow{\mathbf{j}} \\ \nabla \cdot \overleftarrow{\mathbf{E}} = 4\pi\rho \\ \nabla \times \overleftarrow{\mathbf{E}} + \frac{1}{c} \frac{\partial \overleftarrow{\mathbf{B}}}{\partial t} = \overleftarrow{\mathbf{0}} \\ \nabla \cdot \overleftarrow{\mathbf{B}} = 0 \end{array} \right.$$

### Schwinger-Dyson Equation

$$\left\langle \psi \left| \mathcal{T} \left\{ \frac{\delta}{\delta \phi} F[\phi] \right\} \right| \psi \right\rangle = -i \left\langle \psi \left| \mathcal{T} \left\{ F[\phi] \frac{\delta}{\delta \phi} S[\phi] \right\} \right| \psi \right\rangle$$

### Ramanujan Identity

$$\frac{1}{(\sqrt{\phi}\sqrt{5}-\phi)e^{\frac{25}{\pi}}} = 1 + \frac{e^{-2\pi}}{1 + \frac{e^{-4\pi}}{1 + \frac{e^{-6\pi}}{1 + \frac{e^{-8\pi}}{1 + \dots}}}}$$

### Rogers-Ramanujan Identity

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{q^{n^2}}{(q)_{\infty}} = \frac{1}{\prod_{n=1}^{\infty} (1-q^{5n-4})(1-q^{5n-1})} \quad , \quad \text{for } |q| < 1$$

$$= 1 + q + q^2 + q^3 + 2q^4 + 2q^5 + 3q^6 + \cdots$$



Moore Determinant

$$M=\begin{bmatrix}\alpha_1&\alpha_1^q&\ldots&\alpha_1^{q^{n-1}}\\ \alpha_2&\alpha_2^q&\ldots&\alpha_2^{q^{n-1}}\\ \vdots&\vdots&\ddots&\vdots\\ \alpha_m&\alpha_m^q&\ldots&\alpha_m^{q^{n-1}}\end{bmatrix}$$

Differentiable Manifold

$$\gamma_1\equiv\gamma_2\Longleftrightarrow\begin{cases}\gamma_1(0)=\gamma_2(0)=p,\text{ and}\\ \left.\frac{d}{dt}\phi\circ\gamma_1(t)\right|_{t=0}=\left.\frac{d}{dt}\phi\circ\gamma_2(t)\right|_{t=0}\end{cases}$$

Sphere Volume

Spherical coordinates derivation of the volume of a sphere  $(\frac{4}{3}\pi R^3)$ . The formula  $S$  for a sphere of radius  $R$  in spherical coordinates is:  $S=\{0\leq\phi\leq2\pi,0\leq\theta\leq\pi,0\leq\rho\leq R\}$

$$\begin{aligned}\text{Volume}&= \iiint_S \rho^2 \sin \theta \, d\rho \, d\theta \, d\phi \\ &= \int_0^{2\pi} d\phi \int_0^\pi \sin \theta \, d\theta \int_0^R \rho^2 \, d\rho \\ &= \phi \bigg|_0^{2\pi} (-\cos \theta) \bigg|_0^\pi \frac{1}{3} \rho^3 \bigg|_0^R \\ &= 2\pi \times 2 \times \frac{1}{3} R^3 \\ &= \frac{4}{3} \pi R^3\end{aligned}$$

Cichoń’ s Diagram

$$\begin{array}{ccccccc} \mathrm{cov}\,(\mathcal{L}) & \longrightarrow & \mathrm{non}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cof}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cof}\,(\mathcal{L}) \longrightarrow 2^{\aleph_0} \\ & \uparrow & \uparrow & & \uparrow & & \uparrow \\ & & \mathfrak{b} & \longrightarrow & \mathfrak{d} & & \\ & & \uparrow & & \uparrow & & \\ \aleph_1 & \longrightarrow & \mathrm{add}\,(\mathcal{L}) & \longrightarrow & \mathrm{add}\,(\mathcal{K}) & \longrightarrow & \mathrm{cov}\,(\mathcal{K}) \longrightarrow \mathrm{non}\,(\mathcal{L}) \end{array}$$

Multiscripts & Greek Alphabet

$$\begin{array}{c} \kappa \mathfrak{E}_{\mu}^{\lambda} \\ \zeta_{\varepsilon} \mathfrak{B}_{\theta}^{\eta} \prod_{\alpha}^{\beta} \mathfrak{A}_{\delta}^{\gamma} \prod_{\rho}^{\xi} \mathfrak{D}_{\sigma}^{\omicron} \mathfrak{E}_{\nu}^{\tau} \\ \chi_{\phi} \mathfrak{F}_{\omega}^{\psi} \end{array}$$

Stacked Exponents

$$g(z) = e^{-\sum_{i=0}^{\infty} z^{\frac{2}{a-i}}}$$

Nested Roots

$$\frac{\sqrt{1+\sqrt[3]{2+\sqrt[5]{3+\sqrt[7]{4+\sqrt[11]{5+\sqrt[13]{6+\sqrt[17]{7+\sqrt[19]{A}}}}}}}}}{e^{\pi}} = x'''$$

Nested Matrices

$$\left(\begin{pmatrix} a_1 & a_2 & a_3 & a_4 \\ a_5 & a_6 & a_7 & a_8 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \\ b_4 \end{pmatrix} \right)$$
$$\begin{matrix} & 0 & \begin{pmatrix} c_1 & c_2 \\ c_3 & c_4 \end{pmatrix} \end{matrix}$$

Font Sizes

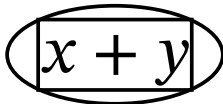
scriptlevel:  $\text{--}\text{3}, \text{--}2, \text{--}1, 0, 1, 2, 3$

## MathML の menclose の楕円、擬似スクリプト

MathML の `menclose notation="circle"` で描画される楕円を境界矩形に内接させるか外接させるかの指定、擬似スクリプト (MathML 仕様書 [7.7.2 Pseudo-scripts](#)) の描画処理を指定できます。指定は AH Formatter のオプション設定ファイルで行い、`menclose notation="circle"` の楕円は "encloseCircle"、擬似スクリプトは "pseudoScripts" で制御します。既定値と設定ファイルを反映させた描画の差異は各サンプルの下にある画像をご覧ください。`menclose notation="circle"` で描画される楕円の指定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。

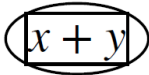
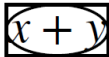
### `menclose notation="circle"` で描画される楕円の指定

"encloseCircle" の指定で描画される楕円が境界線に inscribed (既定値) で内接、circumscribed で外接します。外接楕円は内接楕円の相似形となります。



encloseCircle="inscribed" (既定値)

encloseCircle="circumscribed"



### 擬似スクリプトの指定

"pseudoScripts" で true (既定値) を指定すると、msup などの上付き文字に対してその文字列がすべて上付き擬似スクリプト文字のときに、スクリプトレベルを変化させずベースラインも変化させません。msub などの下付き文字に対しても同様です。

$$(x', y')(X', Y')$$

$$f'(x) = f'(x)$$

$$(x_+, y_+)(X_+, Y_+)$$

pseudoScripts="true" (既定値)

pseudoScripts="false"

$$(x', y')(X', Y') \quad (x', y')(X', Y')$$

$$f'(x) = f'(x) \quad f'(x) = f'(x)$$

$$(x_+, y_+)(X_+, Y_+) \quad (x_+, y_+)(X_+, Y_+)$$

## SVG を使用した「すかし」

background-image へ SVG を指定して「すかし」を表現できます。このサンプルでは本文部分 region-body へ「すかし」が入るように指定しています。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Integer egestas, est et bibendum consequat, tortor mi sagittis odio, id adipiscing dui lorem ultricies velit. Nullam eu lacus sed elit mollis elementum. Nullam dolor lacus, pellentesque eget, adipiscing id, bibendum in, velit. Nullam purus. In porttitor, dui eget placerat pretium, mauris arcu ultrices nisl, quis mattis nisi turpis in velit. Cras et tellus quis nulla ultricies tristique. Ut at lacus at nibh cursus vestibulum. Praesent nec dui. Mauris bibendum, arcu eget aliquam imperdiet, arcu neque hendrerit sapien, in vulputate ipsum massa ut augue. Nulla at urna in diam posuere condimentum. Mauris ultricies facilisis tortor. Nunc bibendum condimentum nisl. Vivamus vehicula malesuada leo. Pellentesque eu nunc ac lectus viverra pretium. Nunc nibh purus, adipiscing et, vehicula vel, feugiat nec, elit. Praesent nisi. Sed tincidunt. Aliquam erat volutpat. Aenean lacus. Suspendisse id ligula. Nulla facilisi. Sed et orci. Curabitur imperdiet odio non nisl. Sed mauris ante, laoreet eget, egestas ac, bibendum quis, quam. Nullam tincidunt vulputate leo. Cras orci purus, eleifend et, aliquet sed, tempor id, neque. Nam vulputate, tortor a congue pulvinar, pede lacus ornare erat, vel euismod felis tortor eu libero. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos. Nulla convallis. In ac neque vel dolor tempor pretium. Aliquam mattis volutpat nibh. Etiam nibh eros, facilisis a, consectetur vel, tincidunt nonummy, odio.

Phasellus sollicitudin facilisis ligula. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos hymenaeos. Phasellus erat purus, rhoncus et, dictum a, sodales a, odio. Sed et augue. Nulla purus elit, luctus vitae, sollicitudin non, fringilla quis, nisl. Praesent id ipsum in ipsum consequat pharetra. Nullam et quam. Praesent elit arcu, sollicitudin in, sodales non, tempor sed, pede. Phasellus eget felis. Nulla elit dolor, nonummy nec, pretium at, fermentum a, turpis. Duis facilisis faucibus orci. Nullam felis. In hac habitasse platea dictumst. Nullam pulvinar. Cras mauris lorem, rhoncus

Antenna House, Inc.

nonummy, faucibus sit amet, iaculis a, quam. Pellentesque malesuada justo faucibus augue. Curabitur volutpat pharetra orci. Nulla facilisi. Proin justo neque, volutpat quis, tempus tristique, molestie vitae, est. Proin venenatis mauris in eros. Donec imperdiet convallis risus. Nulla facilisi. Quisque dolor. Aenean elementum, dolor dapibus commodo iaculis, diam quam rutrum odio, at laoreet augue quam sagittis nisi. Cras euismod condimentum lorem. Quisque sollicitudin pellentesque est. Curabitur malesuada neque. Phasellus tellus sapien, viverra a, porta eget, tincidunt a, nisi.

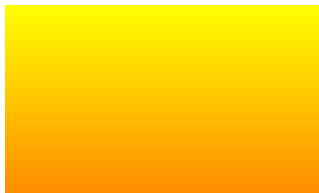
## グラデーション

`background-image` への値指定によりグラデーションを表現できます。表現可能な種類としては、線形グラデーション "`linear-gradient()`"、円形グラデーション "`radial-gradient()`"、繰り返し線形グラデーション "`repeating-linear-gradient()`"、繰り返し円形グラデーション "`repeating-radial-gradient()`" があります。グラデーションの向き、色の割合や形状などを指定できます。

### 線形グラデーションの表現例

線形グラデーションは、`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow)"` のように指定します。値は順にグラデーションの向き、色の指定となります。角度はキーワード `to top` (0deg)、`to right` (90deg)、`to bottom` (180deg)、`to left` (270deg) でも指定できます。

`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow)"`



`background-image="linear-gradient(to right, darkorange, yellow)"`



`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange, yellow, darkorange)"`



`background-image="linear-gradient(0deg, darkorange 50%, yellow)"`

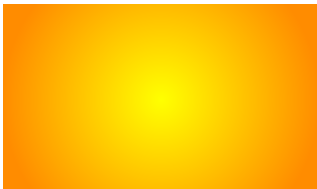
`darkorange 50%` のように指定してグラデーションの割合を指定できます。



## 円形グラデーションの表現例

円形グラデーションは、`background-image="radial-gradient(circle 100% at center, yellow, darkorange)"` のように指定します。値は順にグラデーションの形状と大きさ、円形の中心位置、色の指定となります。

`background-image="radial-gradient(circle 100% at center, yellow, darkorange)"`



`background-image="radial-gradient(yellow, darkorange)"`



`background-image="radial-gradient(yellow, darkorange, yellow)"`



`background-image="radial-gradient(circle at top left, yellow, darkorange)"`

グラデーションの円形の中心位置を左上"top left"に指定した例です。



`background-image="radial-gradient(closest-side at 30px 30px, yellow, darkorange)"`

グラデーションの大きさ指定、closest-side、farthest-side、closest-corner、farthest-corner と位置を数値指定で組み合わせて次のサンプルのようにも表現できます。



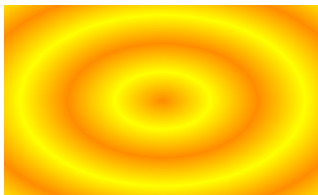
### 繰返し線形グラデーションと繰返し円形グラデーションの表現例

繰返し線形グラデーション（repeating-linear-gradient）と繰返し円形グラデーション（repeating-radial-gradient）は、background-image の値として指定できます。指定方法自体は、線形グラデーションと円形グラデーションと同じです。

background-image="repeating-linear-gradient(darkorange, yellow 20%, darkorange 40%)"



background-image="repeating-radial-gradient(darkorange, yellow 20%, darkorange 40%)"



background-image="repeating-radial-gradient(circle closest-side at 30px 30px, darkorange, yellow, darkorange)"





# バーコード

このサンプルは AH Formatter のバーコードジェネレータオプションを使用して、文書中に画像として直接バーコードを埋め込んだ例です。バーコードフォントを使用せず、バーコードの画像 (png または svg) を生成して埋め込みます。Barcode Type : Data Matrix、PDF417 は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。バーコードジェネレータオプションを利用するには、「[AH Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」をご購入していただく必要があります。

## Barcode Type : QR

Set Data

Barcode

〒 103-0004 東京都中央区東日本橋 2 丁目 1 番 6 号 東  
日本橋藤和ビル 5 階 アンテナハウス株式会社  
<https://www.antenna.co.jp/AHF/>



## Barcode Type : MicroQR

Set Data

Barcode

AH Formatter



## Barcode Type : Data Matrix

Set Data

Barcode

AH Formatter



## Barcode Type : PDF417

Set Data

Barcode

<https://www.antenna.co.jp/AHF/>



## Barcode Type : 日本郵便カスタムバーコード

Set Data

Barcode

1030004



## Barcode Type : Intelligent Mail® Barcode

Set Data

Barcode

01234567094987654321



Barcode Type : POSTNET

Set Data

555551237

Barcode



Barcode Type : EAN / JAN

Set Data

4901234567894

Barcode



Barcode Type : UPC (UPC-A, UPC-E)

Set Data

01234567899

Barcode



Barcode Type : Interleaved 2of5 (ITF)

Set Data

1234567890

Barcode



Barcode Type : Codabar / NW-7

Set Data

A37859+B

Barcode



Barcode Type : Code39

Set Data

01234Sample56789

Barcode

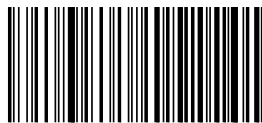


Barcode Type : Code128

Set Data

Barcode

antenna9021



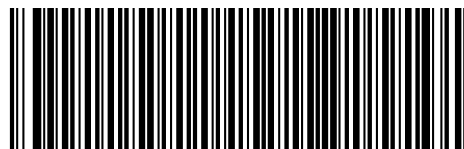
antenna9021

Barcode Type : GS1-128 / EAN-128

Set Data

Barcode

&#xc6;0114912345678901



(01)14912345678901

## バーコードの色とサイズ

バーコードの色は、data スキームのパラメータ color で指定ができます。color には transparent 以外の任意の色を指定できますが、出力形式が PNG では RGB に変換されます。バーコードの表示サイズは fo:external-graphic 要素内に content-height や content-width で指定できます。ただし、縦横比の変更や、小さなサイズにすると読み取れなくなる可能性がありますのでご注意ください。バーコードの色の設定は AH Formatter V6.3 から利用いただけます。バーコードを生成するためのバーコードジェネレータオプションを利用するには、「[AH Formatter バーコードジェネレータオプション](#)」をご購入していただく必要があります。

### バーコードの色

color 指定なし



color=red



color=#0000FF



color=rgb-icc(#Grayscale,0.5)



PNG, color=cmym(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



SVG, color=cmym(0.2, 0.4, 0.4, 0.2)



### バーコードのサイズ

content-height 指定なし



content-height="60mm"



content-height="10mm"



## rgb-icc によるグレイスケールの描画

`rgb-icc(#Grayscale, <Scale>)` または、`rgb-icc(<R>, <G>, <B>, #Grayscale, <Scale>)` 指定でグレイスケールを描画する例です。Scale は 0.0（黒）から 1.0（白）の範囲の数値、または 0%（黒）から 100%（白）の範囲のパーセンテージで指定します。R, G, B はデバイスがグレイスケールの色を表示できないときに使用されるフォールバック RGB カラーとして指定します。詳しくはオンラインマニュアルの「[rgb-icc\(\)](#)」をご参照ください。

### Scale を数値で指定

|                                       |     |                                                      |
|---------------------------------------|-----|------------------------------------------------------|
|                                       | 1.0 |                                                      |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.9)</code> | 0.9 | <code>rgb-icc(230, 230, 230, #Grayscale, 0.9)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.8)</code> | 0.8 | <code>rgb-icc(205, 205, 205, #Grayscale, 0.8)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.7)</code> | 0.7 | <code>rgb-icc(180, 180, 180, #Grayscale, 0.7)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.6)</code> | 0.6 | <code>rgb-icc(153, 153, 153, #Grayscale, 0.6)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.5)</code> | 0.5 | <code>rgb-icc(128, 128, 128, #Grayscale, 0.5)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.4)</code> | 0.4 | <code>rgb-icc(102, 102, 102, #Grayscale, 0.4)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.3)</code> | 0.3 | <code>rgb-icc(77, 77, 77, #Grayscale, 0.3)</code>    |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.2)</code> | 0.2 | <code>rgb-icc(51, 51, 51, #Grayscale, 0.2)</code>    |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.1)</code> | 0.1 | <code>rgb-icc(26, 26, 26, #Grayscale, 0.1)</code>    |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0.0)</code> | 0.0 | <code>rgb-icc(0, 0, 0, #Grayscale, 0.0)</code>       |

### Scale をパーセンテージで指定

|                                       |      |                                                      |
|---------------------------------------|------|------------------------------------------------------|
|                                       | 100% |                                                      |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 90%)</code> | 90%  | <code>rgb-icc(90%, 90%, 90%, #Grayscale, 90%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 80%)</code> | 80%  | <code>rgb-icc(80%, 80%, 80%, #Grayscale, 80%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 70%)</code> | 70%  | <code>rgb-icc(70%, 70%, 70%, #Grayscale, 70%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 60%)</code> | 60%  | <code>rgb-icc(60%, 60%, 60%, #Grayscale, 60%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 50%)</code> | 50%  | <code>rgb-icc(50%, 50%, 50%, #Grayscale, 50%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 40%)</code> | 40%  | <code>rgb-icc(40%, 40%, 40%, #Grayscale, 40%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 30%)</code> | 30%  | <code>rgb-icc(30%, 30%, 30%, #Grayscale, 30%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 20%)</code> | 20%  | <code>rgb-icc(20%, 20%, 20%, #Grayscale, 20%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 10%)</code> | 10%  | <code>rgb-icc(10%, 10%, 10%, #Grayscale, 10%)</code> |
| <code>rgb-icc(#Grayscale, 0%)</code>  | 0%   | <code>rgb-icc(0%, 0%, 0%, #Grayscale, 0%)</code>     |

## rgb-icc による CMYK の描画

rgb-icc(R,G,B,#CMYK,Value) 指定で CMYK 指定の色を描画する例です。CMYK 値に 0.0 - 1.0 または%値を設定します。

RGB の計算には以下の式を使用しています。

Red=1-minimum(1,Cyan\*(1-Black)+Black)

Green=1-minimum(1,Magenta\*(1-Black)+Black)

Blue=1-minimum(1,Yellow\*(1-Black)+Black)

rgb-icc(164,164,164,#CMYK,0.2, 0.2, 0.2, 0.2)

rgb-icc(123,123,123,#CMYK,0.2, 0.2, 0.2, 0.4)

rgb-icc(164,164,123,#CMYK,0.2, 0.2, 0.4, 0.2)

rgb-icc(164,123,164,#CMYK,0.2, 0.4, 0.2, 0.2)

rgb-icc(123,164,164,#CMYK,0.4, 0.2, 0.2, 0.2)

rgb-icc(123,123,92,#CMYK,0.2, 0.2, 0.4, 0.4)

rgb-icc(164,123,123,#CMYK,0.2, 0.4, 0.4, 0.2)

rgb-icc(123,123,164,#CMYK,0.4, 0.4, 0.2, 0.2)

rgb-icc(64%,64%,64%,#CMYK,20%,20%,20%,20%)

rgb-icc(48%,48%,48%,#CMYK,20%,20%,20%,40%)

rgb-icc(64%,64%,48%,#CMYK,20%,20%,40%,20%)

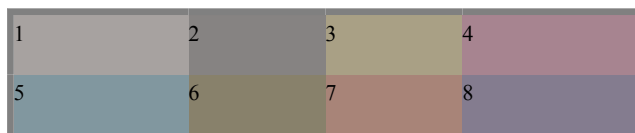
rgb-icc(64%,48%,64%,#CMYK,20%,40%,20%,20%)

rgb-icc(48%,64%,64%,#CMYK,40%,20%,20%,20%)

rgb-icc(48%,48%,36%,#CMYK,20%,20%,40%,40%)

rgb-icc(64%,48%,48%,#CMYK,20%,40%,40%,20%)

rgb-icc(48%,48%,64%,#CMYK,40%,40%,20%,20%)



## rgb-icc で PANTONE® スポットカラーを指定

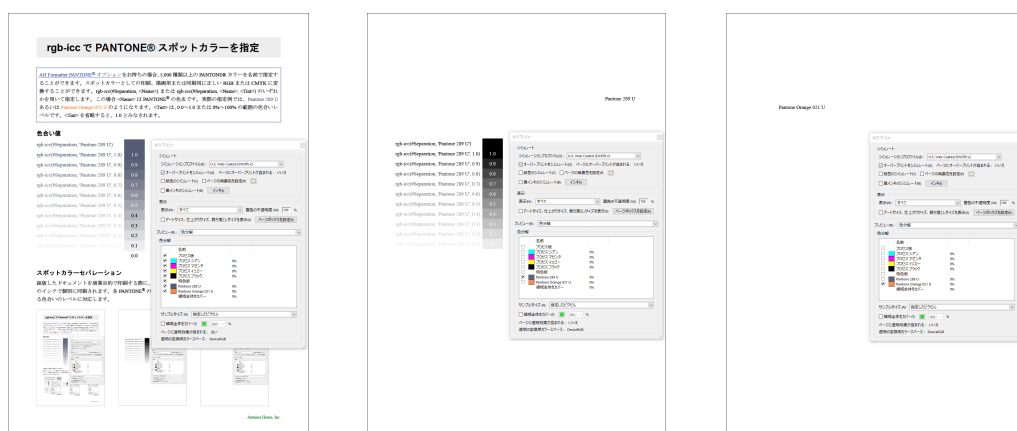
[AH Formatter PANTONE® オプション](#)を追加導入していただくことで、5,000 種類以上の PANTONE® カラーを名前で指定することができます。スポットカラーとしての印刷、描画用または印刷用に正しい RGB または CMYK に変換することができます。rgb-icc(#Separation, <Name>) または rgb-icc(#Separation, <Name>, <Tint>) のいずれかを用いて指定します。この場合 <Name> は PANTONE® の色名です。実際の指定例では、PANTONE 289 U あるいは **PANTONE Orange 021 U** のようになります。<Tint> は、0.0~1.0 または 0%~100% の範囲の色合いレベルです。<Tint> を省略すると 1.0 とみなされます。

### 色合い値

|                                            |     |
|--------------------------------------------|-----|
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U')      |     |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 1.0) | 1.0 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.9) | 0.9 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.8) | 0.8 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.7) | 0.7 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.6) | 0.6 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.5) | 0.5 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.4) | 0.4 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.3) | 0.3 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.2) | 0.2 |
| rgb-icc(#Separation, 'PANTONE 289 U', 0.1) | 0.1 |
|                                            | 0.0 |

### スポットカラーセパレーション

組版したドキュメントを商業目的で印刷する際に、各 PANTONE® カラーはその PANTONE® カラー用の特定のインクで個別に印刷されます。各 PANTONE® のセパレーションカラーのグレースケールレベルは適用する色合いのレベルに対応します。



Antenna House, Inc.

keep-together.within-\*= "always" による fo:table-row のオーバーフローを回避

表の fo:table-row などページで分割させず、ページに収まらなければ fo:table-row を改ページさせる指定として keep-together.within-page="always" があります。しかし、改ページされた fo:table-row が移動先のページに収まらない長さの場合、ページの下部からオーバーフローする現象が発生します。これは always がページで分割させるのを許さない値であるためです。このサンプルは keep-together によるオーバーフローを回避する方法を紹介します。なお、1 ページ内で keep-together 指定の表示のされ方を確認いただくため keep-together.within-page を、段組と keep-together.within-column へ置き換えて説明します。各段を 1 ページとしてご覧ください。

まず、2 ページ目の表は keep-together の指定がない例です。No.2 を含む fo:table-row が段で分割しますが、そのまま出力されます。次に 3 ページ目は各 fo:table-row へ keep-together で always を指定した表です。No.2 を含む fo:table-row が段で分割せず改段しますが、fo:table-row が移動先の 2 段目に収まらないためページの下部からオーバーフローします。

Antenna House, Inc.

keep-together 指定なし

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.1 | Item a Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique. |
| No.2 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie                                                                                      |

| No. | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.<br><br>Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. |

| No.  | Details                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|      | Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla.              |
| No.3 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. |

Antenna House, Inc.



**keep-together、always を指定**

fo:table-row 〜 keep-together.within-column="always" を指定しています。

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.1 | Item a Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique. |

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.2 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.<br><br>Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris eommodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus |

| No.  | Details                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| No.3 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. |

Antenna House, Inc.

**keep-together、integer（数値指定）について -1-（オーバーフロー回避）**

keep-together の always 指定では、3 ページ目のように改段後の fo:table-row がオーバーフローする場合があります。これを、XSL-FO の仕様 [7.20.3 "keep-together"](#) の integer（数値指定）に基づいた AH Formatter の実装によりオーバーフローしないようにできます。5 ページでは次のコードのように fo:table-row 〜 keep-together.within-column="1" を指定しオーバーフローを回避しています。

```
<fo:table-body>
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>
  ...
</fo:table-body>
```

keep-together 〜指定する数値は強度を表し大きいほど強くなり、指定の判定はページ、段、行のエリア中で行われます。なお、auto や指定なしでは keep-together の指定がないものとして扱われ、always は最強です。

AH Formatter による keep-together 数値指定の実装では、指定のある fo が生成するコンテンツが判定のエリア、例えばページに収まらない場合、keep-together 指定を効かせコンテンツを改ページします。そして、次の判定のエリアであるページにコンテンツが収まらない場合は、keep-together の指定に関わらずコンテンツをページで分割させます。よって、5 ページのサンプルでは keep-together.within-column="1" が指定されている No.2 を含む fo:table-row は 1 段目に収まらないため keep-together の指定により改段します。2 段目に送られた fo:table-row はページに収まりませんがページで分割されるためオーバーフローしません。

Antenna House, Inc.

keep-together、数値を指定

keep-together.within-column="1" を fo:table-row へ指定しています。

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                               |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.1 | Item a Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique. |

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.2 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra. Aenean ultricies molestie ante, sit amet ultricies nunc mollis id. Integer ut porttitor felis, vel tincidunt velit. Duis volutpat, quam quis aliquet tristique, nulla dui malesuada velit, et consectetur tellus ipsum et arcu.<br><br>Sed viverra metus quis nibh pulvinar, at dignissim nibh adipiscing. Duis sit |

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | amet ipsum non elit tincidunt sagittis ac non tortor. Mauris commodo, elit a imperdiet interdum, nulla velit viverra elit, at scelerisque urna est eget lacus. Integer eu lobortis neque. Donec malesuada sed arcu vitae fringilla. |
| No.3 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.                                                                                                                                                   |

Antenna House, Inc.

keep-together、integer（数値指定）について -2-

補足として keep-together の数値指定が次のコードのように複数指定されている場合を説明いたします。

```
<fo:table-body keep-together.within-column="2">  
  <fo:table-row keep-together.within-column="1"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
  <fo:table-row keep-together.within-column="2"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
  <fo:table-row keep-together.within-column="3"><fo:table-cell>...</fo:table-cell></fo:table-row>  
</fo:table-body>
```

fo に keep-together、数値 "N" が指定されており、さらにその子供の fo に keep-together、数値 "M" が指定されているケースにおいて、ふたつ目（以後）の子供が、その前の子供と同じ判定エリアであるページに入りきらないケースを想定します。このとき、数値指定による結果は次のようになります。

- ・ N≧M：数値 N が有効、ふたつ目の子供の fo は前の fo と同じページから始まりページで分割します。
- ・ N<M：数値 N が無効、ふたつ目の子供の fo の前で改ページします。

7 ページ目のサンプルは fo:table-body に keep-together.within-column="2" を指定、No.1、2、3 を含む fo:table-row へ順に keep-together.within-column="1"、"2"、"3" を指定しています。1 段目では、ふたつ目の No.2 を含む fo:table-row が 1 段目に収まりませんが、fo:table-body 数値"2"、fo:table-row 数値"1"、"2" で、fo:table-body≧fo:table-row となります。fo:table-body の keep-together が有効、No.1、2 の fo:table-row は同じ段から始まり、No.2 の fo:table-row は段で分割します。3 段目、No.3 を含む fo:table-row は fo:table-body 数値"2"、fo:table-row 数値"3" となり、fo:table-body<fo:table-row です。fo:table-body の keep-together は無効、No.3 の fo:table-row の前で改段されます。改段後のエリアに収まらないコンテンツは段で分割され、オーバーフローしません。

Antenna House, Inc.

**keep-together、数値を指定**

keep-together.within-column="数値"  
を fo:table-body、fo:table-row へ指定  
しています。

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.1 | Item a Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-<br>ing elit. Aliquam biben-<br>dum tincidunt pharetra.<br>Aenean ultricies molestie<br>ante, sit amet ultricies<br>nunc mollis id. Duis volut-<br>pat, quam quis aliquet tris-<br>tique. |
| No.2 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-                                                                                                                                                                                          |

| No. | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | ing elit. Aliquam biben-<br>dum tincidunt pharetra.<br>Aenean ultricies molestie<br>ante, sit amet ultricies<br>nunc mollis id. Integer ut<br>porttitor felis, vel tinci-<br>dunt velit. Duis volutpat,<br>quam quis aliquet tris-<br>tique, nulla dui malesuada<br>velit, et consectetur tellus<br>ipsum et arcu.<br><br>Sed viverra metus quis<br>nibh pulvinar, at dignissim<br>nibh adipiscing. Duis sit<br>amet ipsum non elit tinci-<br>dunt sagittis ac non tortor.<br>Mauris commodo, elit a |

| No. | Details                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | imperdiet interdum, nulla<br>velit viverra elit, at scler-<br>isque urna est eget lacus.<br>Integer eu lobortis neque.<br>Donec malesuada sed arcu<br>vitae fringilla. |

Antenna House, Inc.

- 7 -

| No.  | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| No.3 | Item b Details sample<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-<br>ing elit. Lorem ipsum do-<br>lor sit amet, consectetur<br>adipiscing elit. Lorem ip-<br>sum dolor sit amet, con-<br>sectetur adipiscing elit.<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-<br>ing elit. Lorem ipsum do-<br>lor sit amet, consectetur<br>adipiscing elit. Lorem ip-<br>sum dolor sit amet, con-<br>sectetur adipiscing elit.<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-<br>ing elit. Lorem ipsum do- |

| No. | Details                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | lor sit amet, consectetur<br>adipiscing elit. Lorem ip-<br>sum dolor sit amet, con-<br>sectetur adipiscing elit.<br>Lorem ipsum dolor sit<br>amet, consectetur adipisc-<br>ing elit. Lorem ipsum do-<br>lor sit amet, consectetur<br>adipiscing elit. Lorem ip-<br>sum dolor sit amet, con-<br>sectetur adipiscing elit. |

Antenna House, Inc.

- 8 -

### keep-together、integer（数値指定）を fo:list-item へ適用した例

keep-together へ数値を指定してオーバーフローを回避させる方法は、fo:table-row 以外に例えば fo:list-item の場合でも有効です。fo:list-item では、次のようなコード指定となります。

```
<fo:list-block>
  <fo:list-item keep-together.within-page="1">
    <fo:list-item-label>...</fo:list-item-label>
    <fo:list-item-body>...</fo:list-item-body>
  </fo:list-item>
  <fo:list-item keep-together.within-page="1">
    <fo:list-item-label>...</fo:list-item-label>
    <fo:list-item-body>...</fo:list-item-body>
  </fo:list-item>
</fo:list-block>
```

10 ページ目は keep-together 指定なし、11 ページ目は keep-together と always 指定、そして、12 ページ目は keep-together へ数値指定した場合のサンプルです。

Antenna House, Inc.

- 9 -

[illegible]

Antenna House, Inc.

- 10 -

### keep-together、always を指定

fo:list-item  $\wedge$  keep-together.within-column="always"を指定しています。

[illegible][illegible]

|         |                    |
|---------|--------------------|
| label-3 | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |

Antenna House, Inc.

**keep-together、数値を指定**

`keep-together.within-column="1"` を  
`fo:list-item` へ指定しています。

[illegible][illegible]

|         |                    |
|---------|--------------------|
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
|         | list-item-sample-2 |
| label-3 | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |
|         | list-item-sample-3 |

Antenna House, Inc.

## 表の泣き別れを float で回避

表がページの途中から始まるなどページ内に収まらない場合、表は改ページ部分で分割され泣き別れします。このような場合に `fo:float` を利用して回避する方法があります。最初に `fo:float` で表全体を囲みます。更に `fo:float` で囲んだ表を次のページ（または段）に移動するかどうか指定する `axf:float-move` と値 `auto-next` または `auto-move` によりページで表を分割させず、次のページへ表を移動させます。2 ページ目は `axf:float-move` 指定と各値の特徴、3 ページ以降が実例サンプルとなります。

Antenna House, Inc.

### fo:float axf:float-move="auto-next" 指定

ページに表を配置する十分な余白がない場合、表を次のページに移動します。ページの余白の大きさに関係なく表が次のページへ移動するため、ページに大きな余白が生じる場合があります。

### fo:float axf:float-move="auto-move" 指定

ページに表を配置する十分な余白がない場合、表を次のページに移動します。表の移動によりページに大きな余白が生じる場合は表を次のページへ移動させずに出力しますが、`fo:float` で囲んだ表の周りのテキストが次のページに移動します。

### fo:float と axf:float-move の指定例

`fo:float` と `axf:float-move` は次のように指定します。空の `fo:float float="start"` は `fo:float` で囲んだ表の後に配置されるブロックなどが、表が次のページに移動した場合に表の前に配置されないようにするためです。

```
<fo:float float="start" axf:float-move="auto-next">
  <fo:table-and-caption>
    :
  </fo:table-and-caption>
</fo:float>
<fo:float float="start"/>
```

Antenna House, Inc.

## 通常の表配置

ページに収まらない表はページで分割、泣き別れて出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

| 項目 1         | 項目 2  | 項目 3  | 項目 4  | 項目 5  | 金額  | 備考 1    | 備考 2    |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|---------|
|              |       | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 百万円 |         |         |
| サンプル<br>No.1 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.2 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.3 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.4 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.5 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

|              |       |       |       |       |     |         |         |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|---------|
| サンプル<br>No.6 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.7 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

**fo:float と axf:float-move="auto-next" で表を囲んだ例 -1-**

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。次のページ移動した表はページ先頭から出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

Antenna House, Inc.

| 項目 1         | 項目 2  | 項目 3  | 項目 4  | 項目 5  | 金額  | 備考 1    | 備考 2    |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|---------|
|              |       | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 百万円 |         |         |
| サンプル<br>No.1 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.2 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.3 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.4 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.5 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.6 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.7 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.



**fo:float と axf:float-move="auto-next" で表を囲んだ例 -2-**

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。次のページ移動した表はページ先頭から出力されます。ページ先頭から出力しても表が 1 ページに収まらない場合、表はページで分割し出力されます。

以下に自動サイズの表が続きます。

Antenna House, Inc.

| 項目 1         | 項目 2   | 項目 3   | 項目 4   | 項目 5   | 金額  | 備考 1    | 備考 2    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-----|---------|---------|
|              |        | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 百万円 |         |         |
| サンプル<br>No.1 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.2 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.3 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.4 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.5 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.6 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.7 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

|               |       |       |       |       |     |         |         |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-----|---------|---------|
| サンプル<br>No.8  | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.9  | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.10 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.11 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

**fo:float と axf:float-move="auto-move" で表を囲んだ例 -1-**

ページに表を配置する十分な余白がないため、表は次のページへ移動します。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.  
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Aliquam bibendum tincidunt pharetra.

以下に表が続きます。

Antenna House, Inc.

| 項目 1         | 項目 2   | 項目 3   | 項目 4   | 項目 5   | 金額  | 備考 1    | 備考 2    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-----|---------|---------|
|              |        | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 百万円 |         |         |
| サンプル<br>No.1 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.2 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.3 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.4 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.5 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.6 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.7 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

### fo:float と axf:float-move="auto-move" で表を囲んだ例 -2-

表を配置する十分な余白はありませんが、表を次のページへ移動するとページの余白が大きくなるため表を移動させずに出力します。ただし、fo:float で囲んだ表の直前に配置したブロックのテキスト「以下に表が続きます。」は次のページ、表の後に移動します。

| 項目 1         | 項目 2   | 項目 3   | 項目 4   | 項目 5   | 金額  | 備考 1    | 備考 2    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|-----|---------|---------|
|              |        | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 百万円 |         |         |
| サンプル<br>No.1 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.2 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.3 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.4 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |
| サンプル<br>No.5 | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | あいいうえお | 680 | いろはにほへと | ちりぬるをわか |

Antenna House, Inc.

|              |       |       |       |       |     |             |             |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-----|-------------|-------------|
| サンプル<br>No.6 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほ<br>へと | ちりぬるを<br>わか |
| サンプル<br>No.7 | あいうえお | あいうえお | あいうえお | あいうえお | 680 | いろはにほ<br>へと | ちりぬるを<br>わか |

以下に表が続きます。

Antenna House, Inc.

## 段落最後の文字列を右寄せにする

このサンプルでは段落最後の文字列を右寄せする方法をご紹介します。例えば段落の本文の最後に著者名や企業名などの文字列があり、その文字列のみ右寄せすることを `fo:leader`（リーダー）や AH Formatter の拡張機能 `axf:tab`（タブ）を用いて実現できます。

### fo:leader を使用する例

水平線（リーダー）を引く `fo:leader` を使用する例です。段落全体に両端揃え（`text-align="justify"`）、最終行は右揃え（`text-align-last="right"`）になるよう指定します。次に本文と右寄せする文字列の間に `fo:leader` をふたつ置き、`fo:leader` で引かれる記号は共に `leader-pattern` で `space`（空白）を指定します。ふたつ目の `fo:leader` にはリーダー線の長さを `leader-length.optimum="100%"` と指定します。% 指定は親の内容領域の幅に対する割合です。100% に指定すると最大を親の内容領域の幅として適正な長さになります。なお、右寄せする文字列には途中で改行が発生しないよう `keep-together.within-line="always"` を指定しています。指定により右寄せする文字列が本文と同じ行に入りきれば収め、入りきらなければ次の行に自動的に送ります。

```
<fo:block-container text-align="justify" text-align-last="right">
  <fo:block>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit...
  <fo:leader leader-pattern="space" />
  <fo:leader leader-pattern="space" leader-length.optimum="100%" />
  <fo:inline keep-together.within-line="always">Antenna House</fo:inline>
</fo:block>
</fo:block-container>
```

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まるケース

本文と右寄せする文字列が同じ行に収まる場合は、`text-align="justify"` の効果でひとつ目の `fo:leader` の幅は 0、ふたつ目の `fo:leader` の空白が残りの幅を埋めて本文は左、文字列は右に寄ります。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae  
 erat sollicitudin viverra. *Antenna House*

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まらないケース

本文と右寄せする文字列が同じ行に収まらない場合は、`keep-together.within-line="always"` の指定により文字列は自動的に次の行へ送られます。送られた文字列は `text-align-last="right"` により右に寄せられます。本文の後ろのアキはひとつ目の `fo:leader` による空白が `text-align="justify"` の効果で行末まで伸びて埋めます。送られた文字列の手前にあるアキはふたつ目の `fo:leader` の指定 `leader-length.optimum="100%"` による空白が行頭まで最大幅で伸び埋めます。

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.  
 Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae  
 erat sollicitudin, sed dapibus urna facilisis.  
*Antenna House*

Antenna House, Inc.

## axf:tab を使用する例

axf:tab によるタブ構造で調整する例です。右寄せする文字列の前にタブ位置までスペースを空ける axf:tab を指定します。タブ位置は axf:tab-stops へ eol を指定し段落の行末にあるとみなさせます。タブ位置における文字列の配置（揃え）は axf:tab-align に end を指定しタブ位置と文字列の末尾を揃えます。axf:tab の効果で右寄せする文字列の前に行末までのスペースが空き、かつ行末と文字列の末尾を揃えさせることで文字列の右寄せが実現します。axf:tab について詳細はオンラインマニュアル「[タブ](#)」をご参照ください。

```
<fo:block-container text-align="justify" axf:tab-stops="eol">
  <fo:block>Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing cons equat elit...
    <fo:inline keep-together.within-line="always"><axf:tab axf:tab-align="end" />Antenna House</fo:inline>
  </fo:block>
</fo:block-container>
```

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まるケース

段落末のタブ位置に文字列の末尾が揃い右寄せが実現します。

|                                                                                                                                               |                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.<br>Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae<br>erat sollicitudin viverra. | <i>Antenna House</i> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|

### 同じ行に本文と右寄せする文字列が収まらないケース

右寄せする文字列には keep-together.within-line="always" が指定してあります。本文と文字列が同じ行に収まらない場合、文字列は自動的に次の行へ送られます。送られた行の行末がタブ位置になりますので、送られた行末と文字列の末尾が揃い右寄せが実現します。

|                                                                                                                                                                   |                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit.<br>Quisque at semper ante. Proin bibendum turpis vitae<br>erat sollicitudin, sed dapibus urna facilisis. | <i>Antenna House</i> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|